

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(浸水防護施設(土建関係))

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
詳細設計 申送り事項 No.103	審査会合 (R3.1.28)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (漂流物衝突荷重の設定)	5条-別添1-添 付21~24	詳細設計段階において、漂流物対策を含む防波壁の津波防護機能に係る設計上の限界値に相当する漁船重量を把握し、基準適合状態の維持の確認における管理値とすることを検討すること。	2023/3/29	防波壁及び防波壁通路防波扉が基準適合状態を維持することが可能な漂流物衝突荷重の規模を確認した。なお、今後定期事業者検査において、総トン数19トン船舶より大きな船舶が確認された場合は、詳細検討により基準適合状態を維持できているか確認を行う。	NS2-補-027-08改35「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.9-42~48(通し頁P.4~10)	主な説明事項 【1-5】 (分類【A】)
詳細設計 申送り事項 No.106	その他	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (漂流防止装置)	5条-別添1-添 付16~116	(まとめ資料での当社の記載) 燃料等輸送船の位置及び係留索の水平角を固定できる位置に係船柱を追設する。海域活断層から想定される地震による津波の来襲に伴い、荷揚場に係留された燃料等輸送船を漂流させないために追設する係船柱の詳細設計の結果を説明する。	2022/1/10 2023/1/13 2023/2/15 2023/2/22 2023/3/2 (審査会合)	追設する漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)については、鋼管杭の照査値が最も厳しくなる地盤物性のばらつき及び地震動を選定したうえで、施設の変形性能評価を実施した結果、許容限界以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改17「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.6.4-1~52(通し頁P.84~137)	主な説明事項 【1-5】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.107	その他	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:全般)	5条-別添1-添 付25-30.83	(まとめ資料での当社の記載) 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)及び防波壁(逆T擁壁)の海側に分布する耐震性のない施設護岸等が、地震時の液状化に伴い損傷した場合に与える影響について確認した結果を説明する。	①2022/11/16 ②2022/11/22	①防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の海側に位置する施設護岸等については、施設護岸等が受働側に寄与して防波壁の変形を抑制することが想定されることから、不確かさケースとして施設護岸等が損傷した場合を想定し、鋼管杭の照査値が最も厳しくなる地盤物性のばらつき及び地震動を選定したうえで、施設護岸等がない場合の検討を実施した結果、許容限界以下であることを確認しました。 ②防波壁(逆T擁壁)の海側に位置する施設護岸等については、施設護岸等が受働側に寄与して防波壁の変形を抑制することが想定されることから、これらが改良地盤の変形抑制に寄与する可能性があることから、不確かさケースとして施設護岸等が損傷した場合を想定し、逆T擁壁及びグラウンドアンカの照査値が最も厳しくなる断面、地盤物性のばらつき及び地震動を選定したうえで、施設護岸等がない場合の検討を実施した結果、許容限界以下であることを確認しました。	①NS2-補-027-08改32「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-178~186(通し頁P.182~190) ②NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-221~239(通し頁P.292~310)	主な説明事項 【1-9】 (分類【C】)
詳細設計 申送り事項 No.108	その他	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:全般)	5条-別添1-添 付25-42.56, 95.105,149, 160	(まとめ資料での当社の記載) 防波壁の評価について、要求事項、間接支持する設備、構造的特徴、及び周辺状況(周辺地質)の観点から踏まえ、防波壁の応答が耐震評価上最も厳しくなると考えられる断面を選定したうえで、防波壁の詳細設計の結果を説明する。	2022/9/28 2023/3/8	防波壁の評価について、要求事項、間接支持する設備、構造的特徴、及び周辺状況(周辺地質)の観点から踏まえ、防波壁の耐震・耐津波評価を行ううえで厳しい断面を評価対象断面として選定しました。 評価対象断面における防波壁の耐震・耐津波評価結果として、「2.1 防波壁に関する補足説明」にて許容限界以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改32「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.1.8-1~96(通し頁P.169~264)	主な説明事項 【1-9】 (分類【D】)
詳細設計 申送り事項 No.109	その他	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:全般)	5条-別添1-添 付25-188	(まとめ資料での当社の記載) 詳細設計段階で説明する防波壁周辺の地盤物性(改良地盤等)を用いて算出する施工ブロック間の地震時の相対変形及び津波波圧を考慮した、止水目地の詳細設計の結果を説明する。	2023/2/22	防波壁に設置する止水目地について、性能確認試験等により、地震時、津波時及び比重時において構造物間の変位に対し有意な漏えいを生じない変形に留まること、津波による波圧に対し有意な漏えいを生じない変形に留まること及び止水目地から有意な漏えいが生じないことを確認しました。	NS2-補-027-08改29「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)2.1.7-1~(参考)2-7(通し頁P.251~310)	主な説明事項 【1-9】 (分類【D】)
詳細設計 申送り事項 No.110	ヒアリング (R2.7.28)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:全般)	5条-別添1-添 付25-30.83, 131	防波壁の長期的な維持管理方法について、今後検討していくとしている時期を明確にして説明すること。	2023/3/8	防波壁については、津波防護施設としての機能を維持していくため、定期的な点検又は各種試験等により、部材の劣化及び変状等を把握するため、防波壁の保守管理を実施する旨を記載しました。	NS2-補-027-08改32「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.9-41(通し頁P.346)	主な説明事項 【1-9】 (分類【D】)
詳細設計 申送り事項 No.111	審査会合 (R1.10.31)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:多重鋼管杭式擁壁)	5条-別添1-添 付25-25, 60~64.68, 71~73	東海第二発電所の鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁の設計方針を適用しているが、許容限界、セメントミルクの位置付け等、違いがある項目については選定理由を資料に記載の上説明すること。	①2022/10/19 2022/11/16 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	①防波壁(多重鋼管杭式擁壁)において、類似する構造である東海第二発電所の鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁との相違点として多重鋼管杭の採用、鋼管杭の許容限界として「道路橋示方書(平成14年3月)」を基にした降伏モーメントの設定、鋼管杭間のセメントミルク及びグラウト材による止水性を抽出しました。 多重鋼管杭の許容限界の設定について、模型実験及び3次元FEM解析から、多重鋼管杭が「道路橋示方書(平成14年3月)」を基にした降伏モーメント以上の耐力を有しているとともに、降伏モーメントに至るまで弾性挙動を示すことを確認し、許容限界の設定の妥当性を確認しました。	①NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)1-1~36(通し頁P.34~69)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.112	審査会合 (R1.10.31)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:多重鋼管杭式擁壁)	5条-別添1-添 付25-25, 60~64.68, 71~73	今回指摘した島根特有の技術的課題については、事業者自らが提示する課題であり、先行炉の課題解決のプロセスが考慮されるべきものであるため、今後の説明においては今回の指摘事項と先行炉の実績を踏まえて資料を十分に作り込んで提出して説明すること。	②2022/12/16 2023/1/25 2023/2/7 (審査会合)	②鋼管杭と岩盤の間の空隙を閉め詰めているセメントミルクに期待する役割は、鋼管杭及び被覆コンクリート壁を支持する等であり、岩盤と同様の役割を期待します。そのため、セメントミルクが岩盤と同様の強度を有することを確認したうえで、セメントミルクを岩盤として耐震及び耐津波評価を実施する方針としました。 また、津波時にはグラウト材によるの難透水性に期待しないこととし、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)全線においてその背後に、高圧噴射攪拌工法により改良地盤⑤を設置しました。地盤改良⑤の解析物性値については、原位置試験及び室内試験結果を踏まえて設定し、地震時において、改良地盤⑤に津波の流入経路は形成されないことを確認しました。	②NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-172, 173.(参考)3-1(通し頁P.176,177,339)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
詳細設計 申送り事項 No.113	審査会合 (R2.8.20)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：多重鋼管杭式擁壁)	5条-別添1-添 付25-40,67	多重鋼管杭式擁壁の構造成立性検討について、 根入れ部周辺の岩盤のせん断破壊領域と引張 破壊領域の評価を示し、水平抵抗力に対して同 領域が及ぼす影響を考慮した設計方針を説明す ること。	2022/12/16 2023/1/25 2023/2/7 (審査会合)	鋼管杭周辺の岩盤の局所安全係数分布図を確認した結果、鋼管杭の前面の岩盤におい てせん断強度及び引張強度に達した要素が認められることから、静的非線形解析により、 岩盤の進行性破壊を考慮した上で、せん断強度及び引張強度に達した要素を通すすべ りの安全率を算定しました。その結果、すべり安全率は十分な裕度があることから、鋼管杭 の水平支持力が確保されることを確認しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-13,119～132,174～188(通し頁 P.17,123～136,178～192)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])
詳細設計 申送り事項 No.114	ヒアリング (R2.4.23)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：多重鋼管杭式擁壁)	5条-別添1-添 付25-40,67	施設護岸が地震により損傷することを想定した解 析(施設護岸をモデル化しない解析)による防波 壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性評価について、 解析条件(物性値、地震動等)及び根入れ部の 岩盤健全性を説明すること。	①2022/11/16 2023/1/25 2023/2/7 (審査会合)	①防波壁の海側に位置する施設護岸等については、施設護岸等が受動側に寄与して防 波壁の変形を抑制することが想定されることから、不確かさケースとして施設護岸等が損 傷した場合を想定し、鋼管杭の照査値が最も厳しなる地盤物性のばらつき及び地震動を 選定したうえで、施設護岸等がない場合の検討を実施した結果、許容限界以下であるこ とを確認しました。 ②鋼管杭周辺の岩盤の局所安全係数分布図を確認した結果、施設護岸をモデル化しな い解析でも、鋼管杭根入れ部周辺の岩盤の破壊領域は同等であったことから、施設護岸 をモデル化した解析に包含されると評価しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-212～215(通し頁P.216～219)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])
詳細設計 申送り事項 No.115	ヒアリング (R2.9.8)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：多重鋼管杭式擁壁)	5条-別添1-添 付25-229, 230	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の鋼管杭周辺岩盤 については、詳細設計段階において局所安全係 数分布のせん断及び引張破壊領域を確認するこ とにより、鋼管杭の水平抵抗への影響を評価す るが、岩盤の破壊領域が連続的に拡大し、鋼管 杭の設計に影響を及ぼす場合は、対策(改良地 盤③の範囲拡大等)を実施する方針とすることを 追記。	2022/12/16 2023/1/25 2023/2/7 (審査会合)	鋼管杭周辺の岩盤の局所安全係数分布図を確認した結果、鋼管杭の前面の岩盤におい てせん断強度及び引張強度に達した要素が認められることから、静的非線形解析により、 岩盤の進行性破壊を考慮した上で、せん断強度及び引張強度に達した要素を通すすべ りの安全率を算定しました。その結果、すべり安全率は十分な裕度があることから、鋼管杭 の水平支持力が確保されることを確認しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-13,119～132,174～188(通し頁 P.17,123～136,178～192)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])
詳細設計 申送り事項 No.117	その他	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：多重鋼管杭式擁壁)	5条-別添1-添 付25-203, 250	(まとめ資料での当社の記載) 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の被覆コンクリート については、鋼管杭とコンクリートの挙動を精緻 に確認するため、3次元静的FEM解析を実施し 、その詳細設計の結果を説明する。	2022/11/16 2023/1/25 2023/2/7 (審査会合)	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の被覆コンクリート壁について、鋼管杭の挙動の差異により 生じる、法線方向のねじれに伴い被覆コンクリート壁に発生する応力に対して健全性を確 認しました。被覆コンクリート壁のねじれを表現するにあたっては、地盤物性のばらつきを 考慮した2次元動的FEM解析により得られた、鋼管杭変位の最大値、最小値を3次元静的 FEM解析における両端の鋼管杭に設定し、その間の鋼管杭には線形補間した変位を設定 しました。 3次元静的FEM解析を実施した結果、被覆コンクリート壁は許容限界以下であることを確 認しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-216～278(通し頁P.220～282)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])
詳細設計 申送り事項 No.118	審査会合 (R1.10.31)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25-81,82, 107,115,116	杭頭接合部の構造について、道路橋示方書で剛 結合を原則としている規定や剛結合以外の結合 方式の実験等による力学特性検証等、道路橋示 方書の記載内容との対応を踏まえて整理するこ と。	2022/9/21 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	杭頭接合部の構造について、道路土工擁壁工指針及び道路橋示方書の記載を踏まえ、 杭頭載荷試験及び3次元静的FEM解析による再現解析を実施し、大きな曲げモーメント が発生する際に剛結合からヒンジ結合に移行する力学特性を確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)2-4～27(通し頁P.395～418)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])
詳細設計 申送り事項 No.119	審査会合 (R2.2.25)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25-81,82, 107,115,116	鋼管杭式逆T擁壁の底盤について、詳細設計段 階で杭頭部がビン結合に移行する力学挙動を模 型実験と解析により検証する際に、底盤がおお むね弾性域内に留まることを説明すること。	2022/10/12 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	鋼管杭式逆T擁壁の底盤について、杭頭部が剛結合からヒンジ結合に移行する力学挙動 を模型実験と解析により検証した上で、鋼管杭をモデル化した2次元動的FEM解析結果 の応力状態がヒンジ結合に移行する前の剛結合の発生曲げモーメントになっており、おお むね弾性域内になっていること、2次元動的FEM解析結果に基づく照査値が1.0を下回っ ていることから、鋼管杭を残置しても防波壁(逆T擁壁)の浸水防護機能が喪失するような 悪影響がないことを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-240～251、(参考)2-28～44(通し頁 P.311～322,419～435)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])
詳細設計 申送り事項 No.120	審査会合 (R2.2.25)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25-81,82, 107,115,116	鋼管杭式逆T擁壁の杭頭部のヒンジ結合につい て、準拠する道路土工擁壁工指針の適用性を説 明すること。	2022/9/21 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	杭頭接合部の構造について、道路土工擁壁工指針及び道路橋示方書の記載を踏まえ、 杭頭載荷試験及び3次元静的FEM解析による再現解析を実施し、大きな曲げモーメント が発生する際に剛結合からヒンジ結合に移行する力学特性を確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)2-4～27(通し頁P.395～418)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])
詳細設計 申送り事項 No.121	ヒアリング (R2.1.16)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25-81,82, 107,115,116	防波壁(鋼管杭式逆T擁壁)の杭頭結合条件につ いて、杭頭部のヒンジ形成過程と防波壁の損 傷の関係を踏まえた上で、杭頭をビン結合と して評価する場合の設計の考え方を説明するこ と。	2022/10/12 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	鋼管杭式逆T擁壁の底盤について、杭頭部が剛結合からヒンジ結合に移行する力学挙動 を模型実験と解析により検証した上で、鋼管杭をモデル化した2次元動的FEM解析結果 の応力状態がヒンジ結合に移行する前の剛結合の発生曲げモーメントになっており、おお むね弾性域内になっていること、2次元動的FEM解析結果に基づく照査値が1.0を下回っ ていることから、鋼管杭を残置しても防波壁(逆T擁壁)の浸水防護機能が喪失するような 悪影響がないことを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-240～251、(参考)2-28～44(通し頁 P.311～322,419～435)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])
詳細設計 申送り事項 No.122	審査会合 (R2.6.30)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25-76,81, 82,96,108	鋼管杭式逆T擁壁の鋼管杭の根入れ部につい て、支持地盤への根入れが浅く、水平力に対 する支持性能を期待できない可能性があるため、 杭先端のせん断抵抗に期待しない設計方針を検 討し、構造成立性を説明すること。設計方針は、 杭周辺の地盤改良及びグラウンドアンカーの効 果に期待して実盤に即した内容とし、地盤改良が ない区間について地盤改良の追加を検討するこ と。	2022/10/12 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	鋼管杭式逆T擁壁の底盤について、杭頭部が剛結合からヒンジ結合に移行する力学挙動 を模型実験と解析により検証した上で、鋼管杭をモデル化した2次元動的FEM解析結果 の応力状態がヒンジ結合に移行する前の剛結合の発生曲げモーメントになっており、おお むね弾性域内になっていること、2次元動的FEM解析結果に基づく照査値が1.0を下回っ ていることから、鋼管杭を残置しても防波壁(逆T擁壁)の浸水防護機能が喪失するような 悪影響がないことを確認しました。 設計方針は、杭周辺の地盤改良及びグラウンドアンカーを実態に即してモデル化し、地盤 改良がない区間について地盤改良の追加を検討することとしました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震 性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-240～251、(参考)2-28～44(通し頁 P.311～322,419～435)	主な説明事項 【1-9】 (分類[B])

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
詳細設計 申送り事項 No.123	ヒアリング (R2.7.28)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25- 92～94.96	グラウンドアンカーについては、詳細設計段階において逆T擁壁の転倒時の照査において見込むことを説明する。	2022/10/12 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	グラウンドアンカーの設計アンカー力を見込んだ滑動・転倒に対する耐力の確認を実施し、安定性を有することを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-179～189(通し頁P.250～260)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.124	ヒアリング (R2.8.6)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25- 92～94.96	鋼管杭式逆T擁壁のモデル化方針について、実態に即したグラウンドアンカーのモデル化方法を詳細設計段階で説明すること。	2022/9/21 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	グラウンドアンカーについて、試験施工(基本調査試験)及び施工後の品質保証試験により設定した設計アンカー力を用い、各部位の役割を踏まえて実態に即したモデル化、物性設定及び許容限界の設定を行いました。また、グラウンドアンカーのモデル化において、基本調査試験結果の解析による検証、動的解析による動的挙動の検証を行い、実態に即したモデル化になっていることを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)1-1～55(通し頁P.337～391)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.125	ヒアリング (R2.10.1)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25- 92～94.96	グラウンドアンカーの津波時の解析手法については、詳細設計段階で適切な手法を設定する方針であることが明確となるよう、まとめ資料において説明すること。	2022/9/21 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	グラウンドアンカーについて、試験施工(基本調査試験)及び施工後の品質保証試験により設定した設計アンカー力を用い、各部位の役割を踏まえて実態に即したモデル化、物性設定及び許容限界の設定を行いました。また、グラウンドアンカーのモデル化において、基本調査試験結果の解析による検証、動的解析による動的挙動の検証を行い、実態に即したモデル化になっていることを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)1-1～55(通し頁P.337～391)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.126	ヒアリング (R2.10.1)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付25- 92～94.96	詳細設計段階で検討するグラウンドアンカーの許容限界(設計アンカー力)の設定根拠や安全率については、施工後の品質保証試験によって設定すること等を説明する。	2022/9/21 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	グラウンドアンカーについて、試験施工(基本調査試験)及び施工後の品質保証試験により設定した設計アンカー力を用いて許容限界を設定し、発生アンカー力が許容限界以下となることを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)1-1～44(通し頁P.337～380)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.127	ヒアリング (R3.2.9)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付44-9.11, 17	縦断方向の地盤傾斜による防波壁の隣接影響評価について、詳細設計段階の設計方針を、動的解析等の解析手法を含めて説明すること。	2022/10/12 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	縦断方向の地盤傾斜による防波壁の隣接影響評価について、逆T擁壁の隣接する躯体同士の支圧応力度に対する照査を実施し、許容応力度以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-172～175(通し頁P.243～246)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.128	ヒアリング (R3.2.9)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付44-9.11, 17	隣接する防波壁同士の支圧による損傷評価について、相対変形量が防波壁間の隙間を下回ることを確認し、上回る場合に支圧による損傷評価を行い、損傷による影響がある場合に対策工事を行う等の評価プロセスが明確となる設計方針を説明すること。	2022/10/12 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	縦断方向の地盤傾斜による防波壁の隣接影響評価について、逆T擁壁の隣接する躯体同士の支圧応力度に対する照査を実施し、許容応力度以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-172～175(通し頁P.243～246)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.129	ヒアリング (R3.2.9)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付44-9.11, 17	防波壁の止水目地について、詳細設計段階における評価方針を説明すること。	2022/10/12 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	止水目地について、横断方向及び縦断方向をモデル化した2次元動的FEM解析を実施し、躯体の変形量が止水目地の許容変形量以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-205～210(通し頁P.276～281)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.130	ヒアリング (R3.2.15)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	5条-別添1-添 付44-9.11, 17	防波壁の構造成立性に係る詳細設計段階の検討方針について、法線方向及び法線直交方向の動的FEM解析を実施することが明確となるよう説明すること。	2022/10/12 2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	止水目地について、横断方向及び縦断方向をモデル化した2次元動的FEM解析を実施し、躯体の変形量が止水目地の許容変形量以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-205～210(通し頁P.276～281)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.131	その他	-	設置許可 まとめ資料 3条	耐津波設計 (防波壁：逆T擁壁)	3条-資料6-1 P.216	(まとめ資料) 防波壁(逆T擁壁)の基本設計方針としては、PS検層等に基づく改良地盤の物性値(管理目標値)が確保されていることを三軸圧縮試験等の室内試験及び原位置試験で確認するとともに、グラウンドアンカーによる変形抑制効果を踏まえた設計を行い、施設の安全機能に影響を及ぼさないように設計することとする。	①2022/6/1 ②2022/11/11 2022/11/22 2022/12/1 (審査会合)	①防波壁(逆T擁壁)の改良地盤について、室内配合試験における三軸圧縮試験等を踏まえ解析用物性値を設定し、設置許可段階において設定したPS検層等に基づく改良地盤の物性値(管理目標値)を確保できることを確認しました。 ②グラウンドアンカーをモデル化した2次元動的FEM解析を行い、部材照査、躯体同士の支圧の照査、止水目地の変形量照査、グラウンドアンカーの発生アンカー力に対する照査を実施し、いずれも許容限界以下であり、問題ないことを確認しました。 ③防波壁(逆T擁壁)の改良地盤について、実施における三軸圧縮試験及びPS検層により、PS検層等に基づく改良地盤の物性値(管理目標値)及び室内配合試験において設定した解析用物性値が確保されていることについて、施工進捗に合わせ、設工認審査において説明します。	①NS2-他-076 改02「解析用物性値(改良地盤)の設定方針について」 ②NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-108～2.1.3-239(通し頁P.179～310)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考	
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁						
詳細設計 申送り事項 No.132	審査会合 (R2.2.25)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:波返重力擁壁)	5条-別添1-添 付25- 169~175	波返重力擁壁の壁体構造について、既設部分と新設部分の一体化を前提として設計する方針を明確にし、基準、指針類、事業者独自の管理基準等の適用により一体化と評価する方針であることを説明すること。	2022/10/19 2022/12/21 2023/2/7 (審査会合)	<p>重力擁壁の既設部分と新設部分について、(1)付着力、(2)主筋の定着長及び(3)鉄筋引張試験結果を整理し、(4)境界部分における破壊状況を確認するための解析を実施し、重力擁壁の既設部分と新設部分は一体化されていると判断しました。</p> <p>(1)付着力においては、付着強度確認試験を実施し、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工種別マニュアル編]」を参考に当社が設定した管理基準に対して、目荒らし後の付着強度が確保されていることを確認しました。</p> <p>(2)折り曲げ部の主筋の定着長においては、「コンクリート標準示方書2002」に規定される定着長を確保していることを確認しました。</p> <p>(3)実構造物スケールの鉄筋定着長及びへりあき条件を考慮した実験体を作成し、鉄筋の引張試験を行った結果、破壊形態として鉄筋降伏が先行し、鉄筋の定着長が十分確保されていることを確認しました。</p> <p>(4)境界部をモデル化した2次元有限要素法(有効応力解析)及び2次元材料非線形解析を実施し、地震時及び津波時の荷重において、部材の健全性に影響を及ぼす破壊が生じていないことを確認しました。また、地震時及び津波時の荷重を超えた荷重を作用させた場合においても、部材の健全性に影響を及ぼすせん断破壊が生じていないことを確認しました。</p>	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)		
詳細設計 申送り事項 No.133	審査会合 (R2.2.25)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:波返重力擁壁)	5条-別添1-添 付25- 169~175	波返重力擁壁の壁体構造について、既設部分と新設部分を一体化と評価できる根拠及び設計・施工上の配慮事項を詳細設計段階で説明すること。	2022/10/19 2022/12/21 2023/1/18 2023/2/7 (審査会合)		NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 2.1.5項のP.(参考)1-1~95 (通し頁P.539~633)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)	
詳細設計 申送り事項 No.134	ヒアリング (R2.4.23)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:波返重力擁壁)	5条-別添1-添 付25- 169~175	防波壁(波返重力擁壁)の壁体構造について、既設部と新設部を一体化と見なす根拠とした表面保護工法設計施工指針(案)の適用性を説明すること。また、ジベル筋等により既設部と新設部が物理的に接合されていない壁体について、せん断応力の伝達モードを評価し、既往のせん断耐力評価式の適用性を説明すること。さらに、防波壁陸側の壁体新設部の鉄筋定着について、フーチング隅角部の荷重伝達及び損傷形態を評価し、定着方法及び定着長の設定方針の妥当性を説明すること。	2022/10/19 2022/12/21 2023/2/7 (審査会合)		主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)		
詳細設計 申送り事項 No.135	審査会合 (R2.6.30)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:波返重力擁壁)	5条-別添1-添 付25-164, 165,297,300, 308,317	波返重力擁壁のケーソンの構造成立性評価において、以下の点を説明すること。 ・基準地震動Ssに対して、隔壁、底板、フーチングが塑性化した場合であっても、一体構造の側壁(前壁、後壁、側壁)が弾性状態にとどまり、かつ止水性能を確保でき、防波壁としての構造が耐震設計及び耐津波設計の観点から成立する見通しであること。 ・3次元FEM解析結果から、地震時の隔壁等がどのような状態(変形、ひび割れ等)になるか。また、その状態が止水性能を担保している側壁にどのような影響を与えるか。 ・基準地震動Ssにより隔壁等が塑性化した場合、剛性低下を考慮した津波時の強度評価の方針など、耐津波設計上の配慮の必要性について。 ・基準地震動Ss未達の地震により隔壁等が塑性化した場合、隔壁等にひび割れが生じた際の点検補修の要否など、基準に適合する状態の維持及び管理の成立性について。	2022/12/21 2023/1/25 2023/2/15 2023/2/22 2023/3/2 (審査会合)		防波壁(波返重力擁壁)のうちケーソンは、複数の隔壁を有しており、その影響を考慮する必要があることから、3次元構造解析により耐震評価を行った結果、許容限界以下であることを確認しました。 また、ケーソンの中詰材は、すべての中詰材を改良することとし、室内試験及び原位置試験(PS検層)における試験結果を踏まえ、解析用物性値を設定しました。 防波壁(波返重力擁壁)のうち放水路ケーソンは開口部(放水路)を有し、頂版、側壁及び底板は、重力擁壁を支持する機能及び遮水性を保持する機能を有することから、ケーソンがおおむね弾性状態にとどまることを確認するために、3次元線形構造解析による耐震評価を行いました。また、放水路ケーソンのうち隔壁は、重力擁壁を支持する機能を有することから、構造強度を有することを確認するために、3次元線形構造解析を行い、3次元線形構造解析による許容限界を超える場合は、3次元非線形構造解析による耐震評価を行いました。その結果、放水路ケーソンのすべての部材において、許容限界以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改30「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.5-8~13,228~520.(参考)3-1~20(通し頁P.13~18,233~525,648~667)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)
詳細設計 申送り事項 No.136	審査会合 (R2.6.30)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:波返重力擁壁)	5条-別添1-添 付25-164, 165,297,300, 308,317	波返重力擁壁の構造成立性の見直しにおいて、詳細設計段階で実施する荷重の不確かさケース、物性値のばらつきケース等を踏まえた対応方針及び具体的な対応策を説明すること。	2022/12/21 2023/1/25 2023/2/15 2023/2/22 2023/3/2 (審査会合)		主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)		
詳細設計 申送り事項 No.137	ヒアリング (R2.5.28)	-	設置許可 まとめ資料 5条	耐津波設計 (防波壁:波返重力擁壁)	5条-別添1-添 付25-164, 165,297,300, 308,317	波返重力擁壁のケーソンの荷重伝達メカニズム、損傷モード、弱部について明確にして説明すること。 防波壁(波返重力擁壁)のケーソンについて、荷重伝達メカニズム、損傷モード、弱部を明確にして、各部位が津波防護機能及び荷重伝達性能を担保できることを説明すること。	2022/12/21 2023/1/25 2023/2/15 2023/2/22 2023/3/2 (審査会合)	主な説明事項 【1-9】 (分類【B】)			

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(浸水防護施設(土建関係))

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
001	2022/9/21	NS2-他-199	その他	防波壁(逆T擁壁)のグラウンドアンカのモデル化方針等について	P.15,19	評価断面の選定の判定基準(施設護岸までの距離、液状化の影響、改良地盤の形状)について、役割に期待しない施設護岸の位置付けを踏まえ説明すること。	2022/10/12	施設護岸等は役割に期待しないが、解析モデルに取り込み、防波壁への波及影響を考慮することとしており、これらが防波壁の変形を抑制することが想定されることから、施設護岸が損傷したことを想定し、念のためこれらが無い場合の影響検討を実施することとし、評価対象断面の選定上の観点としないこととしました。	NS2-補-027-08改01「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.1.8.2-4~6,11,13~16(通し頁P.7~9,14,16~19)	
002	2022/9/21	NS2-他-199	その他	防波壁(逆T擁壁)のグラウンドアンカのモデル化方針等について	P.58	既工実績のないグラウンドアンカのモデル化及び解析手法について、品質保証試験結果との比較等により妥当性及び保守性について説明すること(常時応力解析による緊張力の妥当性を含む)。	2022/10/12 2022/11/2	グラウンドアンカのモデル化及び解析手法について、基本調査試験の再現解析による解析値と実測値との比較、常時応力分布図によるグラウンドアンカの圧縮効果の確認、逆T擁壁の鉛直変位の時刻歴とグラウンドアンカの発生アンカー力の時刻歴の比較により、非線形ばねとMPCによるグラウンドアンカのモデル化が妥当であることを確認した旨を記載しました。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)1-45~54(通し頁P.269~278)	
003	2022/9/21	NS2-他-199	その他	防波壁(逆T擁壁)のグラウンドアンカのモデル化方針等について	P.31	グラウンドアンカの基本調査試験位置、計画の考え方について記載を充実化すること。	2022/10/12	グラウンドアンカの基本調査試験の実施位置について、逆T擁壁設置位置の地盤状況を踏まえ、施工予定範囲の代表的な位置で実施している旨を記載しました。	NS2-補-027-08改01「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)1-9(通し頁P.158)	
004	2022/9/21	NS2-他-199	その他	防波壁(逆T擁壁)のグラウンドアンカのモデル化方針等について	P.66	鋼管杭と剛結合される範囲においても、底盤フーチングへの悪影響がないことを説明すること。	2022/10/12 2022/11/2	杭頭部接合部を剛結合とした2次元FEM解析結果に対する底版及び杭頭部接合部の照査結果により、フーチングへの悪影響がないことを確認しました。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-183~185P.(参考)2-34~42(通し頁P.216~218,313~321)	
005	2022/9/21	NS2-他-199	その他	防波壁(逆T擁壁)のグラウンドアンカのモデル化方針等について	P.76	杭頭載荷試験においてヒンジ結合となった際の鋼管杭とフーチングの接合部における破壊モード、ひび割れ進展状況について説明すること。	2022/10/12	杭頭載荷試験において、杭頭接合部のヒンジ結合移行時の破壊モード及びひび割れ進展状況について記載しました。	NS2-補-027-08改01「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)2-12~14(通し頁P.210~212)	
006	2022/9/21	NS2-他-199	その他	防波壁(逆T擁壁)のグラウンドアンカのモデル化方針等について	P.76	設計上、ヒンジ結合に至らないとした判断基準について、機能損失の有無の観点を含め説明すること。	2022/10/12	ヒンジ結合への移行がひび割れを伴い機能損失となることから、杭頭載荷試験結果と2次元FEM解析結果の杭頭接合部の応力とを比較することで、ヒンジ結合に至らないことを確認しました。	NS2-補-027-08改01「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)2-35~38(通し頁P.233~236)	
007	2022/6/10	NS2-添1-004改03(比)	比較表(VI-1-1-3-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-3-2 津波への配慮に関する説明書)	P.87	オフガス系配管と防水壁の関係を整理して説明すること。	2022/12/20 2023/2/22	オフガス系配管を含む復水器エリア防水壁を貫通する配管について、基準地震動Ss1による地震力に対する耐震性を評価し、防水壁の止水機能が保持できることを記載しました。あわせて配管の構造健全性を確保する範囲を明確にするため概要図等を追記しました。	NS2-補-027-08改27「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」J.2.4.3項	コメント移動
008	2022/9/21	NS2-添2-011-06	耐震(計算書)(VI-2-10-2-3-2)	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.26	構造解析におけるモデル化の詳細について説明すること。	2022/10/12 2022/11/2	構造解析におけるモデル化の詳細(モデル化方法、ジョイントの設定等)について記載しました。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-53~74(通し頁P.86~107)	
009	2022/9/21	NS2-添2-011-06	耐震(計算書)(VI-2-10-2-3-2)	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.10	滑動転倒しないことが分かるように根拠を含めて説明すること。	2022/10/12	グラウンドアンカの照査において確認された設計アンカー力を用い逆T擁壁の滑動・転倒に対する確認を実施し、逆T擁壁が滑動・転倒しないことを根拠を含め記載しました。	NS2-補-027-08改01「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-66,67,97~100(通し頁P.94,95,125~128)	
010	2022/9/16	NS2-他-029改01	その他	屋外排水路逆止弁の設置状況及び許容限界の設定の考え方について	P.13	アンカーのメーカー評価式及び耐力試験の適用性・妥当性を説明すること。	2022/12/9	集水樹の防波壁への固定部に設置しているアンカー(D29)の許容限界の設定について、メーカー評価式を採用した適用性・妥当性及び屋外排水路逆止弁の戸当り部又は集水樹への固定部に設置している特殊アンカー(L型アンカー)の耐力試験結果及び許容限界の設定について、参考資料1に取り纏めました。	NS2-補-027-08改10「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」J.2.4.1項参考資料1(通し頁P.223~257)	コメント移動
011	2022/9/16	NS2-他-029改01	その他	屋外排水路逆止弁の設置状況及び許容限界の設定の考え方について	P.13	各種合成構造設計指針・同解説とメーカー評価式を比較するなどの連続性を確認したうえで、メーカー評価式の適用性を説明すること。	2022/12/9	メーカーが実施した性能試験の条件を基に、各種合成構造設計指針・同解説とメーカー評価式による引張り・せん断耐力を比較し連続性を確認したうえで、メーカー評価式の適用性、適用範囲を明確にするため追記しました。	NS2-補-027-08改10「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」J.2.4.1項参考資料1(通し頁P.223~257)	コメント移動
012	2022/9/16	NS2-他-029改01	その他	屋外排水路逆止弁の設置状況及び許容限界の設定の考え方について	P.13	基準の適用性の確認については、表などを用いて全体の流れが分かるように説明すること。	2023/2/24	屋外排水路逆止弁及び集水樹の耐震及び強度計算書において、許容限界の設定に用いた適用規格・基準等の適用性を表形式で追記しました。	NS2-補-027-08改28「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.4.1.1項P.47,320(通し頁P.55,328) NS2-補-027-08改28「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.4.1.2項P.36,138(通し頁P.501,603)	コメント移動
013	2022/9/16	NS2-他-029改01	その他	屋外排水路逆止弁の設置状況及び許容限界の設定の考え方について	P.2	海側の集水樹蓋については、漂流物衝突の有無を検討すること。	2023/2/24	集水樹蓋に対する漂流物衝突の有無及び影響確認結果について2.4.1.2屋外排水路逆止弁の強度計算書に関する補足説明の参考資料3に追記しました。	NS2-補-027-08改28「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.4.1.2項参考資料3(通し頁P.651~656)	コメント移動

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
014	2022/9/21	NS2-他-203	その他	防波壁における基礎捨石及び被覆石の取扱いについて	P.13	施設護岸、基礎捨石及び被覆石の解析モデルにおける取扱い方針について、それらの役割及び効果を期待しないケースを含めて整理し説明すること。	2022/11/16	防波壁の前面又は背面に位置する施設護岸等については、施設護岸等が受働側又は主動側に寄るとして防波壁の変形を抑制することが想定されることから、不確かさケースとして施設護岸等が損傷した場合を想定し、施設護岸等がない場合の検討を実施する旨を記載しました。	NS2-補-027-08改07「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-25.84(通し頁P.29,88)	
015	2022/9/28	NS2-補-027-08	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.95,123	フルード数の考え方について、最新の知見を踏まえて追記して説明すること。津波波圧算定に用いた水深係数について、算定式との関連が明確になるように記載の追記を検討すること。	2022/10/26	フルード数の考え方について、最新の知見としてNRA技術報告(令和4年7月)に関する記載を反映しました。また、朝倉式による津波波圧算定に用いる水深係数の設定において、基準津波に対する平面二次元津波シミュレーションの結果を基にフルード数を算定し、水深係数として3を用いる妥当性を追記しました。	NS2-補-027-08改03「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.1.6-4.60～62(通し頁P.20,76～78)	
016	2022/9/28	NS2-補-027-08	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.155	多重鋼管杭式擁壁の断面選定の考え方について、不確かさの考え方及び定量的な安全裕度の観点から説明すること。	2023/1/18	一般部(①-①断面)は、施設護岸の背面に防波壁(多重鋼管杭式擁壁)を設置している断面のうち、岩盤上面深さが最も深い改良地盤部(②-②断面)に代表させることとしますが、改良地盤部(②-②断面)は多重鋼管杭の海側において岩盤上面の砂礫層に対し、地盤改良を実施しており、海側では、一般部(①-①断面)の岩盤上面深さが若干浅くなることから、一般部(①-①断面)の耐震評価を実施しました。耐震評価の結果、鋼管杭の曲げ・軸力系破壊及びせん断破壊に対する照査値について改良地盤部(②-②断面)が最大となることを確認したことから、改良地盤部(②-②断面)を選定することは妥当と判断しました。また、取水路や屋外排水路等により防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における多重鋼管杭の標準的な設置間隔に対して大きくなる箇所を網羅的に確認し、多重鋼管杭と被覆コンクリート壁の両方における評価の観点から、ブロック長が最長となる「取水路横断部(④-④断面)」を選定することは妥当と判断しました。	NS2-補-027-08改18「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)4-1～19(通し頁P.322～340)	
017	2022/9/28	NS2-補-027-08	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.183	防波壁(波返重力擁壁)の断面選定の判定基準について、既設ケーソンの構造的特徴及び中詰め材料の影響を説明すること。	2023/1/25	ケーソンの構造的特徴として、開口部(放水路)を有することから、放水路貫通部(③-③断面)を選定すること及びすべてのケーソンの中詰め材を高圧攪拌工法で改良していることから選定の観点としないことを記載しました。	NS2-補-027-08改20「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.1.8-66,68,69,72,73 (通し頁P.97,99,100,103,104)	
018	2022/9/28	NS2-補-027-08	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.31	タービン補機海水系隔離システムの具体的な設備名を説明すること。	2023/3/8	タービン補機海水系隔離システムの具体的な設備として、漏えい検知器、タービン補機海水ポンプ出口弁及び制御盤を追記しました。	NS2-補-027-08改32「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.1.2-2.7,13(通し頁P.32,37,43)	
019	2022/9/28	NS2-補-027-08	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.145	多重鋼管杭式擁壁の被覆コンクリートの地震応答解析上のモデル化及び評価方法について説明すること。	2022/11/16	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)のうち被覆コンクリート壁について、地震応答解析においては鋼管杭と比較して剛性が低く、地震時応答への影響は軽微であると考えられることからモデル化せず、重量のみを考慮する旨を記載しました。また、3次元構造解析においては、線形ソリッド要素としてモデル化し、ソリッド要素から得られた要素応力からの断面力の算出の考え方を記載しました。	NS2-補-027-08改07「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-23.128～130 (通し頁P.27,132～134)	
020	2022/9/28	NS2-他-207	その他	防波壁通路防波扉及び漂流物対策工の考え方について	P.3	防波壁通路防波扉及び漂流物対策工について津波波圧の載荷方法を説明すること。	2022/12/20	防波扉及び漂流物対策工に作用する津波波圧の載荷方法として、これらの構造物で朝倉式から算定した水圧を同じように考慮すること、及び漂流物対策工の鋼製扉体が格子状の構造を有するが安全側の評価となるよう格子状の隙間も受圧面として津波波圧を考慮することを追記するとともに、津波時の荷重作用図を追加しました。	NS2-補-027-08改14「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.4項-P.31,33,2.6項-P.30,32,33 (通し頁P.258,260,532,534,535)	
021	2022/9/28	NS2-他-207	その他	防波壁通路防波扉及び漂流物対策工の考え方について	P.10	防波壁通路防波扉の漂流物対策工の位置付けについて整理して説明すること。	2022/12/20	防波扉の漂流物対策工は、津波防護施設の防波扉に漁船等の漂流物が直接衝突しないことを目的に設置する旨を追記しました。漂流物対策工は、防波扉の評価対象部位として、耐震計算書及び強度計算書を取りまとめる旨を明記しました。	NS2-補-027-08改14「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.3項-P.3,13,70,2.2.5項-P.3,13,70 (通し頁P.69,79,136,326,336,393)	
022	2022/10/12	NS2-補-027-08改01	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.16,18	評価対象断面選定において、グラウンドアンカ等の各部位の安全余裕に着目して、逆T擁壁の着目すべき損傷モードを踏まえて、その妥当性を説明すること。	2022/11/2	評価対象断面選定において、グラウンドアンカ等の各部位の安全余裕に着目して、選定の観点を再整理しました。その結果、⑤-⑤断面に加え、グラウンドアンカの許容アンカー力に占める初期緊張力の割合が大きい①-①断面及び④-④断面を評価対象断面に追加で選定しました。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.1.8.2-5～7,12～22,P.2.1.3-17～19 (通し頁P.7～9,14～24,50～52)	
023	2022/10/12	NS2-補-027-08改01	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.190	動的解析におけるグラウンドアンカのモデル化の妥当性について、検証方法を含めて説明すること。	2022/11/2 2022/11/11	グラウンドアンカのモデル化の妥当性の検証について、地震時のグラウンドアンカの挙動を確認し、逆T擁壁底版の変位に伴い発生アンカー力が増減を繰り返す挙動を確認した旨を記載しました。	NS2-補-027-08改06「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)1-53,54(通し頁P.309,310)	
024	2022/10/12	NS2-補-027-08改01	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.141	鋼管杭の影響検討について、杭による改良地盤への悪影響の有無を説明すること。	2022/11/2 2022/11/11	鋼管杭の影響検討として、局所安全係数分布図に加え、全時刻における破壊履歴図を記載し、難透水性の保持に影響する流入経路は形成されないことから、杭の変位による改良地盤への悪影響がないことを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-251.(参考)2-38 (通し頁P.322,429)	
025	2022/10/12	NS2-補-027-08改01	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.72, 73	逆T擁壁のモデル化において、地表面にモデル化することが保守的であること及び照査箇所の妥当性を説明すること。	2022/11/2 2022/11/11	逆T擁壁のモデル化において、地表面にモデル化することが地震時応答の観点から保守的であること、及びコンクリート標準示方書等に基づき、照査箇所を部材端とする説明を記載しました。	NS2-補-027-08改06「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.3-59,61(通し頁P.92,94)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
026	2022/10/12	NS2-添2-011-06	耐震(計算書)(VI-2-10-2-3-2)	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.29	グラウンドアンカのグループ効果について、考慮する必要性の有無を確認すること。	2022/11/2	グラウンドアンカは設計・施工基準に準拠し、1.5m以上の間隔を確保していることからグループ効果を考慮する必要性がないことを確認しました。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)1-20(通し頁P.244)	
027	2022/10/12	NS2-補-027-08改01	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.49	ばらつきの影響を確認する地盤について、岩盤のばらつきを考慮しない理由を説明すること。	2022/11/2	埋戻土のばらつきを考慮する理由について、地震時の繰返し載荷による剛性低下及び液状化による流動化が逆T擁壁の応答に影響すると考えられることを記載しました。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-22(通し頁P.55)	
028	2022/10/12	NS2-補-027-08改01	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.208	杭頭載荷実験における軸力設定(引張側)の考え方について説明すること。	2022/11/2	杭頭載荷実験における軸力設定(引張側)について、杭頭結合部の軸引張耐力を用いて軸力-曲げモーメント関係を負側に延長する考え方を記載しました。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)2-37~42(通し頁P.316~320)	
029	2022/10/19	NS2-他-212	その他	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における多重鋼管杭の許容限界の妥当性他	P.12,20	設計で用いる許容限界に対して、実験及びシミュレーション解析の結果から鋼材の応力状態や降伏範囲を考察したうえで、裕度及び位置付けを説明すること。	2022/11/16	実験の再現解析及び実物大スケール解析の鋼管杭、中詰コンクリート及びモルタルの応力状態を確認し、設計で用いる許容限界である降伏モーメント到達時において、鋼管杭はおおむね弾性状態であることを確認した旨を記載しました。	NS2-補-027-08改07「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)1-22~24, 28~33(通し頁P.262~264,268~273)	
030	2022/10/19	NS2-他-212	その他	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における多重鋼管杭の許容限界の妥当性他	P.29	主筋の折れ曲がり定着の勾配について、その妥当性を説明すること。	2022/12/21	折り曲げ部付近の定着長について、「コンクリート標準示方書2002」においては、曲げ内半径は鉄筋径の10倍未満とする場合、折り曲げてから鉄筋径の10倍以上まっすぐに延ばした場合に限り、直線部を定着長とすることができるとの規定が定められています。新設部分の陸側の主筋(D41)の定着長は鉄筋径の10倍以上(410mm以上)が必要となり、折り曲げ後の直線部分の定着長は1,050mmであることから、必要定着長を確保している旨を記載しました。	NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.1.5 P.(参考)1-12,13(通し頁P.550,551)	
031	2022/10/19	NS2-他-212	その他	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における多重鋼管杭の許容限界の妥当性他	P.29	波返重力擁壁の鉄筋の定着長について、コンクリート標準示方書の規定を網羅的に確認して説明すること。	2022/12/21	折り曲げ部付近の定着長について、「コンクリート標準示方書2002」においては、曲げ内半径は鉄筋径の10倍未満とする場合、折り曲げてから鉄筋径の10倍以上まっすぐに延ばした場合に限り、直線部を定着長とすることができるとの規定が定められています。新設部分の陸側の主筋(D41)の定着長は鉄筋径の10倍以上(410mm以上)が必要となり、折り曲げ後の直線部分の定着長は1,050mmであることから、必要定着長を確保している旨を記載しました。	NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.1.5 P.(参考)1-12,13(通し頁P.550,551)	
032	2022/10/19	NS2-他-212	その他	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における多重鋼管杭の許容限界の妥当性他	P.28	波返重力擁壁の既設と新設コンクリートの一体性について、根拠となる資料を整理して説明すること。	2022/12/21	重力擁壁の既設部分と新設部分の一体性を確保するため、付着力、主筋の定着長及び鉄筋引張試験結果を整理しました。また、境界部をモデル化した解析を実施し、地震時又は津波時の荷重に対する解析結果を整理しました。	NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.1.5 P.(参考)1-10~95(通し頁P.548~633)	
033	2022/10/19	NS2-他-212	その他	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における多重鋼管杭の許容限界の妥当性他	P.29	シミュレーション解析等により既設コンクリートと新設コンクリートのせん断破壊のメカニズムを説明するとともに、せん断に対する設計方法の妥当性を説明すること。	2022/12/21 2023/1/18	既設部分と新設部分の一体性を確認するため、境界部をモデル化した2次元有限要素法(有効応力解析)及び2次元材料非線形解析を実施し、地震時及び津波時の荷重において、部材の健全性に影響を及ぼす破壊が生じていないことを確認しました。また、地震時及び津波時の荷重を超えた荷重を作用させた場合においても、部材の健全性に影響を及ぼすせん断破壊が生じていないことを確認しました。	NS2-補-027-08改18「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.1.5 P.(参考)1-39~99(通し頁P.422~482)	
034	2022/11/2	NS2-補-027-08改04	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.17	⑤-⑤断面について、実際に設置されるグラウンドアンカ(エリア5)の諸元を用いてもグラウンドアンカの機能が喪失しないことを説明すること。	2022/11/22	⑤-⑤断面について、実際に設置されるグラウンドアンカ(エリア5)の諸元を用いてもグラウンドアンカの機能が喪失しないことを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-258~265(通し頁P.329~336)	
035	2022/11/2	NS2-補-027-08改04	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.315	改良地盤の局所安全係数について、全継続時間の中での破壊形態を示したうえで、水みちとなるような損傷範囲が形成されていないことを説明すること。	2022/11/22	改良地盤の最小すべり安全率時刻における局所安全係数分布に加え、全時刻における破壊履歴図を記載し、難透水性の保持に影響する流入経路は形成されないことを確認しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-198,199(通し頁P.269,270)	
036	2022/11/2	NS2-補-027-08改04	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.20	逆T擁壁の評価対象断面の選定について、⑦-⑦断面の位置付けを明確にして説明すること。	2022/11/11	横断方向の評価対象断面の選定結果を踏まえると、⑤-⑤断面位置が最も地震時応答加速度及び地盤変位が大きくなると考えられることから、⑤-⑤断面に直交する⑦-⑦断面を縦断方向の変形性評価及び隣接する躯体土の支圧評価の評価対象断面に選定した旨を追記しました。	NS2-補-027-08改06「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.1.8.2-17~23(通し頁P.17~26)	
037	2022/11/2	NS2-補-027-08改04	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.125, 203	影響検討ケースの解析断面及び地震動について、選定理由が明確になるように説明すること。	2022/11/11 2022/11/22	評価対象断面については、改良地盤と施設護岸、基礎捨石等が近接しており、施設護岸、基礎捨石等が逆T擁壁の地震時応答加速度等へ及ぼす影響が大きいとされる⑤-⑤断面とし、入力地震動及び地盤物性については、⑤-⑤断面において、ケース①~③で照査値が最も厳しくなる「 $S_s-N1(+)$ 、平均値-1 σ 」とすると、 $S_s-N1(+)$ は①-①断面及び④-④断面における照査値が最も厳しい地震動と同じであること、及び $S_s-N1(+)$ は⑤-⑤断面における曲げ・軸力系の照査においても最も厳しくなる地震動であることを記載しました。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-223(通し頁P.294)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
038	2022/11/2	NS2-補-027-08改04	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.205	2022/11/11 2022/11/22	解析ケース④(施設護岸等無)の変形量は、解析ケース③(施設護岸等有)と比べ、有意な差は認められず、施設護岸が逆T擁壁の応答に与える影響は小さいと考えられるが、解析ケース③(施設護岸等有)における変形量が若干大きく、保守的な評価となっていると考えられることを確認しました。 施設護岸天端(陸側端部)の海側への変位最大時刻及び逆T擁壁底版の傾斜最大時刻における変形を確認した結果、施設護岸天端(陸側端部)は、改良地盤地表面(海側端部)に比べ、海側に大きく変位しているため、改良地盤には施設護岸、基礎捨石等の受動土圧が作用せず、改良地盤の変形抑制に寄与していないと考えられることを確認しました。 また、防波壁(逆T擁壁)の前面に耐震性の低い施設護岸並びに基礎捨石及び被覆石が設置される断面においては、これらが改良地盤の変形抑制に寄与する可能性があることから、不確かさケースとして施設護岸、基礎捨石等が損傷した場合を想定し、これらがいない場合の検討を実施する旨を追記しました。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-23,77,221~239(通し頁P.94,148,292~310)		
039	2022/11/2	NS2-補-027-08改04	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.211	2022/11/11	鋼管杭と改良地盤間の杭-地盤相互作用ばねについて、概念図等を用いて説明すること。	NS2-補-027-08改06「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-210(参考)2-30(通し頁P.243,341)		
040	2022/11/2	NS2-補-027-08改04	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.112	2022/11/1	【NS2-他-056「島根原子力発電所第2号機 指摘事項」に対する回答整理表(地盤の支持性能)」のNo.121にて回答】	-	コメント移動	
041	2022/1/26	NS2-補-023-01改02	補足説明資料	地盤の支持性能について<地盤物性値・支持力>	P.95	2022/11/16	砂礫層及び埋戻土(粘性土)のG/GOのひずみ依存特性については、繰返し三軸試験より解析物性値の方が低くなるよう設定している。構造物評価の観点では、G/GOのひずみ依存特性が低いほど地盤剛性が小さくなり、地盤変形に伴う土木構造物の変形が大きくなるため、保守的な評価となる旨を記載しました。	NS2-補-027-08改07「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.1-227,232(通し頁P.231,236)	コメント移動	
042	2022/1/26	NS2-補-023-01改02	補足説明資料	地盤の支持性能について<地盤物性値・支持力>	P.103	2022/11/16	埋戻土(粘性土)の粘着力による防波壁への影響について、試験値を踏まえて説明すること。	NS2-補-027-08改07「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.1-231~236(通し頁P.235~240)	コメント移動	
043	2022/1/26	NS2-補-023-01改02	補足説明資料	地盤の支持性能について<地盤物性値・支持力>	P.48	2022/11/16	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の詳細設計について、施設護岸の影響を踏まえて基本ケースのモデルの考え方を説明すること。	NS2-補-027-08改07「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.1-84(通し頁P.88)	コメント移動	
044	2022/2/4	全般	-	-	-	2022/11/22	設置許可審査において、防波壁(逆T擁壁)の背面に液状化抑制を目的として自主的に実施すると説明している地盤改良について、防波壁への影響評価を説明すること。	NS2-補-027-08改08「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.3-252~257(通し頁P.323~328)	コメント移動	
045	2022/3/18	NS2-他-076	その他(解析物性値設定方針)	解析物性値(改良地盤)の設定方針について	P.7	2022/12/21	ケーソンの中詰材改良体について、別途補足説明資料の中で説明すること。	NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.1.5 P.(参考)3-1~15(通し頁P.642~656)	コメント移動	
046	2022/6/1	NS2-他-076改02	その他	解析物性値(改良地盤)の設定方針について	P.41	2022/11/2 2022/11/16 2022/12/21	改良地盤が破壊した場合の強度設定の考え方やとして残留強度の取扱いについて今後説明すること。	NS2-補-027-08改04「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)3-1~10(通し頁P.322~331) NS2-補-027-08改07「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)2-1~8(通し頁P.277~284) NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)2-1~8(通し頁P.634~641)	コメント移動	
047	2022/6/17	NS2-補-023-01改06	補足説明資料	地盤の支持性能について	P.137	2022/11/16	基礎捨石及び被覆石の解析物性値は港湾基準に基づき設定しますが、基礎捨石の物性が、試験による取得が困難であること及び文献を参照して設定することによる不確かさに対する配慮として、基礎捨石を貫通するように鋼管杭を設置し、基礎捨石による鋼管杭への影響が懸念される断面については、基礎捨石及び被覆石の解析物性値を埋戻土(粘性土)で代用する旨を記載しました。	NS2-補-027-08改07「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.1-84(通し頁P.88)	コメント移動	
048	2022/7/20	NS2-補-023-01改08	補足説明資料	地盤の支持性能について<物性値>	P.204	2022/12/21	改良地盤⑥について、動せん断弾性係数が小さい場合の慣性力への影響を定量的に説明すること。	NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.5-500~507(通し頁P.531~538)	コメント移動	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
049	2022/11/11	NS2-他-067改09	その他(論点整理)	島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について	P.135	防波壁の各構造形式における主な論点について、12/7会合で整理した内容に基づいて説明すること。	2022/11/22	防波壁の各種構造形式における主な論点について、12/7会合で整理した内容との対応が分かるように記載しました。	NS2-他-067改10「島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について」 P.1,2	
050	2022/11/16	NS2-補-027-08改07	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.114	被覆コンクリートと鋼管杭の構造概要を示したうえで、実機とモデルとの整合性について説明すること。	2022/12/16	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における被覆コンクリート壁と鋼管杭の構造概要を追記しました。また、3次元構造解析のモデル化において、被覆コンクリート壁と鋼管杭の境界設定として、節点共有を用いることについて、被覆コンクリート壁と鋼管杭の境界に発生する鉛直方向の慣性力に対して、鋼管杭と被覆コンクリート壁の付着力が十分に大きく、鋼管杭から被覆コンクリート壁の引き抜きは生じず、一体性を確保していることから節点共有とすることが適切である旨を追記しました。	NS2-補-027-08改13「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」	
051	2022/11/16	NS2-補-027-08改07	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.152	被覆コンクリート下端の鋼管杭について、耐震評価を説明すること。	2022/12/16	「4.1 地震応答解析結果」の多重鋼管杭の耐震評価では、全ての基準地震動Ss及び解析ケースにおける曲げ・軸力系破壊に対する照査及びせん断破壊に対する照査において、最も照査値が大きくなる断面に対する照査結果及び断面力図を示していたため、多重鋼管杭の断面変化点毎の照査結果を追記し、「4.1 地震応答解析結果」における多重鋼管杭の耐震評価で示していた照査値が最も厳しくなることを確認しました。	NS2-補-027-08改13「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)5-1~5(通し頁P.338~342)	
052	2022/11/16	NS2-補-027-08改07	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.105	改良地盤⑤の難透水性について、局所安全率による評価を検討して説明すること。	2022/12/16	改良地盤⑤について、局所的な破壊が難透水性の保持に及ぼす影響を確認するため、局所安全係数による健全性評価を実施し、局所的な破壊は確認されないことから、改良地盤⑤は健全性を確保している旨を追記しました。	NS2-補-027-08改13「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P2.1.1-188,189(通し頁P.193,194)	
053	2022/11/16	NS2-補-027-08改07	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.123,130	3次元構造解析に入力する変位・慣性力・静止土圧・外水圧について、地震応答解析において評価されているものを重複して入力することの妥当性を説明すること。	2022/12/16	地震応答解析により算定した鋼管杭の変位には、常時荷重(静止土圧及び外水圧)及び地震時荷重(慣性力)の影響が含まれている。3次元構造解析には、地震応答解析結果のうち、地表面高さの鋼管杭の変位に加え、鋼管杭と被覆コンクリート壁の慣性力及び常時荷重を荷重として重複して考慮することで、被覆コンクリート壁の評価においては安全側の評価となることから、妥当であると判断した旨を追記しました。	NS2-補-027-08改13「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.(参考)6-1~17(通し頁P.344~360)	
054	2022/11/16	NS2-補-027-08改07	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.13	漂流物対策工の役割・評価方針が分かるように説明すること。	2022/12/21	防波壁に設置する漂流物対策工は、津波防護施設である防波壁に設置し、漂流物衝突荷重を分散して防波壁に伝達し、防波壁の局所的な損傷を防止する機能、又は漂流物をグラウンドアンカに衝突させない機能を有することから、Sクラス施設である津波防護施設に分類し、その役割及び評価方針を記載しました。なお、漂流物対策工の役割、評価方針については、防波壁の添付資料及び補足説明資料にも反映します。	NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.8-17~19(通し頁P.694~696)	
055	2022/6/24	NS2-他-154	その他	漂流物対策工の概要	P.5,6	防波壁に設置する漂流物対策工について、グラウンドアンカの防護等の考え方を説明すること。	2022/12/21	防波壁(逆T擁壁)に設置される漂流物対策工のうち、グラウンドアンカを設置している範囲は鋼材及びアンカーボルトにより構成する構造とし、グラウンドアンカの保守管理時に取り外しが可能な構造とする旨を記載しました。	NS2-補-027-08改15「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.8-3,10(通し頁P.680,687)	コメント移動
056	2022/12/9	NS2-補-027-08改10	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.10	防波壁の打ち増しコンクリートについて、躯体コンクリートとの一体性を踏まえた設計の考え方を説明すること。	2023/2/24	NS2-補-027-08改28「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 2.4.1.1項参考資料2(通し頁P.418~451)	NS2-補-027-08改28「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 2.4.1.1項参考資料2(通し頁P.418~451)	
057	2022/12/13	NS2-補-027-08改11	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.22	局所的な衝突荷重について、防波壁の設計への反映方法を明確にするとともに、それを踏まえて評価対象断面の選定の是非を説明すること。	2023/1/11	「1.5 浸水防護施設の評価における漂流物衝突荷重、風荷重及び積雪荷重の設定」において、「局所的な漂流物衝突荷重」及び「施設全体に作用する漂流物衝突荷重」の影響を比較した結果を踏まえ、防波壁(逆T擁壁)については、保守的な施設全体に作用する漂流物衝突荷重を設定することから、「局所的な漂流物衝突荷重」については、評価対象断面の選定における観点に考慮しない旨を記載しました。	NS2-補-027-08改16「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.4-18,25(通し頁P.221,228)	
058	2022/12/13	NS2-補-027-08改11	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.162,166	縮小版及びフランジ部に作用する応力を固定ボルト及び管胴部でどのように処理しているのか説明すること。	2023/3/29	固定ボルトについては、縮小版に作用する水平力により生じる固定ボルトの引張力に加え、縮小版外縁に作用する曲げモーメントに伴い生じる固定ボルトの引張力を考慮した設計とする方針とし、発生応力度が許容限界以下であることを確認しました。また、取水管(管胴部)については、取水管(管胴部)に作用する曲げモーメントに加え、取水管(フランジ部)に作用する曲げモーメントを考慮した設計とする方針とし、発生応力度が許容限界以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改35「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.3.1-38,48(通し頁P.49,59) P.2.3.2-38(通し頁P.177)	
059	2022/12/14	NS2-添2-011-12	耐震(計算書)VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.139~143	ディーゼル燃料移送ポンプエリア防護対策設備防水壁の鋼板の面内及び面外応力の組合せ応力に対する評価結果を補足説明資料等で説明すること。	2023/3/8	ディーゼル燃料移送ポンプエリア防護対策設備防水壁の鋼板は薄い面材であることから、面内及び面外応力の組合せ応力に対する評価は、検討不要となりました。	NS2-補-027-08改31「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.4.2.4-1~10(通し頁P.45~56)	
060	2022/12/16	NS2-補-027-08改13	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.199	岩盤の根入部について、応力再配分した場合の破壊領域の拡大の有無、必要に応じてそれらを踏まえたすべり安全率評価を説明すること。	2023/1/25	最も破壊領域が広い等の理由から、③-③断面を評価対象断面に設定し、静的非線形解析を実施した結果、海側への破壊進展が確認されました。そのため、杭先端から海側にすべり面を設定し、すべり安全率を算定した結果、1.2以上であったことから、岩盤の水平支持力が確保されていることを確認しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.1-13,119~132,174~188,212~215(通し頁P.17,123~136,178~192,216~219)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
061	2022/12/16	NS2-補-027-08改13	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.199	応力再配分した場合の破壊領域を踏まえ、必要に応じて岩盤の水平支持（一面せん断）の観点から、すべり安全率評価を説明すること。	2023/1/25	最も破壊領域が広い等の理由から、③-③断面を評価対象断面に設定し、静的非線形解析を実施した結果、海側への破壊進展が確認されました。そのため、杭先端から海側にすべり面を設定し、すべり安全率を算定した結果、1.2以上であったことから、岩盤の水平支持力が確保されていることを確認しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.1-13.119～132.174～188.212～215(通し頁P.17.123～136.178～192.216～219)	
062	2022/12/16	NS2-補-027-08改13	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.199	止水目地の観点から、静的非線形解析における防波壁の変位を確認して説明すること。	2023/1/25	静的非線形解析による岩盤の破壊進展に伴う変位量増分を考慮した止水目地の変形量評価を実施した結果、許容限界以下であることを確認しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.1-132.188(通し頁P.136.192)	
063	2022/12/16	NS2-補-027-08改13	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.199	地震による岩盤の破壊状況を考慮した場合の津波評価結果に対する影響について説明すること。	2023/2/8	基準地震動Ssによる動的解析により鋼管杭周辺の岩盤に破壊領域が認められるため、基準地震動Ssによる動的解析及び静的非線形解析による岩盤の破壊領域を反映した津波時の局所完全係数分布及びすべり安全率を確認しました。その結果、破壊領域を通るすべり面のすべり安全率が1.2以上であったことから、岩盤の水平支持力が確保されていることを確認しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.86～96,111,121～124,138～140,147～152,256～260	
064	2022/12/16	NS2-補-027-08改13	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	—	鋼管杭の照査において、2次元FEMの結果と3次元構造解析の結果を比較して、3次元構造解析の保守性を説明すること。	2023/1/18	3次元構造解析において重複した荷重を考慮することについて、地震応答解析と3次元構造解析の鋼管杭における曲げモーメントを比較した結果、地震応答解析に比べて3次元構造解析の曲げモーメントが大きくなることから、地震応答解析に比べて3次元構造解析が保守的である旨を記載しました。	NS2-補-027-08改18「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)7-1～6(通し頁P.375～380)	
065	2022/12/20	NS2-補-027-08改14	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	全般	防波壁、漂流物対策工及び防波扉の構造、地盤状況等、説明したい内容について、詳細な図面等で説明すること。	2023/2/8	防波壁、漂流物対策工及び防波扉の位置関係及び基礎地盤の状況が分かるように、図面にキープランを追加しました。また、近接箇所については、各構造物・地盤を通る高さ(EL 0.5m～8.5m)でスライスした平面図等を追加したうえで、耐震評価における構造物間の相対変位が、構造物間の離隔距離に対して十分裕度があることを確認しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.329,331～333,335～339,508,510～512,514～518,612,614～617,621～625,803,805～808,812～816,910～915,921,954～966	
066	2022/12/20	NS2-添2-011-08	耐震(計算書)(VI-2-10-2-4)	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書	P.88	漂流物対策工(RC支柱)の奥行方向のモデル化範囲やモデル化位置等、構造物のモデル化方法を詳細に説明すること。	2023/2/8	2次元解析モデルにおける漂流物対策工(RC支柱)の線形はり要素へのモデル化について、モデル奥行き、断面二次モーメントの算出方法及び照査用断面の設定方法について説明するとともに、その他の構造物のモデル化の考え方に関する記載と図を追加しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.371,392～395,449,543～546,584,648,669～673,727,841～845,879	
067	2022/12/20	NS2-添2-011-08	耐震(計算書)(VI-2-10-2-4)	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書	P.151	RC支柱に作用する漂流物対策工や防波扉の地震時慣性力の取り扱いについて説明すること。	2023/2/8	2次元解析モデルにおいて、防波扉及び漂流物対策工の鋼製扉体は、付加重量として基礎スラブ又はRC支柱に設定して考慮する旨を記載しました。また、鋼製扉体の耐震評価は、付加重量を設定している設置床における最大応答加速度から、保守的な値の設計震度を設定して静的に評価を行う旨を記載しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.372,392,393,417,431,460,478,649,669,671,694,709,742,769	
068	2022/12/20	NS2-補-027-08改14	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.98	解析断面の妥当性について、地質構造の差異(液化化対象層の分布等)がMMRや改良地盤の安定性に与える影響や、防波扉とその支持物との干渉の観点についても説明すること。	2023/2/8	防波扉(荷揚場南)周辺の地質状況に基づき、改良地盤の幅、埋土の幅及び岩盤上面の傾斜の観点から解析断面の妥当性について検討し、耐震評価上保守的な設定であることを確認しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.359～369	
069	2022/12/20	NS2-補-027-08改14	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.645	漂流物衝突荷重について、「施設全体に作用する漂流物衝突荷重」と「局所的な漂流物衝突荷重」の設定方法の考え方について、これまでの説明内容を踏まえて整理して説明すること。	2023/2/8	衝突荷重については、「1.5 浸水防護施設の評価における漂流物衝突荷重、風荷重及び積雪荷重の設定」の整理結果を踏まえ、評価対象部位に応じて「施設全体に作用する衝突荷重」又は「局所的な漂流物衝突荷重」を考慮する旨を追記し、部材幅が1m未満の部材(張出桁及び補助縦桁)については「局所的な漂流物衝突荷重」による評価結果を追加しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.537～539,579,580,588,591～605,834～836,876,883,886～902	
070	2022/12/20	NS2-補-027-08改14	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.597	防波扉(1号機北側, 2号機北側)について、漁船以外の漂流物を考慮する必要がないか整理して説明すること。	2023/2/8	防波扉(1号機北側, 2号機北側)は防波壁の壁面(海側)より奥まった狭隘な場所に設置していることから、防波扉に漂流物として船舶が直接衝突しないため、枕木を漂流物として考慮して強度評価を行い、構造健全性を有することを確認しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.304～322	
071	2022/12/20	NS2-補-027-08改14	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	全般	漂流物対策工の鋼製扉体の構成部材・接合方法が分かる資料を用いて説明すること。	2023/2/8	漂流物対策工の鋼製扉体について、各部材の構成が分かるように構造図を追加し、溶接で接合した格子状の部材であることを記載しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.327,431,432,506,576,577,610,709,710,801,872,873	
072	2022/12/20	NS2-補-027-08改14	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.18	各防波扉の運用及び扉開の状態における耐震性について整理して説明すること。	2023/2/8	①各防波扉の運用については、【NS2-他-072「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐津波設計方針)」のNo.123にて回答】 ②防波扉(荷揚場南)及び防波扉(3号機東側)について、扉開の状態の耐震評価を実施し、評価対象部材の発生応力が許容限界以下であることを確認しました。	①— ②NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.967～1021	コメント移動
073	2022/12/20	NS2-補-027-08改14	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.79	開閉装置の耐震設計方針について説明すること。	2023/2/8	防波扉(荷揚場南)及び防波扉(3号機東側)の開閉装置については、手動による開閉操作により、津波が到達するまでに荷揚場作業に係る車両・資機材の退避が可能であることを確認していることから、開閉装置の動的機能維持評価は実施しない旨を追記しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.340,626	
074	2022/12/21	NS2-補-027-08改15	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.12～14	防波壁に設置する漂流物対策工が押抜きせん断で損傷しないことを踏まえ、防波壁における漂流物衝突荷重の考え方を整理して説明すること。	2023/1/25	防波壁における「施設全体に作用する漂流物衝突荷重」は、「局所的な漂流物衝突荷重」である1,200kNを上回ることを、また、漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)は、「局所的な衝突荷重」においても局所的な損傷(コンクリートの押抜きせん断)は生じないことから、「局所的な衝突荷重」により防波壁が損傷するおそれはないため、防波壁の強度評価においては「施設全体に作用する漂流物衝突荷重」を考慮する旨を記載しました。	NS2-補-027-08改20「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.1.5-15～17(通し頁P.17～19)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
075	2022/12/21	NS2-補-027-08改15	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.16	局所的な衝突荷重を考慮する施設について網羅的に説明すること。	2023/1/25	津波防護施設の構造的特徴及び漂流物対策の有無を踏まえ、評価対象部材における漂流物衝突荷重を整理しました。	NS2-補-027-08改20「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.15-18(通し頁P.20)	
076	2022/12/21	NS2-補-027-08改15	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.17	防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)について、開口幅を踏まえて設計に考慮する漂流物を説明すること。	2023/1/25	防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)は、防波壁の壁面(海側)より奥まった狭隘な場所に設置する施設であることから、衝突する漂流物として枕木を選定した旨を記載しました。	NS2-補-027-08改20「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.1.5-5~9(通し頁P.7~11) NS2-補-018-02改13「津波への配慮に関する説明書に係る補足説明資料」P.4.1-11.4.5-3.6.24~26.28.29.37.39.添付2-8.添付15-1~7(通し頁P.15.20.23.41~43.45.46.54.56.140~147)	
077	2022/12/21	NS2-補-027-08改15	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.157	重力擁壁とケーソンの一体性について追記して説明すること。	2023/1/25	重力擁壁とケーソンの一体性について、重力擁壁の転倒及び滑動、並びに転倒に伴う接地圧を確認し、すべての項目において許容限界を下回ることを確認したことから、重力擁壁とケーソンは一体性が確保されていると判断しました。	NS2-補-027-08改20「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」2.1.5、P.(参考)6-1~15(通し頁P.671~685)	
078	2022/12/21	NS2-補-027-08改15	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.45	放水路貫通部のケーソンについて、施設としての位置付けを明確にした上で、評価方法(許容限界・鉄筋の取り扱い等)を整理して説明すること。	2023/1/25	放水路ケーソンのうち頂版、側壁及び底板は、重力擁壁を支持する機能及び遮水性を保持する機能を有することから、ケーソンがおおむね弾性状態にとどまることを確認するために、3次元線形構造解析による耐震評価を行う旨を記載しました。また、放水路ケーソンのうち隔壁は、重力擁壁を支持する機能を有することから、構造強度を有することを確認するために、3次元線形構造解析を行い、3次元線形構造解析による許容限界を超える場合は、3次元非線形構造解析による耐震評価を行う旨を記載しました。	NS2-補-027-08改20「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.5-7~11.223.229.234~240(通し頁P.127~131.343.349.354~360)	
079	2023/1/11	NS2-補-027-08改16	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.13	重畳時の応力算定プロセスを整理するとともに、その妥当性について説明すること。	2023/2/8	重畳時の応力算定プロセスとして、重畳時は津波と余震が同時に作用する事象であることから、重畳時に発生する応力値は、余震に伴う最大応力値と津波に伴う応力値を足し合わせたうえで、重複している常時応力解析による応力値を差し引いて算定している旨を記載しました。また、妥当性の確認として、重畳時は、余震に伴い地盤剛性が低下した状態で津波が作用することから、余震荷重と津波荷重を作用させた解析を実施しました。その結果、余震に伴う地盤剛性の低下が照査値に与える影響は軽微であることを確認しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.97~99.251~255	
080	2023/1/11	NS2-補-027-08改16	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.153	重畳時における2次元応答解析及び3次元構造解析の地盤のばらつき取り扱いについて整理して説明すること。	2023/2/8	津波時及び重畳時の評価のうち、鋼管杭等の評価を目的とした2次元有限要素法においては、照査値に与える影響が軽微であることから、地盤のばらつきを考慮しない旨を追記しました。また、被覆コンクリート壁の評価を目的とした3次元構造解析においては、鋼管杭における法線直交方向の挙動の差異による被覆コンクリート壁のねじれを表現する手法として、地盤のばらつきを考慮する旨を追記しました。	NS2-補-027-08改24「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.156	
081	2023/1/13	NS2-補-027-08改17	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.81	耐震強化岸壁に求められる許容限界の変形量について、漂流防止装置基礎(荷揚護岸)への適用性を説明すること。	2023/2/15	許容限界の変形量について、発電所における使用条件と過去に被災した護岸の供用の観点から許容される変形量を整理し、保守的な設定を行った旨を追記しました。	NS2-補-027-08改25「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」通し頁P.1133~1140	
082	2023/1/18	NS2-補-027-08改18	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.220	3次元構造解析に入力している地震応答解析における鋼管杭の変位を説明すること。	2023/1/25	被覆コンクリート壁の法線方向のねじれの影響に対する評価を行うため、3次元構造解析において両端の鋼管杭に設定する変位量について記載を追記しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.2.1.1-244.245(通し頁P.248.249)	
083	2023/1/18	NS2-補-027-08改18	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.415	鉄筋降伏以外の破壊が起きていないことについて説明すること。	2023/1/25	模型実験後の鉄筋周辺のコンクリート表面の写真に記載するとともに、考察として、表面に浮きがあるがコンクリート内部にクラックが連続していないことを確認した旨を追記しました。	NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.(参考)1-35~43(通し頁P.437~445)	
084	2023/1/18	NS2-他-067改11	その他	島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について	P.8	セメントミルクの評価方針について、求められる役割等を示したうえで、評価方針のプロセス等を説明すること。	2023/1/25	鋼管杭と岩盤の間の空隙を閉鎖しているセメントミルクに期待する役割は、鋼管杭及び被覆コンクリート壁を支持する等であり、岩盤と同様の役割を期待しています。そのため、セメントミルクが岩盤と同様の強度を有することを確認したうえで、セメントミルクを岩盤として耐震及び耐津波評価を実施する方針とする旨を追記しました。	NS2-他-067改12「島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)」に係る論点整理について」P.8	
085	2023/1/18	NS2-他-067改11	その他	島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について	P.6	改良地盤の奥行方向及び深さ方向の範囲が分かるように説明すること。	2023/1/25	防波壁の背後に設置する改良地盤⑤について、奥行方向及び深さ方向の改良範囲が分かるように記載を追記しました。	NS2-他-067改12「島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)」に係る論点整理について」P.6	
086	2023/1/18	NS2-他-067改11	その他	島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)に係る論点整理について	P.23	波返重力擁壁の基部コンクリートの強度と模型実験のコンクリート強度の取り扱いについて整理して説明すること。	2023/1/25	実構造物の重力擁壁(基部コンクリート)の設計基準強度は18N/mm ² に対して、一軸圧縮強度の平均値が27.0N/mm ² 、平均値-1σが24.5N/mm ² となっていることを踏まえ、実構造物における主筋の破壊形態や引張耐力に及ぼす影響を確認するため、実験体のコンクリート強度は実構造物と同程度である24N/m ² とした旨を記載しました。	NS2-他-067改12「島根原子力発電所第2号機工事計画認可申請(補正)」に係る論点整理について」P.25	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
087	2023/2/1	NS2-補-027-08改23	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.54	ケーソンについて、土木の設計体系を用いているのに、許容限界として建築の値を用いている考え方を整理して説明すること。	2023/2/15	放水路ケーソンについては、土木の設計体系に基づき設計するため、「コンクリート標準示方書(2002)」に基づく許容限界を採用します。なお、「コンクリート標準示方書(2002)」に基づく許容限界を超える場合、発生応力度の平均化を実施し評価を行います。発生応力度の平均化後においても許容限界を超える場合は、許容限界を超える範囲が局所的であることを確認し、部材全体としての機能維持されていることを確認します。また、参考として、「RC規準(1999)」に基づく短期許容応力度以下であることを確認します。	NS2-補-027-08改25「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.5-226,227,405(通し頁P.346,347,525)	
088	2023/2/1	NS2-補-027-08改23	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.150	耐震計算において、非線形解析における鉄筋コンクリート要素としてモデル化する範囲及び具体的なモデル化方法について説明すること。	2023/2/15	放水路ケーソンのうち鉄筋を考慮する隔壁について、鉄筋コンクリート要素でモデル化する領域は、かぶり厚さのおおむね2倍程度となるよう設定することとし、モデル化方法を追記しました。	NS2-補-027-08改25「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.5-233,234(通し頁P.353,354)	
089	2023/2/8	NS2-補-027-08改24	その他	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.538	漂流物対策工のうち、材料の異なる構造物が混在する場合の衝突荷重の考え方について整理して説明すること。	2022/2/22	防波扉の漂流物対策工については、異なる材料のRC支柱で両端を支持される構造であること、部材が船首の幅を上回る鋼材であることを踏まえ、「施設全体に作用する衝突荷重」に加えて「船首衝突」を考慮する。	NS2-補-027-08改29「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.1.5-13,14,18(通し頁P.15,16,20)	
090	2023/2/17	NS2-補-027-08改26	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.6	地震時の取水管の挙動が管路縮小工に及ぼす影響について説明すること。	2023/3/29	1号機取水槽の耐震性を確保するため、管路縮小工の周囲にコンクリートを充填することにより、1号機取水管終端部の大部分は剛構造であることから、隣接する1号機取水管の管径方向の変形(土圧による内側倒への変形)及び管軸方向の変形(地震動による水平及び鉛直方向の変形)が縮小板の健全性に及ぼす影響は軽微である旨を記載しました。	NS2-補-027-08改35「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.3.1-17,2.3.2-16(通し頁P.28,155)	
091	2023/2/17	NS2-補-027-08改26	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.71	間接支持機能及び波及的影響を及ぼさないことの確認において、評価対象部位の周辺部材の損傷がどの様な影響を及ぼすのか分かるように設計対象断面及び解析手法、評価手法を整理して説明すること。	2023/3/29	北側壁の補強工事として充填コンクリートを打設することとしました。それに伴い、設計対象断面は北側壁にとって弱軸である南北断面を選定し、解析手法や評価手法についても整理した上で詳細に記載しました。	NS2-補-027-08改35「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.3.1-13~15,34~39,58~70 (通し頁P.24~26,45~50,69~81)	
092	2023/2/17	NS2-補-027-08改26	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.115,116	曲げ照査において層間変形角を用いていることについて、その適用性を説明すること。	2023/3/29	補強工事及び評価対象部材の見直しを踏まえ、曲げ照査方法を降伏曲げモーメントによる照査に見直すことを記載しました。	NS2-補-027-08改35「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.3.1-121,122(通し頁P.132,133)	
093	2023/2/24	NS2-補-027-08改28	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.444	防波壁の挙動を踏まえた打ち増しコンクリートの損傷モード、及び想定し得る作用荷重の考え方を整理したうえで、集水桝及び打ち増しコンクリートの設計の考え方を説明すること。	2023/3/31	防波壁の挙動を踏まえた作用荷重の考え方を2.4.1.1屋外排水路逆止弁の耐震性に関する補足説明の参考資料2に追記しました。	NS2-補-027-08改36「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 2.4.1.1項のP.(参考)2-27,28(通し頁P.456,457)	
094	2022/10/19	NS2-他-232	その他	防波壁(波返重力擁壁)のうちケーソンの評価方法の見直しについて	P.1	設置変更許可段階からの評価方針の見直しについて、ケーソンの三次元FEM解析を行わない場合は、その理由、妥当性、評価方法の比較等を含めて説明すること。	2023/3/8	ケーソンについて、設置変更許可段階の評価方針である3次元静的FEM解析により評価する方針としました。	NS2-補-027-08改30「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.5-228~520(通し頁P.233~525)	
095	2022/10/19	NS2-他-232	その他	防波壁(波返重力擁壁)のうちケーソンの評価方法の見直しについて	P.9	解析においては、ケーソンや防波壁を一体として扱う場合にはその根拠を説明すること。	2023/3/8	No.78にて回答済み		
096	2022/9/16	NS2-他-029改01	その他	屋外排水路逆止弁の設置状況及び許容限界の設定の考え方について	P.6	防波壁(波返重力擁壁及び多重鋼管杭式擁壁)下の水路部は断面開口部となるため、設計上の配慮について説明すること。防波壁(波返重力擁壁)と既設ケーソンの一体性が集水桝に及ぼす影響を説明すること。	2023/3/8	①防波壁(波返重力擁壁)の屋外排水路による断面開口部について、屋外排水路と比較して開口率の大きい放水路ケーソンの耐震性を確認していることから、防波壁(波返重力擁壁)の耐震性に影響はないと判断する。 ②また、防波壁(波返重力擁壁)の重力擁壁とケーソンの一体性を確認していることから、集水桝に及ぼす影響はない。 ③防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の屋外排水路による断面開口部において、取水路や屋外排水路が設置される多重鋼管の設置間隔が大きくなるが、ブロック長が最も長く被覆コンクリート壁の影響が大きい断面を選定していることから、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性に影響はないと判断する。	①NS2-補-027-08改32「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 P.2.1.9-39~41(通し頁P.344~346) ②NS2-補-027-08改30「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 2.1.5 P.(参考)6-1~16 (通し頁P.690~705) ③NS2-補-027-08改21「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」 2.1.1 P.(参考)4-17~19 (通し頁P.357~359)	コメント移動
097	2022/6/24	NS2-他-154	その他	漂流物対策工の概要	P.5	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の漂流物対策工について、押し波時の碎波等により海水位より低い位置に漂流物が衝突する場合もあることを踏まえ、対策工の設置範囲を説明すること。	2023/3/8	鋼管杭の評価のうち最も厳しい曲げ・軸力系の破壊においては、津波水位EL.12.6mより低い位置に漂流物が衝突したとしても、発生曲げモーメントは小さくなることから、鋼管杭に漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)を設置しない旨を記載しました。	NS2-補-027-08改32「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.1.5-11 (通し頁P.70)	コメント移動
098	2022/6/24	NS2-他-154	その他	漂流物対策工の概要	P.5他	漂流物対策工の設置について、設置に伴う防波壁の止水性確保の考え方及び漂流物対策工と防波壁に作用する衝突荷重について説明すること。	2023/3/8	漂流物対策工は防波壁の海側に設置することに対し、止水目地は防波壁の陸側に設置することで止水性を確保します。また、漂流物対策工に作用する衝突荷重及び漂流物対策工を介して防波壁に分散して伝達する衝突荷重について、それぞれ安全側の評価となるよう衝突荷重を選定する旨を記載しました。	NS2-補-027-08改32「浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」P.1.5-18 (通し頁P.77)	コメント移動
099	2023/3/8	NS2-補-027-08改32	補足説明資料	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料	P.320他	止水目地の天端高さ(EL12.6m)に対し、設置許可での許容津波高さがEL15mであることを含め、止水目地の天端高さについて検討すること。	2023/3/9	止水目地の天端高さについて、EL15mとする方針に見直しました。	NS2-添1-004改09「VI-1-1-3-2 津波への配慮に関する説明書」VI-1-1-3-2-5のP.14~16(通し頁P.159~161)	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(浸水防護施設(土建関係))

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～1749は、NS2-他-231改33で整理済みのため省略。						
1750	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 応答を抽出するものである。 (新) 応答値を抽出するものである。	2023/4/7	
1751	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 津波監視設備(津波監視カメラ)の設計震度設定に用いる。 (新) 津波監視設備(津波監視カメラ)が耐震性に關する技術基準へ適合することを確認するために用いる応答値の抽出を行う。の設計震度設定に用いる。	2023/4/7	
1752	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.3	「2.2 構造概要」について、他補正申請図書と記載を合わせるため、漂流物対策工及び止水目地を追記する等、記載の構成を変更しました。	2023/4/7	
1753	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.4	図2-2について、漂流物対策工及び止水目地を追加しました。	2023/4/7	
1754	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.5,6	図2-3及び図2-4について、漂流物対策工、ケーソン隔壁及び蓋コンクリート等追記し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1755	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.7	地震応答解析から抽出する応答値の用途について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1756	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.8	図2-4中の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 地震時土圧、慣性力及び接地圧 (新) 断面力、変位、慣性力及び接地圧 (旧) 解析モデル及び諸元の設定(地盤物性のばらつきを考慮) (新) 2次元有限要素法モデル及び諸元の設定(地盤物性のばらつきを考慮)	2023/4/7	
1757	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.9 他	本文中に記載された適用規格・基準類について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1758	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.10	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) ③-③断面は、ケーソンに開口部(放水路)を有するため、評価対象断面として選定した。 (新) ③-③断面は、開口部(放水路)を有するケーソンが設置されているため、評価対象断面として選定した。	2023/4/7	
1759	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.10	⑦-⑦断面を変形性評価の評価対象断面として選定している旨について記載を追記しました。	2023/4/7	
1760	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.11	図3-1について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 止水目地 (新) 目地	2023/4/7	
1761	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.12～15	図3-2～図3-8について、岩相図から岩級図に修正し、漂流物対策工の追記及び凡例の見直し等の適正化をしました。	2023/4/7	
1762	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.16～23	図3-9～図3-17について、ケーソン設置部及び岩盤直接支持部の構造図と、②-②断面～⑤-⑤断面の構造図(断面図)を追記しました。	2023/4/7	
1763	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.27	重畳時の評価実施する評価対象断面及び解析ケース①のみを実施する旨を追記しました。	2023/4/7	
1764	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書	P.27,28	表3-3及び表3-4の地震動の位相について、符号を括弧付きで記載するように修正しました。 例) (旧) ++ (新) (+ +)	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1765	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.29	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)積雪及び風荷重 (新)積雪荷重及び風荷重 (旧)躯体自重、機器・配管及び漂流物対策工の荷重を考慮する。 (新)躯体自重及び機器・配管の荷重を考慮する。	2023/4/7	
1766	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.29,30	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)Sd (新)KSd	2023/4/7	
1767	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.86~97	⑦-⑦断面の入力地震動及び応答スペクトルを追加しました。	2023/4/7	
1768	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.98	「3.5.1 解析モデル」についてモデル化方法の記載を拡充しました。	2023/4/7	
1769	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.101	⑦-⑦断面の解析モデル図を追加しました。	2023/4/7	
1770	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.102	表3-7(材料の物性値)の注記を適正化しました。	2023/4/7	
1771	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.103	表3-8について、⑦-⑦断面の設計地下水位を追記しました。	2023/4/7	
1772	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.104 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)最大加速度 (新)最大応答加速度	2023/4/7	
1773	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.104,150 他	②-②断面及び③-③断面について、弾性設計用地震動Sd-Dに対する防波壁天端の変位量を追記しました。	2023/4/7	
1774	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.170 他	④-④断面について、防波壁天端の変位量及び弾性設計用地震動Sd-Dに対する防波壁天端の変位量を追記しました。	2023/4/7	
1775	NS2-添2-011-02改01	VI-2-10-2-2-1 防波壁(波返重力擁壁)の地震 応答計算書	P.231	⑦-⑦断面の解析結果を追加しました。	2023/4/7	
1776	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.1	地震応答解析にて抽出値の記載を追記しました。	2023/4/7	
1777	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.3	構造概要について、他防波壁と記載内容を合わせるため適正化しました。	2023/4/7	
1778	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.4	図2-2について、鳥瞰図と断面図の副題を追記しました。	2023/4/7	
1779	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.4	図2-2について、鳥瞰図に漂流物対策工とEL表示を追記し、断面図は漂流物対策工と止水目地を追記しました。	2023/4/7	
1780	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.4	図2-2について、注記の記載を適正化しました。	2023/4/7	
1781	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.5	図番号の記載を適正化しました。	2023/4/7	
1782	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.5	図2-3について、構造図(断面図)に漂流物対策工及び海陸方向を追記しました。	2023/4/7	
1783	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.6	解析方針について、応答加速度、断面力及び接地圧の記載を追記しました。	2023/4/7	
1784	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答 計算書	P.8,18	適用規格・基準等の記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1785	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.9	評価対象断面について、対象断面に④-④断面及び⑦-⑦断面を追記し、選定理由を追記しました。	2023/4/7	
1786	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.9	評価対象断面の選定について、以下のとおり凡例を適正化しました。(下線部参照) (旧)北側における横断方向の断面である。 (新)北側における断面である。	2023/4/7	
1787	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.9	①-①断面、⑤-⑤断面の選定理由について、他防波壁と記載内容を合わせるため適正化しました。	2023/4/7	
1788	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.10	図3-11について、屋外排水路逆止弁⑨を追記し、RC床版及び凡例の鋼管杭に注記を追記しました。	2023/4/7	
1789	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.10	図3-1について、グラウンドアンカの詳細図、荷揚場等の幅及び凡例のグラウンドアンカを削除しました。	2023/4/7	
1790	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.10	図3-1について、地盤改良①～③の凡例色を適正化しました。	2023/4/7	
1791	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.10	図3-1について、以下のとおり凡例を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)目地	2023/4/7	
1792	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.11	図3-2について、岩級図に変更し、縦断延長を追記しました。	2023/4/7	
1793	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.11	図3-2について、評価対象断面の表記及び凡例の表記順序を適正化しました。	2023/4/7	
1794	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.11	図3-2について、以下のとおり凡例を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤 (新)改良地盤①～③	2023/4/7	
1795	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.11	図3-2について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)EL±15.0m (新)EL 15.0m	2023/4/7	
1796	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.12～14	図3-3～8について、岩級図へ変更し、漂流物対策工を追記しました。 また、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
1797	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.14	⑦-⑦断面の横断面図を削除しました。	2023/4/7	
1798	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.15	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元有限要素法解析 (新)2次元有限要素法	2023/4/7	
1799	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.15	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)線形はり要素及び非線形ばね (新)線形はり要素(ビーム要素)及び非線形ばね	2023/4/7	
1800	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.15,59	解析方法について、グラウンドアンカのモデル化の記載を以下のとお適正化しました。(下線部参照) (旧)非線形ばねでモデル化する。 (新)非線形ばねでモデル化し、定着部分を多点拘束(MPC)とする。	2023/4/7	
1801	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.15	漂流物対策工の解析方法を追記しました。	2023/4/7	
1802	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.16	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3.2.2 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)3.2.2 地盤物性のばらつき	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1803	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.16	表3-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)有効応力解析における解析ケース (新)解析ケース	2023/4/7	
1804	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.17	解析ケースについて、防波壁前面の施設護岸、基礎捨石等の損傷を考慮した解析ケース④に関する記載を追記しました。	2023/4/7	
1805	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.17	表3-2について、地震動(位相)の記載を適正化し、ケース④を追記しました。	2023/4/7	
1806	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.17	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)全て (新)すべて	2023/4/7	
1807	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.18	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)積雪及び風の荷重 (新)積雪荷重及び風荷重	2023/4/7	
1808	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.18,19	考慮する荷重について、グラウンドアンカの初期緊張力を追記しました。	2023/4/7	
1809	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.19	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時荷重 (新)地震荷重(基準地震動Ss)	2023/4/7	
1810	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.20	図3-9について、EL表記の位置を適正化しました。	2023/4/7	
1811	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.21,23,25,27,29,31	加速度時刻歴波形の時刻(横軸)表記を適正化しました。	2023/4/7	
1812	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.23,25,29~32,47,49,53~56	地震動の表記を適正化しました。	2023/4/7	
1813	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.33~44,57,58	④-④断面及び⑦-⑦断面の入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトルを追記しました。	2023/4/7	
1814	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.45 他	断面追加に伴い、章番号及び図番号を適正化しました。	2023/4/7	
1815	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.59	地震応答解析モデルの参考資料を追記しました。	2023/4/7	
1816	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.59	岩盤のモデル化の記載を追記しました。	2023/4/7	
1817	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.59	ジョイント要素の設定について、記載を適正化し、使用する適用規格・基準等を適正化しました。	2023/4/7	
1818	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.60,61	図3-49及び図3-51について、④-④断面及び⑦-⑦断面の地震応答解析モデルを追記し、図番号を終始しました。	2023/4/7	
1819	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.60,61	図3-48及び図3-50について、地震応答解析モデルを適正化しました。	2023/4/7	
1820	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.61	表3-4について、グラウンドアンカのアンカー長を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)22.0m~30.0m (新)17.5m~30.0m	2023/4/7	
1821	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.61,63	表3-4について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)引張力 (新)引張力	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1822	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.62	表3-5について、準拠図書の記載を以下のとおり適正化しました。 (旧)道路橋示方書(Ⅰ共通編・Ⅳ下部構造編)・同解説(日本道路協会、平成14年3月) (新)コンクリート標準示方書[構造性能照査編]((社)土木学会、2002年制定)	2023/4/7	
1823	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.63,64	表3-6及び図3-53について、材料の物性値及びグラウンドアンカの非線形ばねモデルの概念図を適正化しました。	2023/4/7	
1824	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.63,64	表3-6について、⑦-⑦断面のグラウンドアンカ番号に注記を追記し、図3-52に配置位置図を追記しました。	2023/4/7	
1825	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.65	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3.5.3 地盤及び改良地盤の物性値 (新)3.5.3 地盤の物性値	2023/4/7	
1826	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.65	設計地下水位について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
1827	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.66	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)最大加速度分布図を (新)最大応答加速度分布図を	2023/4/7	
1828	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.67 他	最大応答加速度分布図の図タイトルについて、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1829	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.71,72,75~78, 8184,111~114	地震動の表記を適正化しました。	2023/4/7	
1830	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.85~101	④-④断面の解析結果として、最大応答加速度分布図を追記しました。	2023/4/7	
1831	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.102	解析結果の追記に伴い、章番号を適背化しました。	2023/4/7	
1832	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.119,120	解析ケース④の最大応答加速度分布図及び防波壁天端の変位量を追記しました。	2023/4/7	
1833	NS2-添2-011-03改01	VI-2-10-2-2-2 防波壁(逆T擁壁)の地震応答計算書	P.121	④-④断面の解析結果を追記しました。	2023/4/7	
1834	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たっては (新)あたっては (旧)施設・地盤の健全性評価、施設の変形性評価 (新)施設・地盤の健全性評価及び施設の変形性評価	2023/4/7	
1835	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.3	「2.2 構造概要」について、防波壁(波返重力擁壁)の構造概要の他補正申請図書と記載を合わせるため、記載の構成を変更及び漂流物対策工について追記等、記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1836	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.3	<p>構造概要について以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧)防波壁(波返重力擁壁)は、マンメイドロック・・・ (新)防波壁(波返重力擁壁)は、岩盤、若しくはマンメイドロック・・・</p> <p>(旧)・・・「MMR」という。)等を介して堅固な地山の岩盤に支持され、鉄筋コンクリート造の・・・ (新)・・・「MMR」という。)を介して岩盤若しくは改良地盤に支持される鉄筋コンクリート造の・・・</p> <p>(旧)ケーソン設置部と、重力擁壁が・・・ (新)るケーソン設置部と、鉄筋コンクリート造の重力擁壁が・・・</p> <p>(旧)構造体の境界部には、止水性を保持するための止水目地を重力擁壁の陸側に設置する。 (新)重力擁壁及び前壁の背面に中詰コンクリートが充填されていないケーソンの海側には、鉄筋コンクリート版により構成された漂流物対策工(以下「漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)という。))を設置し、重力擁壁の陸側の境界部には、試験等により止水性を確認した止水目地を設置する。</p>	2023/4/7	
1837	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.4	図2-2について、漂流物対策工及び止水目地を追加しました。	2023/4/7	
1838	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.5	図2-3(2)について、ケーソンの構造を明確化し、漂流物対策工を追加しました。	2023/4/7	
1839	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.6	図2-4(2)について、漂流物対策工及び平面図を追加しました。	2023/4/7	
1840	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.7	<p>図2-5について、止水目地の拡大位置を明確化し、評価断面矢視を削除しました。また、凡例について、以下のとおり変更しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)目地</p>	2023/4/7	
1841	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.8他	<p>以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の変形量 (新)止水目地の変位量</p> <p>(旧)許容限界を下回ることを確認する。 (新)許容限界以下であることを確認する。</p>	2023/4/7	
1842	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.9～14	表2-1～表2-3について放水路ケーソンにおける項目及び記載の追記し、漂流物対策工に係る記載を適正化しました。	2023/4/7	
1843	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.9～10	<p>表2-1内について下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重力擁壁間の変形に追従する。 (新)重力擁壁間の変位に追従する。</p> <p>(旧)解析モデルに取り込み (新)解析モデルに反映し</p> <p>(旧)津波荷重に対して地盤反力として寄与する。 (新)防波壁(波返重力擁壁)より陸側については、津波荷重に対して地盤反力として寄与する。</p>	2023/4/7	
1844	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.13～14	<p>表2-3内について下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生する応力度(曲げ・軸力及びせん断力)が許容限界以下 (新)発生する応力(曲げ応力及びせん断応力)が許容限界以下</p> <p>(旧)変形量 (新)変位量</p>	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1845	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.13~14	基礎地盤の支持性能の許容限界に支圧強度を追加しました。	2023/4/7	
1846	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.15	図2-5中について施設の健全性評価として、漂流物対策工及び止水目地について記載を追記しました。また、評価フローの項目として、許容限界の設定を追記しました。	2023/4/7	
1847	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.16他	本文中に記載された適用規格・基準類について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1848	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.17	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ケーソンに開口部(放水路)を有するため (新)開口部(放水路)を有するケーソンが設置されているため (旧)止水目地の変形量 (新)止水目地の変位量	2023/4/7	
1849	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.17	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)②-②断面、③-③断面、④-④断面及び⑤-⑤断面は、図3-4~図3-7に・・・ (新)図3-4~図3-8に・・・	2023/4/7	
1850	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.18	図3-1の凡例について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)目地	2023/4/7	
1851	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.19	図3-2について、岩相図から岩級図に修正し、評価対象断面位置を赤字に変更しました。	2023/4/7	
1852	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.20~22	図3-3~8について岩相図から岩級図に修正し、漂流物対策工を追加しました。	2023/4/7	
1853	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.23~31	図3-9~図3-12について、②-②~⑤-⑤断面の構造図を追加しました。 また、図3-13~図3-16について、②-②断面~⑤-⑤断面の概略配筋図を追加しました。	2023/4/7	
1854	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.32 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元動的有限要素法 (新)2次元有限要素法	2023/4/7	
1855	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.32	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ケーソンが複数の隔壁を有しており (新)ケーソンが隔壁を有しており	2023/4/7	
1856	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.33	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)全ての (新)すべての	2023/4/7	
1857	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.33	表4-2の地震動の位相について、「()」を追加しました。	2023/4/7	
1858	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.34	⑦-⑦断面の入力地震動について、地震応答計算書への記載に伴い、削除しました。	2023/4/7	
1859	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.34	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」で設定したもの (新)VI-2-10-2-2「防波壁(波返重力擁壁)の地震応答計算書」で設定したもの (旧)②-②断面、③-③断面、④-④断面及び⑤-⑤断面 (新)②-②断面、③-③断面、④-④断面、⑤-⑤断面及び⑦-⑦断面	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1860	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.35	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地盤のうち改良地盤⑥及びMMRの残留強度及び引張強度を・・・ (新)地盤のうち改良地盤⑥及びMMRの残留強度、せん断強度及び引張強度を・・・	2023/4/7	
1861	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.37	表4-5について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) τ_{ca} (新) τ_{a1}	2023/4/7	
1862	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.37	表4-5について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) τ_{sa} (新) τ_{Ha}	2023/4/7	
1863	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.38 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 準拠 (新) 準用 (旧) 止水目地 (新) 止水目地(シートジョイント)	2023/4/7	
1864	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.38 他	止水目地(シートジョイント)の許容限界について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 1960 (新) 1936	2023/4/7	
1865	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.39	基礎地盤の許容限界について、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき設定することから、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1866	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.40	すべり安全率の算定に用いる解析コード「CPOSTSK」について追記しました。	2023/4/7	
1867	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.40,41	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 除した値を時々刻々求め、最小すべり安全率を (新) 除した値を求め、最小すべり安全率を	2023/4/7	
1868	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.41	「(5) 止水目地」について、防波壁の計算書図書間の記載の統一のため、記載の適正化をしました。	2023/4/7	
1869	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.44	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 4.2.3 解析モデル (新) 4.2.3 解析モデル及び諸元	2023/4/7	
1870	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.44,45	重力擁壁及び中詰材をモデル化することを明確化し、図4-3及び図4-4に中詰材を反映しました。	2023/4/7	
1871	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.46 他	放水路ケーソンについて、評価方法見直しに伴い、3次元線形構造解析と3次元非線形構造解析に分けて記載しました。	2023/4/7	
1872	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.46	地盤ばねの設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 3次元構造解析モデルのうち、構造物とMMRの境界には地盤ばねを設置する。 (新) 3次元構造解析モデルのうち、ケーソン及び放水路ケーソンの底面には、地盤抵抗を表現するため、「道路橋示方書(Ⅰ共通編・Ⅳ下部構造編)・同解説(社)日本道路協会、平成14年3月」に基づき地盤ばねを設置する。	2023/4/7	
1873	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.47	地盤ばねの設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) ケーソンの使用材料を・・・ (新) ケーソン及び放水路ケーソンの使用材料を・・・	2023/4/7	
1874	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.49,52	許容限界及び評価方法について、防波壁の計算書図書間の記載の統一のため、記載の適正化をしました。	2023/4/7	
1875	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.51	放水路ケーソンの許容限界について、適正化しました。	2023/4/7	
1876	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.54他	発生断面力について、記載を修正しました。また、発生断面力については、絶対値へ記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1877	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.59他	評価結果について、防波壁の計算書図書間の記載の統一のため、記載の適正化をしました。	2023/4/7	
1878	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.70~73	放水路ケーソンの評価結果について、評価方針変更に伴い、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1879	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.78	止水目地の評価結果について、防波壁の計算書図書間の記載の統一のため、記載の適正化をしました。	2023/4/7	
1880	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.79, 80	基礎地盤の評価結果について、記号を適正化しました。	2023/4/7	
1881	NS2-添2-011-05改01	VI-2-10-2-3-1 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書	P.85~107	「6. 漂流物対策工」について追加しました。	2023/4/7	
1882	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	目次P.28,31	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)グラウンドアンカ (新)グラウンドアンカ	2023/4/7	
1883	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.2	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)範囲 (新)位置図	2023/4/7	
1884	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.3~8,16	図2-2及び図2-3の図番号統一に伴い、図番号及び本文の記載を適正化しました。	2023/4/7	
1885	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)入力津波高さ(EL 12.6m) (新)入力津波高さ(EL 11.9m)	2023/4/7	
1886	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.3,32	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁 (新)防波壁(逆T擁壁)	2023/4/7	
1887	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.3	2.2構造概要について、支持性能、漂流物対策工及び止水目地の記載を追記し、他防波壁と記載内容を合せました。	2023/4/7	
1888	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.4	図2-2について、副題を追記し、漂流物対策工、止水目地を追記しました。	2023/4/7	
1889	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.5,6	図2-3について、図タイトルを適正化しました。	2023/4/7	
1890	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.5	図2-3(2)について、漂流物対策工及び海・陸方向を追記しました。	2023/4/7	
1891	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.7	図2-4について、鋼管杭の表記を削除し、図タイトルを適正化しました。	2023/4/7	
1892	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.8	図2-5について、止水目地の概念図と配置位置図を一体化、直交方向の定義を追記しました。	2023/4/7	
1893	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.8	図2-5について、荷揚場等の幅及び凡例のグラウンドアンカを削除しました。	2023/4/7	
1894	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.8	図2-5について、RC床版と凡例の鋼管杭に注記を追記しました。	2023/4/7	
1895	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.8,19	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)目地	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1896	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.9	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)照査項目(発生応力、すべり安全率) (新)照査項目(発生応力度、すべり安全率) (旧)許容限界を下回る (新)許容限界以下である	2023/4/7	
1897	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.10	表2-1について、逆T擁壁の役割を適正化しました。(下線部参照) (旧)・止水目地を支持する (新)・止水目地及び漂流物対策工を支持する	2023/4/7	
1898	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.10,15,29	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)変形 (新)変位	2023/4/7	
1899	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.10,12,14	表2-1、表2-2、表2-3について、施設の部位に、漂流物対策工(鉄筋コンクリート版及び漂流物対策工(鋼材)]を追記しました。	2023/4/7	
1900	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.10, 13	表2-1及び表2-2について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤 (新)改良地盤①～③	2023/4/7	
1901	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.10	表2-1について、埋戻土、施設護岸、基礎捨石、被覆石及び捨石の地震時の役割を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)(解析モデルに取り込み、防波壁への相互作用を考慮する) (新)(解析モデルに反映し、防波壁(逆T擁壁)への相互作用を考慮する)	2023/4/7	
1902	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.10	表2-1の埋戻土の津波時の役割を適正化しました。(下線部参照) (旧)・防波壁 (新)・防波壁(逆T擁壁)	2023/4/7	
1903	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.12	表2-2について、止水目地の耐津波性を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁から (新)逆T擁壁間から	2023/4/7	
1904	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.12,14	グラウンドアンカの記載を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)設計アンカー力 (新)許容アンカー力	2023/4/7	
1905	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.14	表2-3について、逆T擁壁の構造強度の記載を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)せん断力及びアンカーによる支圧力が許容限界以下 (新)せん断力、アンカーによる支圧力及び隣接する躯体同士の支圧力が許容限界以下	2023/4/7	
1906	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.14	表2-3について、逆T擁壁の止水性の記載を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ、軸力及びせん断力及びアンカーによる支圧力が許容限界以下 (新)曲げ応力、せん断応力及びグラウンドアンカによる支圧力が許容限界以下	2023/4/7	
1907	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.14,15,30,31,43,47～51	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力 (新)極限支持力度	2023/4/7	
1908	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.16	図2-6Iについて、許容限界の設定の配置を適正化しました。	2023/4/7	
1909	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.17 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1910	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.18	評価対象断面に、④-④断面のを追記し、選定理由を追記しました。	2023/4/7	
1911	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.18	①-①断面及び⑤-⑤断面の断面選定理由について、地震応答計算書及び強度計算書と記載内容を合せました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1912	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.19	図3-1について、④-④断面を評価対象断面に選定しました。	2023/4/7	
1913	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.19	図3-1について、グラウンドアンカの詳細図、凡例のグラウンドアンカ及び荷揚場等の幅を削除しました。	2023/4/7	
1914	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.19	図3-1について、屋外排水路逆止弁⑨を追記し、RC床版及び凡例の鋼管杭の注記を追記しました。	2023/4/7	
1915	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.19	図3-1について、地盤改良①～③の凡例色を適正化しました。	2023/4/7	
1916	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.19	図3-2のについて、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)EL±15.0m (新)EL 15.0m	2023/4/7	
1917	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.19	図3-2について、縦断延長を追記しました。	2023/4/7	
1918	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.19	図3-2について、凡例を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤 (新)改良地盤①～③	2023/4/7	
1919	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.20～23	図3-2～8について、地質図を岩級図に適正化しました。	2023/4/7	
1920	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.21～23	図3-3～8について、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
1921	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.21～23	図3-2～8について、漂流物対策工を追記しました。	2023/4/7	
1922	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.21～23	図3-2～8について、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)EL 0.58m (新)海水位	2023/4/7	
1923	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.24	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)全ての (新)すべての	2023/4/7	
1924	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.24,25	解析ケースとして、施設護岸等の損傷を考慮した解析ケース④を実施する旨を追加し、記載の適正化をしました。	2023/4/7	
1925	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.25	表3-2について、地震動の位相を下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)++ (新)++	2023/4/7	
1926	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.26	3.4入力地震動について、⑦-⑦断面の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトルを地震応答計算書に記載したため削除しました。	2023/4/7	
1927	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.26	3.5.1解析モデルについて、④-④断面及び⑦-⑦断面の記載を追記しました。	2023/4/7	
1928	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.26	3.5.1解析モデルについて、⑦-⑦断面の地震応答解析モデルを地震応答計算書に記載したため削除しました。	2023/4/7	
1929	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.26	3.5.2使用材料及び材料の物性値を追記しました。併せて、3.5.3以降の章番号を変更しました。	2023/4/7	
1930	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.26	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤①・② (新)改良地盤①、②	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1931	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.28	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)に基づき、短期許容応力度とする。 (新)に基づき、表3-4のとおり設定する。	2023/4/7	
1932	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.28	表3-4について、コンクリートの許容曲げ圧縮応力度を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)9 (新)9.0	2023/4/7	
1933	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.28	表3-5について、④-④断面を追記し、テンドンの許容引張力と許容引抜き力を削除しました。併せて、本文の記載を適正化しました。	2023/4/7	
1934	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.29	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表3-6に示す す 安全率を設定する。 (新)表3-6のとおり設定する。	2023/4/7	
1935	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.29	止水目地について、評価対象断面を⑤-⑤断面に適正化し、⑦-⑦断面の記載を削除しました。	2023/4/7	
1936	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.29	表3-7について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)止水目地(ゴムジョイント) (旧)変形量の許容限界 (新)許容限界 (旧)1960 (新)449	2023/4/7	
1937	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.30,33	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ軸力照査 (新)曲げ照査	2023/4/7	
1938	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.30,37	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)せん断力照査 (新)せん断照査	2023/4/7	
1939	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.30	3.8.1逆T擁壁の評価について、評価内容を適正化しました。	2023/4/7	
1940	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.30	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)支圧応力 (新)支圧応力度	2023/4/7	
1941	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.30	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)除した値を時々刻々求め、・・・ (新)除した値を求め、・・・	2023/4/7	
1942	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.30	3.8.3改良地盤について、他防波壁の耐震計算書と記載内容を合わせるため、強度特性のばらつきの記事を削除しました。	2023/4/7	
1943	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.31,45	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)止水目地(ゴムジョイント)	2023/4/7	
1944	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.31	止水目地について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)法線直角方向 (新)法線直交方向 (旧)地震荷重による (新)防波壁(逆T擁壁)の地震荷重による	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1945	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.31	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)変位 (新)変位量	2023/4/7	
1946	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.31	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)相対変位 (新)最大相対変位	2023/4/7	
1947	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.31	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)最大変位 (新)最大相対変位量	2023/4/7	
1948	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.31	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)最大変位 (新)最大変位量	2023/4/7	
1949	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.33 他	4.耐震評価結果について、④-④断面の結果を追記しました。 併せて、図番号を適正化しました。	2023/4/7	
1950	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.33	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ・軸力系の破壊 (新)逆T擁壁の曲げ・軸力系の破壊	2023/4/7	
1951	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.33	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生応力 (新)発生応力度	2023/4/7	
1952	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.34,35,37,38	図4-1及び図4-3、図4-4、図4-6について、断面力図を適正化しました。	2023/4/7	
1953	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.34,35	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ・軸力系に対する (新)曲げ・軸力系の破壊に対する	2023/4/7	
1954	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.34,36,47,50	図4-1、図4-12、表4-1及び表4-19について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)S _s -N2 EW方向(-+) (新)S _s -N2(EW) _L (-+)	2023/4/7	
1955	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.36,39	表4-1、表4-3、表4-4及び表4-6について、地震動、解析ケース、断面力、応力度及び照査値を適正化しました。	2023/4/7	
1956	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.39	照査結果について、記載する発生断面力値を絶対値に適正化しました。	2023/4/7	
1957	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.36,39,40,41,46,47,	照査結果について、照査値の有効桁を適正化しました。	2023/4/7	
1958	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.36	表4-1及び表4-3について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げモーメント (新)曲げモーメントM (旧)軸力 (新)軸力N (旧)曲げ圧縮応力度 (新)曲げ引張応力度	2023/4/7	
1959	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.37	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)せん断破壊に対する (新)逆T擁壁のせん断破壊に対する	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1960	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.39	表4-4及び表4-6について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)せん断力 (新)せん断力 Q	2023/4/7	
1961	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.40	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)支圧が許容限界以下 (新)支圧応力度が許容限界以下	2023/4/7	
1962	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.41	表4-10及び表4-12について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)テンドンの許容拘束力 T_{ab} (新)許容アンカー力 T_a (旧)照査値 T/T_{ab} (新)照査値 T/T_a	2023/4/7	
1963	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.41	表4-12について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁の発生アンカー力 (新)グラウンドアンカーの発生アンカー力	2023/4/7	
1964	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.42	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)これらの結果から、・・・ (新)この結果から、・・・	2023/4/7	
1965	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.42	表4-13について、解析ケースと最小すべり安全率を以下のとおり適正化しました。 (旧)① (新)② (旧)3.43 (新)3.42	2023/4/7	
1966	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.42	表4-15について、解析ケースを以下のとおり適正化しました。 (旧)① (新)②	2023/4/7	
1967	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.43	図4-7及び図4-9について、図タイトルを以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・における局所安全係数分布 (新)・・・におけるすべり線及び局所安全係数分布	2023/4/7	
1968	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.43	図4-7及び図4-9について、すべり線及び局所安全係数分布図を適正化しました。	2023/4/7	
1969	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.43	図4-7及び図4-9について、図タイトルを以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)における局所安全係数分布 (新)におけるすべり線及び局所安全係数分布	2023/4/7	
1970	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.44	図4-7及び図4-9について、解析ケースを以下のとおり適正化しました。 (旧)① (新)②	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1971	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.45	表4-16について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)横断方向 (新)法線直交方向 (旧)縦断方向 (新)法線方向 (旧)横断方向 (新)深度方向 (旧)S _s -D (十-) (新)S _s -D (二-) (旧)③ (新)① (旧)1960 (新)449	2023/4/7	
1972	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.45	表4-16について、 δz の対象断面を⑦-⑦断面に適正化し、 δx の解析ケースを①に適正化しました。	2023/4/7	
1973	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.45	表4-16について、地震時変位量の有効桁を適正化しました。	2023/4/7	
1974	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.46	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)支持地盤の接地圧分布 (新)基礎地盤の接地圧分布	2023/4/7	
1975	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.46	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)最大接地圧が極限支持力以下 (新)最大接地圧が許容限界以下	2023/4/7	
1976	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.46	表4-17(2)について、解析ケースを以下のとおり適正化しました。 (旧)③ (新)①	2023/4/7	
1977	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.47	表4-19(2)について、解析ケースを適正化しました。	2023/4/7	
1978	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.50	逆T擁壁底版の傾斜の記載を削除しました。	2023/4/7	
1979	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.51	4.6施設護岸等の損傷による不確かさの影響確認を追記しました。	2023/4/7	
1980	NS2-添2-011-06改01	VI-2-10-2-3-2 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書	P.54	5.漂流物対策工を追記しました。	2023/4/7	
1981	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.1 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって	2023/4/7	
1982	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.3	図2-1について、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
1983	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.6 他	防波扉の名称について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)防波扉 (新)防波扉(1号機北側)及び防波扉(2号機北側)	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1984	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.7 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
1985	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.7 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力評価の確認結果を「5. 評価結果」にて示す。 (新)応力評価の確認結果を「6. 評価結果」にて示す。	2023/4/7	
1986	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.8 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1987	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.9 他	表2-3について、表タイトルの記載を適正化し、不要な記号を削除しました。	2023/4/7	
1988	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.9 他	震度の単位について、記載を適正化しました。 (旧)G (新)-	2023/4/7	
1989	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.9 他	耐震評価に用いる記号について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)- (新)1本あたりに (旧)KN/本 (新)KN	2023/4/7	
1990	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.14	図4-1について、図中の凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
1991	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.15 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「4.4 設計用地震力」で設定した設計震度を用いて次式により算出する。 (新)「4.4 設計用地震力」で設定する設計震度を用いて次式により算出する。	2023/4/7	
1992	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.15 他	数式で使用する記号の説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
1993	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.16 他	アンカーボルトの使用材料について、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)SS400 (新)アルミキルド鋼	2023/4/7	
1994	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.16	表4-3の表タイトルについて、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表4-3 鋼材の許容応力度 (新)表4-3 鋼材の許容限界	2023/4/7	
1995	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.17	文書中の誤記について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)「3.1 評価対象部位」に記載した (新)「4.1 評価対象部位」に記載した	2023/4/7	
1996	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.18	表4-5について、表の構成を変更しました。	2023/4/7	
1997	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.19 他	鉛直震度及び水平震度について、単位の記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1998	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.24 他	アンカーボルトに生じる荷重の算定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカーボルトに生じる応力は、ヒンジ側で荷重を負担する (新)アンカーボルトに生じる荷重は、ヒンジ側のアンカーボルトで負担する (旧)せん断又は引張り (新)せん断又は引張	2023/4/7	
1999	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.25 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)許容限界を下回ることを確認する。 (新)許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2000	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.25 他	ヒンジ板、ヒンジピン及びヒンジボルトの断面検定について、記載を拡充しました。	2023/4/7	
2001	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.26 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)組合せ曲げ応力度 (新)組合せ応力度	2023/4/7	
2002	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.31	表6-1について、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2003	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)の耐震性についての計算書)	P.31	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生応力度又は荷重が許容限界以下を下回る。 (新)発生応力度又は荷重が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
2004	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.1 他	図書中の記載について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって	2023/4/7	
2005	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.3	防波扉の天端高さの説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2006	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.3,4	図2-2について、平面図を追加しました。	2023/4/7	
2007	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.5 他	防波扉(荷揚場南)の図面について、図を追加し、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2008	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.15	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表2-3に示すとおり (新)表2-3防波扉の評価項目に示すとおり	2023/4/7	
2009	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.15 他	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
2010	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.16~18	表2-1~表2-3について、漂流物対策工を防波扉(荷揚場南)の評価対象部位とし、表の構成を変更し、表タイトル及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2011	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.18 他	MMRの評価項目として、支圧強度を追記しました。	2023/4/7	
2012	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.20 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2013	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.24~27	表4-1について、表番号の記載を適正化し、「防波扉(鋼管杭)」の部材を追加しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2014	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.28~32	表4-2について、部材の名称を統一し、「支承部(浮上防止金物)」の部材を追加し、表番号及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2015	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.28 他	漂流物対策工の部材名について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2016	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.33	評価対象断面についての記載を拡充しました。	2023/4/7	
2017	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.35	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.3.2 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)4.3.2 地盤物性のばらつき	2023/4/7	
2018	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.37 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)全ての (新)すべての	2023/4/7	
2019	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.38	「4.4.2 荷重」について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2020	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.39	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時(Ss) (新)地震時	2023/4/7	
2021	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.40	図書号及び表番号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2022	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.41 他	図4-4~図4-15について、図中の記載及び地震応答のケースの名称について適正化しました。	2023/4/7	
2023	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.53	地震応答解析モデルの解析領域及びジョイント要素の設定について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2024	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.53	地下水位の設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地下水水位、設計用地下水水位 (新)設計地下水水位	2023/4/7	
2025	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.55 他	防波扉基礎スラブと、漂流物対策工基礎スラブを区別するため、名称を適正化しました。	2023/4/7	
2026	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.55 他	単位体積重量の単位について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)kN/m ² (新)kN/m ³	2023/4/7	
2027	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.58	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表4-10Iに示すとおりとする。 (新)表4-10Iに示すとおり設定する。	2023/4/7	
2028	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.59 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)Fc24 (新)f _{ck} =24N/mm ²	2023/4/7	
2029	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.60 他	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
2030	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.62	表4-15について、部材を追加し、部材の名称を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2031	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.63	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ダム・堰施設技術基準(案)の解説に示すとおり (新)「ダム・堰施設技術基準(案)」に基づき	2023/4/7	
2032	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.64 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)F _c 40 (新)f' _{ck} =40N/mm ²	2023/4/7	
2033	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.66	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)設定した許容限界以下となることを確認する (新)設定した許容限界以下であることを確認する	2023/4/7	
2034	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.77 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ軸力照査, せん断力照査 (新)曲げ照査, せん断照査	2023/4/7	
2035	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.77 他	防波壁(鋼管杭)の記号について, 記載を適正化しました。	2023/4/7	
2036	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.78	改良地盤の評価について, 浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため, 記載を適正化しました。	2023/4/7	
2037	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.78	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)杭先端 (新)杭下端	2023/4/7	
2038	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.89 他	評価部材に「支承部(浮上防止金物)」を追加しました。	2023/4/7	
2039	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.102	表6-1について, 表の構成を変更し, 記載を適正化しました。	2023/4/7	
2040	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.103 他	照査値について, 浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため, 記載を適正化しました。	2023/4/7	
2041	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.105 他	曲げ照査及びせん断照査について, 浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため, 記載を適正化しました。	2023/4/7	
2042	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.107 他	照査結果の表について, 照査値を絶対値表記とし, 記載を適正化しました。	2023/4/7	
2043	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.110 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生する曲げモーメント (新)発生する断面力	2023/4/7	
2044	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.110	図6-3及び図6-4について, 断面力図を適正化しました。	2023/4/7	
2045	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.114	表6-9について, 表の構成を変更し, 記載を適正化しました。	2023/4/7	
2046	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.117 他	断面力図のキープランについて, 標高を追記しました。	2023/4/7	
2047	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書)	P.127	図6-10(1)について, 以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力度 18.0N/mm ² (新)支圧強度 18.0N/mm ²	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2048	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.1 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって	2023/4/7	
2049	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.3	防波扉の天端高さの説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2050	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.3,4	図2-2について、平面図を追加しました。	2023/4/7	
2051	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.5 他	防波扉(3号機東)の図面について、図を追加し、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2052	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.16 他	図書中の記載について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
2053	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.17~19	表2-1~表2-3について、漂流物対策工を防波扉(3号機東側)の評価対象部位とし、表の構成を変更し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2054	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.17~19	MMRの評価項目として、支圧強度を追記しました。	2023/4/7	
2055	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.21 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2056	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.25~28	表4-1について、表番号と表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2057	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.29~33	表4-2について、部材の名称を統一化し、評価部材に「支承部(浮上防止金物)」を追加し、表番号及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2058	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.30 他	漂流物対策工の部材名について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2059	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.35	図4-2の凡例について、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2060	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.36	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.3.2 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)4.3.2 地盤物性のばらつき	2023/4/7	
2061	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.37 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)全ての (新)すべての	2023/4/7	
2062	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.39	「4.4.2 荷重」について、浸水防護施設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2063	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.39 他	「G _a :グラウンドアンカの初期緊張力」について、「G:固定荷重」に含むこととして、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2064	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.40	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時(S _s) (新)地震時	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2065	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.42~53	図4-4~図4-15 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトルについて、図中の記載及び地震応答のケースの名称を適正化しました。	2023/4/7	
2066	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.54	「(1) 解析領域」及び「(5) ジョイント要素の設定」について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2067	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.55	図4-18の図タイトルについて、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)解析モデル(評価対象断面) (新)地震応答解析モデル(評価対象断面)	2023/4/7	
2068	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.56 他	防波扉基礎スラブと漂流物対策工基礎スラブを区別するため、名称を適正化しました。	2023/4/7	
2069	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.56 他	単位体積重量の単位について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)kN/m ² (新)kN/m ³	2023/4/7	
2070	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.57	表4-7(3)及び図4-17について、グラウンドアンカの物性値に「設計アンカー力」及び「初期変位量」を追記しました。	2023/4/7	
2071	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.58	表4-8について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤①・② (新)改良地盤①、②	2023/4/7	
2072	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.58	地下水位の設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地地下水位、設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
2073	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.60,61	表4-10について、表タイトル及び表中の記号の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2074	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.60	防波扉の部材の名称について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)戸当り部コンクリート (新)戸当りコンクリート	2023/4/7	
2075	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.60 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)F _c 24 (新)f' _{ck} =24N/mm ²	2023/4/7	
2076	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.62 他	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
2077	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.62 他	グラウンドアンカの許容限界について、「許容アンカー力T _a 」と定義し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2078	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.64 他	表4-15について、「支承部(浮上防止金物)」「支承部(浮上防止金物固定ボルト)」を追加し、表タイトルの記載を適正化しました。	2023/4/7	
2079	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.65 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)F _c 40 (新)f' _{ck} =40N/mm ²	2023/4/7	
2080	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.67 他	表4-17について、基礎地盤の評価項目にMMRを追加しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2081	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.68 他	表4-18について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)主横桁 (新)主桁	2023/4/7	
2082	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.69 他	表4-19について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)D:側面水密幅(mm) (新)D:側部水密幅(mm)	2023/4/7	
2083	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.70	図4-20について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)Z:補助縦桁の断面係数(mm ²) (新)Z:補助縦桁の断面係数(mm ³)	2023/4/7	
2084	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.71	図4-21について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)A _q :補剛材の有効断面積(mm ²) (新)A _q :補剛材の有効断面積(mm ²)	2023/4/7	
2085	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.74,75	図4-24について、記号の説明において単位を追記し、「走行車輪」として名称を統一化のため記載を適正化しました。	2023/4/7	
2086	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.81他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ軸力照査 (新)曲げ・軸力系の破壊に対する照査 (旧)せん断力破壊に対する照査 (新)せん断破壊に対する照査	2023/4/7	
2087	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.81 他	「(4) 改良地盤」について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を変更しました。	2023/4/7	
2088	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.88 他	支承部の部材名称について、統一のため記載を適正化しました。	2023/4/7	
2089	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.93 他	支承部アンカーの部材名称について、統一のため記載を適正化しました。	2023/4/7	
2090	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.95	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)下部支承部は、支承軸に作用する荷重は (新)下部支承部は図に示す構造であることから	2023/4/7	
2091	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.95~97	図4-38~図4-40について、記号の説明において単位を追記しました。	2023/4/7	
2092	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.99~101	表5-1について、表タイトル及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2093	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.102~104	表5-2について、評価部材に「支承部(浮上防止金物)」「支承部(浮上防止金物固定ボルト)」を追加し、表タイトル及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2094	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.105	表6-1について、表の構成を変更し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2095	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.106	表6-2について、単位表記、部材名称の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2096	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.106 他	照査値について、有効桁数を他図書と統一するため、記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2097	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.107 他	曲げ照査において、圧縮形の評価においてはコンクリート、引張系の評価については鉄筋を対象として記載するものとして記載を適正化しました。	2023/4/7	
2098	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.107 他	断面力図のキープランについて、標高を追記しました。	2023/4/7	
2099	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.108 他	せん断照査において、コンクリートを対象として記載するものとして記載を適正化しました。	2023/4/7	
2100	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.109 他	照査結果の表は絶対値表記とし、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2101	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.117 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)グラウンドアンカによる支圧が許容限界以下であること (新)グラウンドアンカによる支圧応力度が許容限界以下であること	2023/4/7	
2102	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.122,123	表6-12について、表タイトル及び表中の記載について適正化しました。	2023/4/7	
2103	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.133	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎地盤に生じる最大接地圧が極限支持力度を下回ることを確認した。 (新)基礎地盤に生じる最大接地圧が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
2104	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.133	表6-17(1)について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) $S_s - F_2$ (新) $S_s - F_2(十)$ (旧) 極限支持力度 (新) 支圧強度	2023/4/7	
2105	NS2-添2-011-08改01	VI-2-10-2-4 防波壁通路防波扉の耐震性についての計算書(3.防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書)	P.134	図6-11について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) $S_s - F_2$ (新) $S_s - F_2(十)$	2023/4/7	
2106	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.1	注記について、各クラスの定義及び引用元の図書がわかる記載に適正化しました。	2023/4/7	
2107	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.4	図2-1(3)より除じん機ポンプを削除し、適正化しました。	2023/4/7	
2108	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.139	鋼板のせん断応力度の評価を省略することを追記しました。	2023/4/7	
2109	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.156	表8-3の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) また、固有周期の欄を削除しました。 (旧) 固有周期 (新) 固有振動数	2023/4/7	
2110	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.163	(2)許容限界の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 鋼材の許容応力度は・・・ (新) 鋼材の許容限界は・・・	2023/4/7	
2111	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.163	表8-8の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 鋼材の短期許容応力度 (新) 鋼材の許容限界	2023/4/7	
2112	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.164	b.アンカーボルトの以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) アンカーボルト(標準部)の許容荷重は・・・ (新) アンカーボルト(標準部)の許容限界は・・・	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2113	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.164	表8-9の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカーボルト(標準部)の短期許容応力 (新)アンカーボルト(標準部)の許容限界	2023/4/7	
2114	NS2-添2-011-12改02	VI-2-10-2-8 防水壁の耐震性についての計算書	P.165,166,169,171,172	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)次式により算出し、鋼板の短期許容応力度以下であることを確認する。 (新)次式により算出する。	2023/4/7	
2115	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.1	注記について、各クラスの定義及び引用元の図書がわかる記載に適正化しました。	2023/4/7	
2116	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.3	表2-1(2)の水密扉No.44の設置高さの以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)11.26m (新)11.261m	2023/4/7	
2117	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.16,17	図2-7、図2-8より除じん機ポンプを削除し、適正化しました。	2023/4/7	
2118	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.29	適用規格・基準等の(4)~(7)を「日本産業規格(JIS)」に統合し、番号を適正化しました。	2023/4/7	
2119	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.36~38	表2-11の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)耐震評価に用いる記号 (新)水密扉の耐震評価に用いる記号	2023/4/7	
2120	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.62	最大応答加速度(1.0ZPA)を考慮していることが分かるよう記載を適正化しました。	2023/4/7	
2121	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.66	表4.1-1の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)水密扉リスト(タイプI) (新)タイプI水密扉リスト	2023/4/7	
2122	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.76,77,119,120	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって	2023/4/7	
2123	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.133	表4.4-5において、許容耐力の採用値のみの記載に適正化しました。	2023/4/7	
2124	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.144	図4.4-8の不要な線を消去し適正化しました。	2023/4/7	
2125	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.145,155	アンカーボルトの記号の単位の記載を適正化しました。(下線部参照) ・偏心距離 (旧)mm (新)m ・2次モーメントの合計値 (旧)mm ² (新)m ²	2023/4/7	
2126	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.155	表4.4-6(3)の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) また、締付ボルト、固定プレートの数値を適正化しました。 ・M ₀ 単位 (旧)kN・m (新)kN・mm	2023/4/7	
2127	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.168,178	w:風圧力の単位の記載を適正化しました。 (旧)kN/mm ² (新)kN/m ²	2023/4/7	
2128	NS2-添2-011-13改03	VI-2-10-2-9 水密扉の耐震性についての計算書	P.183	表5-4(2)の数値を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2129	NS2-添2-021-01改02	VI-2-別添6-1 漂流防止装置の耐震計算の方針	P.1他	<p>表2-3について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)漂流防止装置への基準地震動Ssによる・・・</p> <p>(新)なお、漂流防止装置への基準地震動Ssによる・・・</p> <p>(旧)基礎(荷揚護岸)</p> <p>(新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)</p> <p>(旧)基礎(多重鋼管杭)</p> <p>(新)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)</p> <p>(旧)基礎(荷揚護岸, 多重鋼管杭)</p> <p>(新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸, 多重鋼管杭)</p>	2023/4/7	
2130	NS2-添2-021-01改02	VI-2-別添6-1 漂流防止装置の耐震計算の方針	P.2	<p>以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)応力又は荷重</p> <p>(新)応力又は断面力</p> <p>(旧)漂流防止装置及び基礎は</p> <p>(新)漂流防止装置は</p> <p>(旧)許容限界内にあることを・・・</p> <p>(新)許容限界以下であることを・・・</p> <p>(旧)漂流防止装置を構成する漂流防止装置(係船柱)及び基礎(荷揚護岸, 多重鋼管杭)を対象とする。漂流防止装置の構造を表2-1に示す。</p> <p>(新)漂流防止装置を構成する漂流防止装置(係船柱)及び漂流防止装置基礎(荷揚護岸, 多重鋼管杭)を対象とする。漂流防止装置(係船柱)及び漂流防止装置基礎(荷揚護岸, 多重鋼管杭)の構造概要を表2-1に示す。</p>	2023/4/7	
2131	NS2-添2-021-01改02	VI-2-別添6-1 漂流防止装置の耐震計算の方針	P.3~5	<p>表2-1(1)について、施設名称を本文中の記載と合わせると共に、主体構造としてアンカー板を追記しました。</p> <p>表2-1(2)について、主体構造の記載を概略構造図と合わせました。また、概略構造図について標高を追記しました。</p> <p>表2-1(3)について、主体構造の記載及び概略構造図を修正しました。</p>	2023/4/7	
2132	NS2-添2-021-01改02	VI-2-別添6-1 漂流防止装置の耐震計算の方針	P.6	荷重として、積雪荷重を考慮する旨を追記しました。	2023/4/7	
2133	NS2-添2-021-01改02	VI-2-別添6-1 漂流防止装置の耐震計算の方針	P.7	表3-1について、施設名称等について本文中の記載と統一化しました。また、機能維持のための考え方について、記載内容を拡充し、鋼管杭については、降伏モーメントにより評価する旨を追記しました。	2023/4/7	
2134	NS2-添2-021-01改02	VI-2-別添6-1 漂流防止装置の耐震計算の方針	P.9	<p>以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)2次元FEM解析</p> <p>(新)2次元有限要素法</p> <p>(旧)JEAG4601</p> <p>(新)「<u>原子力発電所耐震設計技術指針</u>」JEAG4601-1987((社)日本電気協会)</p> <p>(旧)時刻歴応答解析法等を用いた解析</p> <p>(新)地震応答解析</p> <p>(旧)変形性能評価を行う。</p> <p>(新)変形性能評価として、残留変形量に対して評価を行う</p> <p>また、係船柱の評価は、港湾技研資料に準拠して行う旨を追記しました。</p>	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2135	NS2-添2-021-01改02	VI-2-別添6-1 漂流防止装置の耐震計算の方針	P.11	適用規格・基準等について、以下を追加しました。 ・港湾技研資料 No.102 けい船柱の標準設計(案)(運輸省港湾技術研究所, 1970年) 以下とおり適正化しました(下線部参照) (旧)港湾の施設の技術上の基準・同解説(日本港湾協会, 平成19年7月) (新)港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局, 2007年版)	2023/4/7	
2136	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.1 他	資料の分かり易さの観点から、章構成及び章名称を変更しました。これに伴い図表番号を変更しました。	2023/4/7	
2137	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.1他	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって (旧)漂流防止装置 (新)漂流防止装置(係船柱) (旧)全て (新)すべて (旧)および (新)及び (旧)係船柱底板下面のコンクリート (新)コンクリート(係船柱底板) (旧)係船柱底板前面のコンクリート (新)コンクリート(係船柱前面) (旧)アンカー板上面のコンクリート (新)コンクリート(アンカー板上面) (旧)アンカー板上面のコンクリート (新)コンクリート(アンカーボルト側面)	2023/4/7	
2138	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.3.4	「2.2 構造概要」について、漂流防止装置(係船柱)を構成する部材が明確となるように記載を拡充しました。また、本文の記載の拡充に伴い、図2-2及び図2-3を修正しました。	2023/4/7	
2139	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.5~7	「2.3 評価方針」について、資料の分かり易さの観点から、各部位の役割、性能目標及び評価項目として表2-1~表2-3をしました。	2023/4/7	
2140	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.9	2.4 適用規格基準等について以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)コンクリート標準示方書[構造性能照査編]((社)土木学会, 2002年) (新)コンクリート標準示方書[構造性能照査編]((社)土木学会, 2002年制定) また、以下の基準等を追記しました。 ・機械工学便覧 改訂第6版((社)日本機械学会編, 1977年)	2023/4/7	
2141	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.10,11	表2-4について、記号、単位及び定義を本文中の記載と統一化するため記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2142	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.12	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) また、漂流防止装置(係船柱)の周囲のコンクリートに対する評価も実施する旨を追記しました。 (旧)漂流防止装置(係船柱)に生じる基準地震動 S_s による慣性力に伴う荷重は、係船柱、アンカーボルト及びアンカー板を介して基礎に伝達される～ (新)漂流防止装置(係船柱)に作用する基準地震動 S_s による荷重は、係船柱、アンカーボルト及びアンカー板を介して周囲のコンクリートに伝達される	2023/4/7	
2143	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.13	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)基準地震動 S_s による地震荷重(kN) (新)地震荷重(kN) (旧)漂流防止装置(係船柱)の固定荷重 (新)固定荷重 (旧)基準地震動 S_s による地震荷重 (新)地震荷重(基準地震動 S_s)	2023/4/7	
2144	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.14,15	「3.3.2 許容限界」について、VI-2-別添6-1「漂流防止装置の耐震計算の方針」に基づき設定する旨を追記しました。 また、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)係船柱の許容応力度は、「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—((社)日本建築学会, 2005年改訂)」及び「JIS G 5101 炭素鋼 casting 鋼品」を踏まえて表3-3の値とする。 (新)係船柱の許容限界は、「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—((社)日本建築学会, 2005年改訂)」及び「JIS G 5101 炭素鋼 casting 鋼品」を踏まえて表3-3のとおり設定する。 (旧)許容応力度 (新)許容限界 (旧)～に示す値とする (新)～とおり設定する (旧)漂流防止装置(係船柱)の基礎の許容応力度 (新)コンクリートの許容限界	2023/4/7	
2145	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.16,17	本文中の記載と図表のタイトルの整合するように記載を適正化しました。また、図3-3の地震応答解析モデルについて、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2146	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.18	係船柱に生じる曲げ応力度の算定に用いる、 P_H 及び D の説明を追記しました。また、資料の分かり易さの観点から図3-4の記載を拡充しました。 また、以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)当該漂流防止装置を構成する係船柱、アンカーボルト及びアンカー板に発生する応力より算定する応力度が、許容限界以下であることを確認する。 (新)漂流防止装置(係船柱)を構成する各部材に生じる応力度が、許容限界以下であることを確認する。 (旧)係船柱に生じる応力は、係船柱を片持ち梁として次式により算出し、係船柱の許容限界以下であることを確認する。なお、保守的に転倒モーメントを算出するため、慣性力の作用点は直胴部の上端とする。 (新)係船柱に生じる曲げ応力度は、係船柱を片持ち梁として次式により算出し、係船柱の許容限界以下であることを確認する。なお、慣性力の作用点は係船柱直胴部の上端とする。 係船柱のモデル図を図3-4に示す。	2023/4/7	
2147	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1.漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.19～25	コンクリート(係船柱底板)の支圧応力度、コンクリート(係船柱前面)の支圧応力度、アンカーボルトの引張応力度、アンカー板の曲げ応力度、コンクリート(アンカー板上面)の支圧応力度及びコンクリート(アンカーボルト側面)のせん断応力度の評価方法について、適用する基準を明確化しました。また、資料の分かり易さの観点から記載内容を修正しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2148	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1. 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.26	表4-1について、記号、単位及び定義を本文中の記載と統一化するため記載を適正化しました。	2023/4/7	
2149	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(1. 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書)	P.27	表5-1について、評価対象部位を本文中の記載と統一しました。また、照査値を少数点第2(少数点第3位繰り上げ)に見直しました。 また、以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)各部材の断面検定を行った結果、発生応力度又は荷重は許容限界以下であることから、漂流防止装置が構造健全性を有することを確認した。 (新)各部材の発生応力度は許容限界以下であることから、漂流防止装置(係船柱)は構造健全性を有することを確認した。 (旧)発生値(応力度) (新)発生応力度	2023/4/7	
2150	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2. 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.1 他	資料の分かり易さの観点から、章構成及び章名称を変更しました。これに伴い図表番号を変更しました。	2023/4/7	
2151	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2. 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.1 他	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)変形性能評価 (新)変形性評価 (旧)当たって (新)あたって (旧)基礎(荷揚護岸) (新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸) (旧)係船柱 (新)漂流防止装置(係船柱) (旧)2次元動的有限要素法 (新)2次元有限要素法 (旧)全て (新)すべて (旧)および (新)及び (旧)設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
2152	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2. 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.3 他	「2.2 構造概要」について、漂流防止装置(荷揚護岸)を構成する部材が明確となるように記載を拡充しました。また、本文の記載の拡充に伴い、図2-2を修正しました。	2023/4/7	
2153	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2. 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.3~5	表2-2として、各部位の性能目標を追記しました。 また、表2-1及び表2-2について、役割及び評価項目が明確となるように記載を拡充しました。 更に図2-3について、変形性評価の対象が明確となるように記載を修正しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2154	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.6	2.4 適用規格基準等について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)港湾の施設の技術上の基準・同解説(日本港湾協会,平成19年7月) (新)港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局,2007年版) また、以下の基準等を追記しました。 ・港湾構造物設計事例集(沿岸技術研究センター,平成19年3月)	2023/4/7	
2155	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.7	図3-2について、岩相図から岩級図に図面を変更しました。	2023/4/7	
2156	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.8	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)構造部材については、線形はり要素及び平面ひずみ要素 (新)構造部材については、線形の平面ひずみ要素 (旧)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)は、平面ひずみ要素として～ (新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)は、線形の平面ひずみ要素として～	2023/4/7	
2157	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.10	表3-2について、地震動の位相を記載方法を適正化しました。	2023/4/7	
2158	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.12	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)地震時荷重 (新)地震荷重(基準地震動Ss)	2023/4/7	
2159	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.13	「3.4 入力地震動」について、入力地震動の設定方針を追記しました。 また、図3-3について、標高の記載位置を適正化しました。	2023/4/7	
2160	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.26	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) また、構造物のモデル化について、漂流防止装置(係船柱)をモデル化しない理由が明確となるように記載を拡充し、ジョイント要素の設定方法について、準拠図書の追記等により記載を拡充しました。 (旧)地震応答解析モデルは、境界条件の・・・ (新)地震応答解析モデルは、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987((社)日本電気協会)」を参考に、境界条件の・・・	2023/4/7	
2161	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.27	図3-16について、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2162	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.27.29	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) また、表3-5について、材料物性値の適用基準を追記しました。 (旧)耐震評価に用いる使用材料を表3-4に、材料の物性値を表3-4及び表3-5に示す。 (新)耐震評価に用いる材料定数は、適用基準類を基に設定する。使用材料を表3-4に、材料の物性値を表3-5に示す。 (旧)パラペット(有筋) (新)上部工(有筋) (旧)上部コンクリート(無筋) (新)上部工(無筋) (旧)セルラーブロック (新)セルラーブロック(コンクリート詰)	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2163	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.30	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)評価対象部位は、構造上の特徴を踏まえ設定する。 (新)評価対象部位は、漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の構造上の特徴を踏まえ設定する。 (旧)基礎地盤の支持性能評価に係る評価対象部位は、多重鋼管杭を支持する多重鋼管杭直下の基礎地盤とする。 (新)基礎地盤の支持性能評価に係る評価対象部位は、漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)を支持する多重基礎地盤(岩盤)とする。	2023/4/7	
2164	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.30	「3.7.1 許容限界」について、設定の根拠となる図書を追記しました。 また、許容残留変形量は0.3~1.0mの範囲で設定することとなり、保守的に0.3mを設定したことから、表3-7について、記載を適正化しました	2023/4/7	
2165	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(2.漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書)	P.31	表4-1について、許容残留変形量を1.0mから0.3mに変更したことに伴い、記載を修正しました また、以下にとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)天端の残留変形量 (新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の残留変形量	2023/4/7	
2166	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.1 他	資料の分かり易さの観点から、章構成及び章名称を変更しました。これに伴い図表番号を変更しました。	2023/4/7	
2167	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.1 他	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)変形性能評価 (新)変形性評価 (旧)当たって (新)あたって (旧)基礎(多重鋼管杭) (新)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭) (旧)係船柱 (新)漂流防止装置(係船柱) (旧)2次元動的有限要素法 (新)2次元有限要素法 (旧)全て (新)すべて (旧)設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
2168	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.1	「1. 概要」について、漂流防止装置(係船柱)と漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の関係性が明確となるように、以下のとおり記載内容を適正化しました(下線部参照)。 (旧)構造強度及び機能維持の設計方針に基づき、漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)が・・・ (旧)構造強度及び機能維持の設計方針に基づき、漂流防止装置(係船柱)を設置する漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)が・・・	2023/4/7	
2169	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.3.4	文章中の記載と図中の記載を統一する観点から、図2-2~4を修正しました。 また、図の修正に伴い「2.2 構造概要」の記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2170	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.5	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震評価としては (新)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震評価は (旧)留まる (新)とどまる	2023/4/7	
2171	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.5~7	表2-2として、各部位の性能目標を追記しました。 また、表2-1及び表2-2について、役割及び評価項目が明確となるように記載を拡充しました。 更に図2-5fについて、「許容限界の設定」を追記する等の修正をしました。	2023/4/7	
2172	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.8	2.4 適用規格基準等について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987(日本電気協会) (新)原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987((社)日本電気協会) また、以下の基準等を追記しました。 ・港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局, 2007年版) ・港湾構造物設計事例集(沿岸技術研究センター, 平成19年3月) ・コンクリート標準示方書[構造性能照査編]((社)土木学会, 2002年制定)	2023/4/7	
2173	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.9,10	「3.1 評価対象断面」について、①-①断面を選定した理由が明確となるように記載を適正化しました。 また、図3-2について、岩相図から岩級図に図面を変更しました。	2023/4/7	
2174	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.11	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)線形はり要素及び平面ひずみ要素 (新)線形はり要素(ビーム要素) (旧)漂流防止装置(荷揚護岸)は線形はり要素として～ (新)漂流防止装置(多重鋼管杭)は線形はり要素(ビーム要素)として～	2023/4/7	
2175	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.13	表3-2について、地震動の位相を記載方法を適正化しました。	2023/4/7	
2176	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.15	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)地震時荷重 (新)地震荷重(基準地震動 S_s)	2023/4/7	
2177	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.16	「3.4 入力地震動」について、入力地震動の設定方針を追記しました。 また、図3-4について、標高の記載位置を適正化しました。	2023/4/7	
2178	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.29	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) また、ジョイント要素の設定方法について、準拠図書の追記等により記載を拡充しました。 (旧)評価対象断面(①-①断面)の地震応答解析モデル (新)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の地震応答解析モデル (旧)地震応答解析モデルは、境界条件の・・・ (新)地震応答解析モデルは、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987((社)日本電気協会)」を参考に、境界条件の・・・	2023/4/7	
2179	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.30	図3-17について、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2180	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.31	表3-4及び表3-5について、資料の分かり易さの観点から記載を修正しました。 表3-4については、設計上腐食代を考慮する旨を追記しました。表3-5については、コンクリート標準示方書[構造性能照査編]((社)土木学会, 2002年制定)に基づき鋼管杭の物性値を設定する旨を追記しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2181	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.32	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)評価対象部位は、構造上の特徴を踏まえ設定する。 (新)評価対象部位は、 <u>漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)</u> の構造上の特徴を踏まえ設定する。 (旧)基礎地盤の支持性能評価に係る評価対象部位は、多重鋼管杭を支持する多重鋼管杭直下の基礎地盤とする。 (新)基礎地盤の支持性能評価に係る評価対象部位は、 <u>漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)</u> を支持する多重基礎地盤(岩盤)とする。	2023/4/7	
2182	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.33	「3.7.1 許容限界」について、降伏モーメントの算出方法が明確となるように記載を拡充しました。	2023/4/7	
2183	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.34	「3.7.2 基礎地盤」について、支持力試験により許容限界を設定する旨を追記するとともに、接地圧を評価する旨を追記しました。	2023/4/7	
2184	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.35	「3.8 評価方法」について、評価対象である、鋼管杭及び基礎地盤について、具体的な評価方法が明確となるように記載を拡充しました。	2023/4/7	
2185	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.36	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ・軸力系の破壊に対する照査値 (新)曲げ・軸力系の破壊に対する照査結果 (旧)鋼管杭の発生応力 (新)鋼管杭の発生断面力 (旧)図4-1 多重鋼管杭の曲げ・軸力系に対する・・・ (新)図4-1 鋼管杭の曲げ・軸力系の <u>破壊</u> に対する・・・ (旧)降伏曲げモーメント (新)降伏モーメント (旧)多重鋼管杭 (新)鋼管杭	2023/4/7	
2186	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.37	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)せん断破壊に対する照査値 (新)せん断破壊に対する照査結果 (旧)鋼管杭の発生応力 (新)鋼管杭の発生応力度 (旧)多重鋼管杭 (新)鋼管杭	2023/4/7	
2187	NS2-添2-021-02改01	VI-2-別添6-2 漂流防止装置の耐震性についての計算書(3.漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書)	P.38	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)この結果から、 <u>多重鋼管杭直下の基礎地盤</u> に生じる軸力が、極限支持力以下であることを確認した。 (新)この結果から、漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の杭下端部に生じる軸応力度が、極限支持力以下であることを確認した。 (旧) τ_s (新) τ (旧) τ_{sa} (新) τ_a	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2188	NS2-添2-021-03改01	VI-2-別添6-3 漂流防止装置の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価	P.7,9	表2-3について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) また、表2-3について、他の計算と統一化する観点から、照査値を少数点以下2桁までとするとともに、評価対象部位の名称を修正しました。 (旧)発生値(応力度) (新)発生応力度 (旧)注記 (新)注記*	2023/4/7	
2189	NS2-添2-021-03改01	VI-2-別添6-3 漂流防止装置の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価	P.3 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎(多重鋼管杭) (新)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭) (旧)係船柱 (新)漂流防止装置(係船柱)	2023/4/7	
2190	NS2-添2-021-03改01	VI-2-別添6-3 漂流防止装置の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価	P.9	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎(多重鋼管杭) (新)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭) (旧)係船柱 (新)漂流防止装置(係船柱)	2023/4/7	
2191	NS2-添2-021-03改01	VI-2-別添6-3 漂流防止装置の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価	P.9	表3-2について、以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧) τ_{S} (新) τ (旧) τ_{sa} (新) τ_{a}	2023/4/7	
2192	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.3	構造概要について、以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧)防波壁(波返重力擁壁)は、マンメイドロック・・・ (新)防波壁(波返重力擁壁)は、岩盤、又はマンメイドロック・・・ (旧)・・・(以下「MMR」という。)等を介して堅固な地山の岩盤に支持され、鉄筋コンクリート造の・・・ (新)・・・(以下「MMR」という。)を介して岩盤若しくは改良地盤に支持される鉄筋コンクリート造の・・・ (旧)重力擁壁が岩盤に直接支持される岩盤直接支持部に分類される。 (新)鉄筋コンクリート造の重力擁壁が岩盤に直接支持される岩盤直接支持部に分類される。 (旧)構造体の境界には、止水性を保持するための止水目地を重力擁壁の陸側に設置する。 (新)重力擁壁及び前壁の背面に中詰コンクリートが充填されていないケーソンの海側には、鉄筋コンクリート版により構成された漂流物対策工(以下「漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)という。))を設置し、重力擁壁の陸側の境界部には、試験等により止水性を確認した止水目地を設置する。	2023/4/7	
2193	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.4他	構造概要図及び構造図について、漂流物対策工及び止水目地を追記し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2194	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.7	図2-4について、止水目地の配置位置における凡例を適正化しました。	2023/4/7	
2195	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.8	防波壁(波返重力擁壁)に設置する漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)の評価方針について記載を追記しました。	2023/4/7	
2196	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.8	強度評価の方針について、記載の分かりにくさの観点から記載の構成を修正しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2197	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.8 他	以下のとおり、記載を統一し、適正化しました。(下線部参照) (旧)発生変形量 (新)発生変位量 (旧)止水目地の変形量 (新)止水目地の変位量	2023/4/7	
2198	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.9,10	各部位の役割について、部位に放水路ケーソン及び漂流物対策工を追記し、地震時及び津波時の役割についての記載を適正化しました。	2023/4/7	
2199	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.11,12	各部位の役割について、部位に放水路ケーソン及び漂流物対策工を追記し、耐震性及び耐津波性における記載を適正化しました。	2023/4/7	
2200	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.13,14	評価項目について、部位に放水路ケーソン及び漂流物対策工を追記し、評価方法及び許容限界について下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)発生する応力度(曲げ・軸力及びせん断力) (新)発生する応力(曲げ応力及びせん断応力) (旧)発生する応力度(押抜きせん断力) (新)発生する応力(押抜きせん断力、アンカーボルトの引張力及びせん断力)	2023/4/7	
2201	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.15	図2-5について以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) ・施設の評価項目に漂流物対策工を追加 (旧)2次元動的有限要素法解析モデル及び諸元の設定 (新)2次元有限要素法モデル及び諸元の設定 (旧)2次元静的有限要素法及び2次元動的有限要素法 (新)2次元動的有限要素法 (旧)施設の変形性評価 (新)施設(止水目地)の変形性評価	2023/4/7	
2202	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.16 他	適用規格について、本文中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2203	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.17	表3-1について、強度計算書との整合の観点から、記号について適正化しました。	2023/4/7	
2204	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.19	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)③-③断面は、ケーソンに開口部(放水路)を有するため、評価対象断面として選定した。 (新)③-③断面は、開口部(放水路)を有するケーソンが設置されているため、評価対象断面として選定した。	2023/4/7	
2205	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.20	図3-1について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)目地	2023/4/7	
2206	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.21	図3-2について、岩相図から岩級図に修正し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2207	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.22~24	図3-3~図3-8について、岩相図から岩級図に修正し、図中に漂流物対策工等を追記しました。	2023/4/7	
2208	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.25~33	図3-9~図3-12について、②-②断面~⑤-⑤断面の構造図を追加しました。 また、図3-13~図3-16について、②-②断面~⑤-⑤断面の概略配筋図を追加しました。	2023/4/7	
2209	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.34	以下のとおり、記載を適正化しました。 (旧)2次元動的有限要素法による・・・ (新)2次元静的有限要素法及び2次元動的有限要素法による・・・	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2210	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.35	津波時及び重畳時において考慮する津波波源について記載を追記しました。	2023/4/7	
2211	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.35 他	漂流物対策工について、以下のとおり記載を統一し適正化しました。(下線部参照) (旧)漂流物対策工 (新)漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)	2023/4/7	
2212	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.36	荷重について、防波壁の計算書図書間の記載の統一のため記載を修正しました。(下線部参照) (旧)風荷重は、平成12年5月31日建設省告示第1454号に定められた松江市の基準風速30m/sを使用する。浸水防護施設が設置される状況に応じて、建築基準法及び建設省告示第1454号に基づき、ガスト影響係数等を適切に設定して算出する。 (新)風荷重については、設計基準風速を30m/sとし、「建築基準法・同施行令」に基づき算定する。 (旧)積雪荷重は、発電所に最も近い気象官署である松江地方気象台(松江市)での観測記録(1941~2018年)より、観測史上1位の月最深積雪100cm(1971年2月4日)に平均的な積雪荷重を与えるための係数0.35を考慮した値を基本とし、積雪量1cmごとに20N/m ² の積雪荷重が作用することを考慮し、各施設の積雪面積を乗じて設定する。 (新)積雪荷重として、発電所最寄り気象官署である松江地方気象台(松江市)での観測記録(1941~2018年)より、観測史上1位の月最深積雪100cm(1971年2月4日)に平均的な積雪荷重を与えるための係数0.35を考慮し35.0cmとする。積雪荷重については、「松江建築基準法施行細則(平成17年3月31日松江市規則第234号)」により、積雪量1cmごとに20N/m ² の積雪荷重が作用することを考慮し設定する。	2023/4/7	
2213	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.38	図3-17について、作用荷重を適正化し、漂流物対策工を追記しました。	2023/4/7	
2214	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.42	放水路ケーソンの曲げ・軸力系の破壊及びせん断破壊(面外)及びせん断破壊(面内)に対する許容限界について記載を追記しました。	2023/4/7	
2215	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.43	以下のとおり記載を統一し適正化しました。(下線部参照) (旧)準拠し (新)準用し	2023/4/7	
2216	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.44	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)止水目地(シートジョイント)	2023/4/7	
2217	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.44	止水目地(シートジョイント)の許容限界を下記のとおり適正化しました。 (旧)1960 (新)1936	2023/4/7	
2218	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.45	2次元有限要素法の解析方法について、下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)津波時に発生する応答値は、・・・ (新)津波時に発生する応力値及び変位は、・・・	2023/4/7	
2219	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.46 他	以下のとおり、記載を統一し、適正化しました。(下線部参照) (旧)平面ひずみ要素 (新)線形の平面ひずみ要素	2023/4/7	
2220	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.46	解析領域について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)解析領域は、境界条件の影響が地盤及び構造物の応力状態に影響を及ぼさないよう、十分広い領域とする。 (新)境界条件は、底面固定及び水平固定とする。	2023/4/7	
2221	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.48	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地盤のうち改良地盤⑥及びMMRの残留強度及び引張強度を・・・ (新)地盤のうち改良地盤⑥及びMMRの残留強度、せん断強度及び引張強度を・・・	2023/4/7	
2222	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.48	以下のとおり記載を統一し、適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
2223	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.49	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・曲げ引張応力度及びせん断力・・・ (新)・・・曲げ引張応力度並びにせん断力・・・	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2224	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.49	以下のとおり記載を統一し、適正化しました。(下線部参照) (旧)もとに (新)基に	2023/4/7	
2225	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.49 他	MMR及び改良地盤について、すべり安全率算定に用いる解析コードを追記しました。	2023/4/7	
2226	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.50 他	止水目地の評価方法について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2227	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.51	下記のとおり、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)設置圧 (新)接地圧	2023/4/7	
2228	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.52	3次元構造解析の評価における記載について、放水路ケーソンに関する記載を追記しました。	2023/4/7	
2229	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.52	地盤ばねについて、下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3次元構造解析モデルのうち、構造物とMMRの境界には地盤ばねを設置する。 (新)3次元構造解析モデルのうち、ケーソン及び放水路ケーソンの底面には地盤抵抗を表現するため、「道路橋示方書(Ⅰ共通編・Ⅳ下部構造編)同解説(社)日本道路協会、平成14年3月」に基づき地盤ばねを設置する。	2023/4/7	
2230	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.53	3次元構造解析モデルについて、中詰材改良体及び中詰コンクリートを追記しました。	2023/4/7	
2231	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.57	2次元有限要素法の解析方法について、下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重畳時に発生する応答値は、 (新)重畳時に発生する応力値及び変位は、 (旧)2次元動的有限要素法に用いる解析コードは・・・ (新)2次元静的有限要素法及び2次元動的有限要素法に用いる解析コードは・・・	2023/4/7	
2232	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.57 他	重畳時における2次元動的有限要素法における解析モデル及び評価方法について、記載を追記しました。	2023/4/7	
2233	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.58 他	以下のとおり、記載を統一し、適正化しました。(下線部参照) (旧)である。 (新)とする。	2023/4/7	
2234	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.59	2次元有限要素法の評価方法について、重力擁壁、MMR、改良地盤⑥、止水目地及び基礎地盤について記載を追記しました。	2023/4/7	
2235	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.64 他	強度評価に用いる条件として、表内に遡上津波荷重の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2236	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.66～79	津波時の評価結果について、章構成を見直しました。	2023/4/7	
2237	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.66	津波時の評価結果について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)コンクリートの曲げ・軸力系の破壊に対する照査結果 (新)重力擁壁の曲げ・軸力系の破壊に対する照査結果	2023/4/7	
2238	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.69	津波時の評価結果について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)コンクリートのせん断破壊に対する照査結果 (新)重力擁壁のせん断破壊に対する照査結果	2023/4/7	
2239	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.85 他	津波時の止水目地(シートジョイント)の変位量について、変位量及び許容限界を適正化しました。	2023/4/7	
2240	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.91～103	重畳時の評価結果について、章構成を見直しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2241	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.91	重畳時の評価結果について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)コンクリートの曲げ・軸力系の破壊に対する照査結果 (新)重力擁壁の曲げ・軸力系の破壊に対する照査結果	2023/4/7	
2242	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.93	重畳時の評価結果について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)コンクリートのせん断破壊に対する照査結果 (新)重力擁壁のせん断破壊に対する照査結果	2023/4/7	
2243	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.104 他	重畳時における改良地盤⑥のすべり安全率評価結果について、地震動及び発生時刻を適正化しました。	2023/4/7	
2244	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.109 他	重畳時の止水目地(シートジョイント)の変位量について、変位量及び許容限界を適正化しました。	2023/4/7	
2245	NS2-添3-015-02改01	VI-3-別添3-2-1-1 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書	P.127	「6. 漂流物対策工」について追加しました。	2023/4/7	
2246	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.1	以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)津波荷重 (新)地震後の繰返しの来襲を想定した津波	2023/4/7	
2247	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.3	2.2構造概要について、記載内容を地震応答計算書及び耐震計算書に合わせるため、適正化しました。	2023/4/7	
2248	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.4 他	図2-2について、EL表示の追記、漂流物対策工の記載位置と方向修正、止水目地の追記を行いました。	2023/4/7	
2249	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.7 他	平面図から鋼管杭を消去しました。	2023/4/7	
2250	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.8 他	改良地盤の凡例を変更し、RC床板は改良地盤と扱うこと、鋼管杭に期待しない設計とすることを追記しました。	2023/4/7	
2251	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.8 他	止水目地の概念図について、逆T擁壁についてシートジョイントは使用こととしたため削除し、ゴムジョイントのみに記載を修正しました。	2023/4/7	
2252	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.9	重畳時の強度評価を実施しない旨を追記しました。	2023/4/7	
2253	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.9 他	漂流物対策工を追記しました。	2023/4/7	
2254	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.9	強度評価における確認事項について、記載順序等を地震応答計算書及び耐震計算書に合わせて適正化しました。	2023/4/7	
2255	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.10 他	以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)変形 (新)変位	2023/4/7	
2256	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.10	漂流物対策工(鋼材)を追記しました。	2023/4/7	
2257	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.10 他	改良地盤の名称及び防波壁の名称を適正化しました。	2023/4/7	
2258	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.12 他	以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計アンカー力 (新)許容アンカー力	2023/4/7	
2259	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.14	以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)押抜きせん断応力及びアンカーの引抜き力 (新)押抜きせん断応力	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2260	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.19	評価対象断面として選定しない⑦-⑦断面に関する記載を削除しました。	2023/4/7	
2261	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.22~23	横断面図の凡例を適正化しました。	2023/4/7	
2262	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.25,26	遡上津波荷重, 衝突荷重, 風荷重及び積雪荷重について, 防波壁の他図書との記載の統一のため適正化しました。	2023/4/7	
2263	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.28	グラウンドアンカの許容限界について, 採用した許容値のみ記載することとし, 適正化しました。	2023/4/7	
2264	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.30	解析ケースについて, 強度評価では基本ケースを実施することを追記しました。	2023/4/7	
2265	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.30	施設護岸等の損壊による不確かさの影響確認ケースを実施していることを追記しました。	2023/4/7	
2266	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.31	解析モデルについて追記しました。	2023/4/7	
2267	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.31	ジョイント要素の設定について, 防波壁の他図書との記載の統一のため適正化しました。	2023/4/7	
2268	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.35	改良地盤のすべり安全率算定において, 応力度算定をした解析プログラムについて追記しました。	2023/4/7	
2269	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.36	止水目地の変位について, 防波壁の他図書との記載の統一のため適正化しました。	2023/4/7	
2270	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.43 他	照査値の有効桁について, 防波壁の他図書との記載の統一のため適正化しました。	2023/4/7	
2271	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.44	以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) τ_s (新) τ (旧) τ_{sa} (新) τ_{su}	2023/4/7	
2272	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.46	以下の通り記載を適正化しました。 (旧) テンドンの許容拘束力Tab (新) 許容アンカー力Ta	2023/4/7	
2273	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.52他	以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 支持地盤の接地圧分布図 (新) 基礎地盤の接地圧分布図	2023/4/7	
2274	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.55	施設護岸等の損傷による不確かさの影響確認に用いる解析モデルについて, 防波壁の他図書との記載の統一のため適正化しました。	2023/4/7	
2275	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.55他	以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 防波壁前面の施設護岸, 基礎捨石等 (新) 施設護岸等	2023/4/7	
2276	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.55他	以下の通り記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 不確かさの検討 (新) 不確かさの影響確認	2023/4/7	
2277	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.56	谷本式について, 準拠図書を追記しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2278	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.57,58	施設護岸等の損傷による不確かさの影響確認を行う照査項目について、防波壁の他図書との記載の統一のため適正化しました。	2023/4/7	
2279	NS2-添3-015-03改02	VI-3-別添3-2-1-2 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書	P.59	6.漂流物対策工を追記しました。	2023/4/7	
2280	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.3	図2-1について、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2281	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.7 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
2282	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.8 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2283	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.9,10	表2-3について、表タイトルを修正、Pc(衝突荷重)を追記し、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2284	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.9 他	評価に用いる記号について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)- (新)1本あたり (旧)kN/本 (新)kN	2023/4/7	
2285	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.11	図3-1について、荷重の作用図の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2286	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.12	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用津波水位 (新)設計津波水位	2023/4/7	
2287	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.12	表3-1に示す水頭高さについて、記載を拡充しました。	2023/4/7	
2288	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.13	「3.2.1 荷重の設定」において、衝突荷重(Pc)を追記しました。	2023/4/7	
2289	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.13	「3.2.2 荷重の組合せ」について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2290	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.14 他	図書中の表番号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2291	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.14 他	アンカーボルトの材質について、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)SS400 (新)アルミキルド鋼	2023/4/7	
2292	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.14	表3-4のタイトルについて、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表3-4 鋼材の許容応力度 (新)表3-4 鋼材の許容 <u>限界</u>	2023/4/7	
2293	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.15	アンカーボルトの許容限界について、浸水防護施設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2294	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.16 他	数式で使用する記号の説明において、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2295	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.16 他	津波荷重について、「遡上津波」の記載を追加しました。	2023/4/7	
2296	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.16～27	各部位の強度評価について、衝突荷重を追加するとともに関連箇所の記事を適正化しました。	2023/4/7	
2297	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.25 他	アンカーボルトの評価項目について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2298	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.25	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカーボルトの短期許容荷重 (新)アンカーボルトの短期許容応力度	2023/4/7	
2299	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.27	「4. 評価結果」について、照査値の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2300	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(1.防波壁通路防波扉(1・2号機北側)についての強度計算書)	P.27	表4-1の表タイトルについて以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波扉(1号機北側)及び防波扉(2号機北側)の強度評価結果 (新)防波扉(1号機北側)及び防波扉(2号機北側)の断面検定結果	2023/4/7	
2301	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.3	防波扉の天端高さの説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2302	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.3,4	図2-1について、平面図を追加しました。	2023/4/7	
2303	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.5 他	防波扉(荷揚場南)の図面について、図を追加し、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2304	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.15 他	図書中の記載について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
2305	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.16～18	表2-1～表2-3について、漂流物対策工を防波扉(荷揚場南)の評価対象部位とし、表の構成を変更し、表タイトル及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2306	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.18 他	MMRの評価項目として、支圧強度を追記しました。	2023/4/7	
2307	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.20 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2308	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.21～23	表3-1について、「防波扉(鋼管杭)」を追加し、表タイトル及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2309	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.24 他	表3-2について、表タイトルの記載を適正化しました。	2023/4/7	
2310	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.29	「3.4.1 荷重」について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2311	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.30 他	衝突荷重について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2312	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.31	図3-3について、図タイトルの記載を適正化しました。	2023/4/7	
2313	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.32	「3.5 解析モデル及び諸元」について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2314	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.34 他	防波扉基礎スラブと漂流物対策工基礎スラブを分別するため、名称を適正化しました。	2023/4/7	
2315	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.34 他	単位体積重量の単位について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)kN/m ² (新)kN/m ³	2023/4/7	
2316	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.35	地下水位の設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地地下水位, 設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
2317	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.37 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)Fc24 (新)f' ck=24N/mm ²	2023/4/7	
2318	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.37 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)Fc40 (新)f' ck=40N/mm ²	2023/4/7	
2319	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.38 他	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
2320	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.51 他	防波扉(鋼管杭)の照査に用いる数式中の記号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2321	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.51 他	基礎地盤の照査に用いる数式中の記号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2322	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.54 他	各部材に考慮する荷重について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2323	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.61 他	曲げ照査及びせん断照査について、他図書との記載の統一化のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2324	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.62,63	表4-1について、表タイトルの記載を適正化しました。	2023/4/7	
2325	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.64,65	表4-2について、表タイトル及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2326	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.66 他	「5.1 防波扉」の評価結果について、照査値の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2327	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.73 他	「5.2 漂流物対策工」の評価結果について、衝突荷重を考慮することとして、照査結果を見直し、照査値の記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2328	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.74 他	断面力図のKEYPLANについて、標高を追記しました。	2023/4/7	
2329	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(2.防波壁通路防波扉(荷揚場南)についての強度計算書)	P.79	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)最大接地圧が極限支持力を下回ることを確認した。 (新)最大接地圧が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
2330	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.3	防波扉の天端高さの説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2331	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.3,4	図2-1について、平面図を追加しました。	2023/4/7	
2332	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.5 他	防波扉(3号機東)の図面について、図を追加し、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2333	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.16 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
2334	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.17~19	表2-1~表2-3について、漂流物対策工を防波扉(3号機東側)の評価対象部位とし、表の構成を変更し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2335	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.18 他	MMRの評価項目として、支圧強度を追記しました。	2023/4/7	
2336	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.21 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2337	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.22,23	表3-1について、表タイトルの記載を適正化しました。	2023/4/7	
2338	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.24~26	表3-2について、表タイトル及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2339	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.28	図3-2の凡例について、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2340	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.29	「3.4.1 荷重」について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を変更しました。	2023/4/7	
2341	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.29 他	「Ga : グラウンドアンカの初期緊張力」について、「G: 固定荷重」に含むこととして、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2342	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.30 他	衝突荷重について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2343	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.31	図3-3の図タイトルについて、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)荷重作用図 (新)強度評価に用いる荷重の作用図	2023/4/7	
2344	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.32	「(1) 解析領域」, 「(4) 地盤のモデル化」及び「(5) ジョイント要素の設定」について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を変更しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2345	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.33	図3-4について、図中の解析モデルの説明を拡充しました。	2023/4/7	
2346	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.34 他	防波扉基礎スラブと漂流物対策工基礎スラブを分別するため、名称を適正化しました。	2023/4/7	
2347	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.34 他	単位体積重量の単位について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) kN/m^2 (新) kN/m^3	2023/4/7	
2348	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.35	表4-7(3)及び図4-17について、グラウンドアンカの物性値に「設計アンカー力」及び「初期変位量」を追記しました。	2023/4/7	
2349	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.36	表4-8について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 改良地盤①・② (新) 改良地盤①、②	2023/4/7	
2350	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.36	地下水位の設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 設計用地地下水位, 設計用地下水位 (新) 設計地下水位	2023/4/7	
2351	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.38	表4-10について、表タイトル及び表中の記号の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2352	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.38 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧) F_c24 (新) $f'_{ck}=24\text{N/mm}^2$	2023/4/7	
2353	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.39 他	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
2354	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.39 他	グラウンドアンカの許容限界について、「許容アンカー力 T_a 」と定義し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2355	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.41 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧) F_c40 (新) $f'_{ck}=40\text{N/mm}^2$	2023/4/7	
2356	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.51 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧) F_c40 (新) $f'_{ck}=40\text{N/mm}^2$	2023/4/7	
2357	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.51 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 曲げ軸力照査 (新) 曲げ・軸力系の破壊に対する照査 (旧) せん断力破壊に対する照査 (新) せん断破壊に対する照査	2023/4/7	
2358	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.51	「(4) 改良地盤」について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を変更しました。	2023/4/7	
2359	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.53 他	各部材に考慮する荷重について、記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2360	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.60,61	表4-1について、表タイトルの記載を適正化しました。	2023/4/7	
2361	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.62,63	表4-2について、表タイトル及び表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2362	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.64 他	「5. 評価結果」について、照査値の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2363	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.65 他	断面力図のキープランについて、標高を追記しました。	2023/4/7	
2364	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.65 他	曲げ照査において、圧縮系の評価においてはコンクリート、引張系の評価においては鉄筋を対象として記載するものとして記載を適正化しました。	2023/4/7	
2365	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.67 他	せん断照査において、コンクリートを対象として記載するものとして記載を適正化しました。	2023/4/7	
2366	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.70	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)グラウンドアンカによる支圧が許容限界以下であること (新)グラウンドアンカによる支圧応力度が許容限界以下であること	2023/4/7	
2367	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.74 他	「5.2 漂流物対策工」の照査結果について、衝突荷重を考慮した照査結果に変更しました。	2023/4/7	
2368	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.79	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎地盤に生じる最大接地圧が極限支持力度を下回ることを確認した。 (新)基礎地盤に生じる最大接地圧が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
2369	NS2-添3-015-05改01	VI-3-別添3-2-2 防波壁通路防波扉の強度計算書(3.防波壁通路防波扉(3号東)についての強度計算書)	P.79 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力度 (新)支圧強度	2023/4/7	
2370	NS2-添3-015-08改02	VI-3-別添3-2-5 防水壁の強度計算書	P.3	図2-1(2)より除じん機ポンプを削除し、適正化しました。	2023/4/7	
2371	NS2-添3-015-08改02	VI-3-別添3-2-5 防水壁の強度計算書	P.104,110,113	図7-1、図7-2、図7-4を表2-2に記載の図に合わせて適正化しました。	2023/4/7	
2372	NS2-添3-015-08改02	VI-3-別添3-2-5 防水壁の強度計算書	P.107	(2)許容限界の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼材の許容応力度は・・・ (新)鋼材の許容限界は・・・	2023/4/7	
2373	NS2-添3-015-08改02	VI-3-別添3-2-5 防水壁の強度計算書	P.107	表7-5の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼材の短期許容応力度 (新)鋼材の許容限界	2023/4/7	
2374	NS2-添3-015-08改02	VI-3-別添3-2-5 防水壁の強度計算書	P.108	b.アンカーボルトの以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカーボルトの許容荷重は・・・ (新)アンカーボルトの許容限界は・・・	2023/4/7	
2375	NS2-添3-015-08改02	VI-3-別添3-2-5 防水壁の強度計算書	P.108	表7-6の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカーボルトの基準強度 (新)アンカーボルトの許容限界	2023/4/7	
2376	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.4	図2-2より除じん機ポンプを削除し、適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2377	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.13	適用規格・基準等の(4)～(7)を「日本産業規格(JIS)」に統合し、番号を適正化しました。	2023/4/7	
2378	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.19,69,73,80,81,83,84	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) ・ L_9 (旧)縦柱スパン長 (新)外部縦柱スパン長 ・ V_{A1}, M_{A1}, S_{A1} (旧)支柱下端の… (新)水密扉戸当り用支柱下端の…	2023/4/7	
2379	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.21,77,81,84	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) ・ $A_{1,n10}$ (旧)ボルトの… (新)外部縦柱固定ボルトの…	2023/4/7	
2380	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.59,86	図3-12,22の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) (外部) (内部) (新) (外側) (取水槽側)	2023/4/7	
2381	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.63,90	表3-16、表3-23において、許容耐力の採用値のみの記載に適正化しました。	2023/4/7	
2382	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.69	図3-16の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)縦柱本体に作用する… (新)外部縦柱に作用する…	2023/4/7	
2383	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.72	図3-19の静水圧作用箇所を三角形分布に適正化しました。	2023/4/7	
2384	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.73,81,84,93,98	アンカーボルトの記号の単位の記載を適正化しました。(下線部参照) ・偏心距離 (旧)mm (新)m ・2次モーメントの合計値 (旧)mm ² (新)m ²	2023/4/7	
2385	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.76	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) ・ M_9 単位 (旧)kN/m (新)kN/mm	2023/4/7	
2386	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.79,82,97	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) ・ L_3 (旧)風荷重を… (新)水密扉戸当り用支柱の風荷重を…	2023/4/7	
2387	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.80,83	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) ・ L_7 (旧)風荷重を… (新)外部縦柱の風荷重を…	2023/4/7	
2388	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.80,83	以下の記載を適正化しました。 ・ L_8 (旧)2.500 (新)0.172	2023/4/7	
2389	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.81,84,98	以下の記載を適正化しました。 ・偏心距離 (旧)175 (新)0.175 ・2次モーメントの合計値 (旧)122000 (新)0.122	2023/4/7	
2390	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.89	3.3.3許容限界の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「3.1 評価対象部位」 (新)「3.3.1 評価対象部位」	2023/4/7	
2391	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.89	3.3.2許容限界の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼材の許容応力度は… (新)鋼材の許容限界は…	2023/4/7	
2392	NS2-添3-015-09改03	VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書	P.100,101	固定プレートの組合せ応力度の評価を鋼構造設計規準による式とし、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2393	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.1 他	資料の分かり易さの観点から、章構成及び章名称を変更しました。これに伴い図表番号を変更しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2394	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.1 他	<p>以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧) 当たって (新) <u>あ</u>たって</p> <p>(旧) 漂流防止装置 (新) <u>漂流防止装置(係船柱)</u></p> <p>(旧) 全て (新) <u>す</u>べて</p> <p>(旧) および (新) <u>及</u>び</p> <p>(旧) 係船柱底板下面のコンクリート (新) <u>コンクリート(係船柱底板)</u></p> <p>(旧) 係船柱底板前面のコンクリート (新) <u>コンクリート(係船柱前面)</u></p> <p>(旧) アンカー板上面のコンクリート (新) <u>コンクリート(アンカー板上面)</u></p> <p>(旧) アンカー板上面のコンクリート (新) <u>コンクリート(アンカーボルト側面)</u></p>	2023/4/7	
2395	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.1	「1.概要」について、海域割断層に想定される地震による津波の流圧力により作用する係留力に対して評価を実施する旨を追記しました。	2023/4/7	
2396	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.3,4	「2.2 構造概要」について、漂流防止装置(係船柱)を構成する部材が明確となるように記載を拡充しました。また、本文の記載の拡充に伴い、図2-2及び図2-3を修正しました。	2023/4/7	
2397	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.5~8	「2.3 評価方針」について、資料の分かり易さの観点から、各部位の役割、性能目標及び評価項目として表2-1~表2-3を追記しました。また、図2-4について、許容限界の設定を追加しました。	2023/4/7	
2398	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.9	また、以下の基準等を追記しました。 ・機械工学便覧 改訂第6版((社)日本機械学会編, 1977年)	2023/4/7	
2399	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.10,11	表2-4について、記号、単位及び定義を本文中の記載と統一化するため記載を適正化しました。	2023/4/7	
2400	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.12	<p>以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)</p> <p>また、漂流防止装置(係船柱)の周囲のコンクリートに対する評価も実施する旨を追記しました。</p> <p>(旧) 漂流防止装置(係船柱)に生じる係留力に伴う荷重は、係船柱、アンカーボルト及びアンカー板を介して基礎に伝達される・・・</p> <p>(新) <u>漂流防止装置(係船柱)に作用する係留力による荷重は、係船柱、アンカーボルト及びアンカー板を介して周囲のコンクリートに伝達される・・・</u></p>	2023/4/7	
2401	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.13	係留力の算定方法が明確となるように、記載を拡充しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2402	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.15,16	<p>「3.3.2 許容限界」について、VI-3-別添3-1「津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針」に基づき設定する旨を追記しました。</p> <p>また、以下のとおり記載を適正化しました。</p> <p>(旧)係船柱の許容応力度は、「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—(社)日本建築学会、2005年改訂」及び「JIS G 5101 炭素鋼鋳鋼品」を踏まえて表3-3の値とする。</p> <p>(新)係船柱の許容限界は、「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—(社)日本建築学会、2005年改訂」及び「JIS G 5101 炭素鋼鋳鋼品」を踏まえて表3-3のとおり設定する。</p> <p>(旧)許容応力度 (新)許容限界</p> <p>(旧)・・・に示す値とする (新)・・・とおり設定する</p> <p>(旧)漂流防止装置(係船柱)の基礎の許容応力度 (新)コンクリートの許容限界</p>	2023/4/7	
2403	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.17	<p>係船柱に生じる曲げ応力度の算定に用いる、P_H及びDの説明を追記しました。また、資料の分かり易さの観点から図3-4の記載を拡充しました。</p> <p>また、以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。</p> <p>(旧)当該漂流防止装置を構成する係船柱、アンカーボルト及びアンカー板に発生する応力より算定する応力度が、許容限界以下であることを確認する。</p> <p>(新)漂流防止装置(係船柱)を構成する各部材に生じる応力度が、許容限界以下であることを確認する。</p> <p>(旧)係船柱に生じる応力は、係船柱を片持ち梁として次式により算出し、係船柱の許容限界以下であることを確認する。なお、保守的に転倒モーメントを算出するため、慣性力の作用点は直胴部の上端とする。</p> <p>(新)係船柱に生じる曲げ応力度は、係船柱を片持ち梁として次式により算出し、係船柱の許容限界以下であることを確認する。なお、慣性力の作用点は係船柱直胴部の上端とする。</p> <p>係船柱のモデル図を図3-4に示す。</p>	2023/4/7	
2404	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.18~24	<p>コンクリート(係船柱底板)の支圧応力度、コンクリート(係船柱前面)の支圧応力度、アンカーボルトの引張応力度、アンカー板の曲げ応力度、コンクリート(アンカー板上面)の支圧応力度及びコンクリート(アンカーボルト側面)のせん断応力度の評価方法について、適用する基準を明確化しました。また、資料の分かり易さの観点から記載内容を修正しました。</p>	2023/4/7	
2405	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.25	<p>表4-1について、記号、単位及び定義を本文中の記載と統一化するため記載を適正化しました。</p>	2023/4/7	
2406	NS2-添3-015-14改01	VI-3-別添3-2-11 漂流防止装置の強度計算書	P.26	<p>表5-1について、評価対象部位を本文中の記載と統一しました。また、照査値を少数点第2(少数点第3位繰り上げ)に見直しました。</p> <p>また、以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)</p> <p>(旧)各部材の断面検定を行った結果、発生応力度又は荷重は許容限界以下であることから、漂流防止装置が構造健全性を有することを確認した。</p> <p>(新)各部材の発生応力度は許容限界以下であることから、漂流防止装置(係船柱)は構造健全性を有することを確認した。</p> <p>(旧)発生値(応力度) (新)発生応力度</p>	2023/4/7	
2407	NS2-添3-015-16改02	VI-3-別添3-4-1 防水壁の強度計算書(溢水)	P.14,38	<p>以下の記載を適正化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)松江市建築基準法施工細則 (新)松江市建築基準法施行細則</p>	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2408	NS2-添3-015-16改02	VI-3-別添3-4-1 防水壁の強度計算書(溢水)	P.24	鋼板のせん断応力度の評価を省略することを追記しました。	2023/4/7	
2409	NS2-添3-015-16改02	VI-3-別添3-4-1 防水壁の強度計算書(溢水)	P.41	表4-6の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼材の短期許容応力度 (新)鋼材の許容限界	2023/4/7	
2410	NS2-添3-015-16改02	VI-3-別添3-4-1 防水壁の強度計算書(溢水)	P.42	表4-7の以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカーボルトの基準強度 (新)アンカーボルトの許容限界	2023/4/7	
2411	NS2-添3-015-16改02	VI-3-別添3-4-1 防水壁の強度計算書(溢水)	P.43,48,53	以下の解析コードの記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「FREMING_Ver.13.4H」 (新)「FREMING」	2023/4/7	
2412	NS2-添3-015-16改02	VI-3-別添3-4-1 防水壁の強度計算書(溢水)	P.44	図4-1の柱に作用する静水圧荷重を三角形分布に適正化しました。	2023/4/7	
2413	NS2-添3-015-17改03	VI-3-別添3-4-2 水密扉の強度計算書(溢水)	P.3	表2-1(2)の水密扉No.38の設置高さの以下の記載を適正化しました。 (旧)11.26m (新)11.261m	2023/4/7	
2414	NS2-添3-015-17改03	VI-3-別添3-4-2 水密扉の強度計算書(溢水)	P.15	図2-7より除じん機ポンプを削除し、適正化しました。	2023/4/7	
2415	NS2-添3-015-17改03	VI-3-別添3-4-2 水密扉の強度計算書(溢水)	P.25	適用規格・基準等の(4)～(7)を「日本産業規格(JIS)」に統合しました。	2023/4/7	
2416	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.1 津波と地震の組合せで考慮する荷重)	P.1.1-1 他	引用文献の前後に「 」を記載しました。	2023/4/7	
2417	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.3 津波防護に関する施設の機能設計・構造強度設計に係る許容限界)	P.1.3-2～4	VI-1-1-3-2-5「津波防護に関する施設の設計方針」の記載を踏まえ、止水目地をEL 15.0mまで設置するよう記載を修正しました。	2023/4/7	
2418	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.3 津波防護に関する施設の機能設計・構造強度設計に係る許容限界)	P.1.3-2～4	VI-3-別添3-1「津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針」の記載を踏まえ、漂流物対策工はおおむね弾性にとどまるよう記載を修正しました。	2023/4/7	
2419	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.5 浸水防護施設の評価における漂流物衝突荷重、風荷重及び積雪荷重の設定)	P.1.5-11 他	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における漂流物衝突位置による発生曲げモーメントのイメージ図として、図1.5.1-8を追加しました。それに伴い、以降の図番号を修正しました。	2023/4/7	
2420	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.5 浸水防護施設の評価における漂流物衝突荷重、風荷重及び積雪荷重の設定)	P.1.5-11	漂流物がEL12.6mより低い位置に衝突した場合においても、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)背面の改良地盤により地中部の止水性が確保される旨を追記しました。	2023/4/7	
2421	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.5 浸水防護施設の評価における漂流物衝突荷重、風荷重及び積雪荷重の設定)	P.1.5-11	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)津波水位 (新)津波高さ	2023/4/7	
2422	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.5 浸水防護施設の評価における漂流物衝突荷重、風荷重及び積雪荷重の設定)	P.1.5-20	以下のとおり、引用文献の略称を追記しました。(下線部参照) また、以降について引用文献の略称を修正しました。 (旧)「建設省告示第1454号(平成12年5月31日)」及び「建築物の構造規定 —建築基準法施行令第3章の解説と運用—(日本建築センター, 1997年版)」(以下「建築物の構造規定」という。) (新)「建設省告示第1454号(平成12年5月31日)」、「建築物の構造規定 —建築基準法施行令第3章の解説と運用—(日本建築センター, 1997年版)」(以下「建築物の構造規定」という。)及び「建築物荷重指針・同解説(社)日本建築学会, 2004)」(以下「建築物荷重指針・同解説」という。)	2023/4/7	
2423	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.5 浸水防護施設の評価における漂流物衝突荷重、風荷重及び積雪荷重の設定)	P.1.5-29 他	引用文献の前後に「 」を記載しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2424	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.6 津波波圧の算定に用いた規格・基準類の適用性)	P.1.6-57	図1.6.2-48について、防波壁の補足説明資料の記載を反映しました。	2023/4/7	
2425	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.7 浸水防護施設のアンカーボルトの設計)	P.1.7-3	表1.7-1(2/4)のうち、取水槽除じん機エリア防水壁のアンカーの種類について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)接着系アンカーボルト (新)接着系アンカーボルト	2023/4/7	
2426	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.7 浸水防護施設のアンカーボルトの設計)	P.1.7-3	引用文献の前後に「 」を記載しました。また、「ダム・堰施設技術基準(案)」の正式名称を追記しました。	2023/4/7	
2427	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.8 津波防護施設の設計における評価対象断面の選定)	P.1.8-1～107	「2.1 防波壁に関する補足説明」の修正に伴う反映を実施しました。	2023/4/7	
2428	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.9 強度計算における津波時及び重畳時の荷重作用状況)	P.1.9-1	以下のとおり、記載を適正化しました。 (旧)三次元静的有限要素法 (新)3次元構造解析	2023/4/7	
2429	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.9 強度計算における津波時及び重畳時の荷重作用状況)	P.1.9-2	注記*2について、重畳時における設計用浸水深に考慮する津波水位の詳細を記載しました。	2023/4/7	
2430	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.9 強度計算における津波時及び重畳時の荷重作用状況)	P.1.9-4	東端部の地盤高さを適正化しました。	2023/4/7	
2431	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.9 強度計算における津波時及び重畳時の荷重作用状況)	P.1.9-4	3号機東側、3号機北側について、重畳時において津波水位が敷地高を超えない旨を記載しました。	2023/4/7	
2432	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.9 強度計算における津波時及び重畳時の荷重作用状況)	P.1.9-4	東端部、西端部について、重畳時において津波水位が敷地高を超えないことから、重畳時は考慮しない旨を記載しました。	2023/4/7	
2433	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.9 強度計算における津波時及び重畳時の荷重作用状況)	P.1.9-7	1号機取水槽の補強に伴い、設計津波水位を修正しました。	2023/4/7	
2434	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(1.10 耐震及び耐津波設計における許容限界)	P.1.10-9	以下のとおり、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時、津波時、津波土余震時 (新)地震時、津波時	2023/4/7	
2435	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.目-1.2	目次のタイトル及びページ番号を適正化しました。	2023/4/7	
2436	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-1	「1. 概要」について、以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、漂流物対策工については別の補足説明資料にて説明することを追記しました。(下線部参照) (旧)施設・地盤の健全性評価、施設の変形性評価を行う。 (新)施設・地盤の健全性評価及び施設の変形性評価を行う。	2023/4/7	
2437	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-2	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)範囲 (新)位置図	2023/4/7	
2438	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-3	「2.2 構造概要」について、津波高さを入力津波高さ(EL 11.9m)に適正化しました。また、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の構造概要について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載の構成を変更しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2439	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)正面図 (新)鳥瞰図	2023/4/7	
2440	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-4 他	平面図について、改良地盤⑤の範囲を適正化しました。	2023/4/7	
2441	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-10 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生応力 (新)発生応力度 (旧)止水目地の変形量 (新)止水目地の変位量 (旧)許容限界を下回ることを確認する。 (新)許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2442	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-11	表2.3-1内について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2443	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-11 他	参考資料や他補正申請図書を引用する際の記事方法を統一するために適正化しました。	2023/4/7	
2444	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-12	表2.3-2内について、以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、改良地盤の番号を追記しました。 (旧)鉄筋コンクリート版がせん断破壊しないこと。 (新)鉄筋コンクリート版がおおむね弾性状態にとどまること。	2023/4/7	
2445	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-13	表2.3-3内について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化するとともに、評価項目として改良地盤⑤を追加し、評価項目とする理由を注記に記載しました。	2023/4/7	
2446	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-14	図2.3-1のフローについて、漂流物対策工を追加するとともに、他補正申請図書と記載を合わせるために、「許容限界の設定」を追加しました。	2023/4/7	
2447	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-15 他	本文中に記載された適用規格・基準類について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2448	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-16	表2.4-1内について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化するとともに、許容限界に改良地盤⑤を追加しました。	2023/4/7	
2449	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-17	表3.1-1及び文章において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)隣接構造物 (新)周辺構造物	2023/4/7	
2450	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-17	評価対象断面を縦断面図と横断面図に分けて記載しました。	2023/4/7	
2451	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-20 他	横断面図(岩級区分図、岩相区分図)について、引き出し線の記事を以下のとおりとし、図の表現を他補正申請図書と統一するため適正化しました。また⑥-⑥断面の岩級区分について、適正化しました。 (旧)防波壁 (新)被覆コンクリート壁	2023/4/7	
2452	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-23 他	構造図について、記載の順番を正面図→断面図にするとともに、右肩に(単位:mm)を追記しました。	2023/4/7	
2453	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-30 他	他補正申請図書と記載を合わせるため、章番号及び図表番号を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2454	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-30	施設・地盤の健全性評価について、改良地盤⑤を追記しました。	2023/4/7	
2455	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-32 他	数式を見やすさの観点から拡大しました。	2023/4/7	
2456	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-33	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤及び岩盤 (新)改良地盤	2023/4/7	
2457	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-33 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)評価対象断面である②-②断面及び⑦-⑦断面位置における止水目地の許容限界を… (新)止水目地(シートジョイント)の許容限界を…	2023/4/7	
2458	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-34	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき、支持力試験により設定する。 (新)VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき設定する。	2023/4/7	
2459	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-35 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)線形はり要素 (新)線形はり要素(ビーム要素)	2023/4/7	
2460	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-35	他補正申請図書と記載を合わせるため、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…2次元有限要素法(有効応力解析)により、被覆コンクリート壁の健全性評価については、3次元構造解析により行う。 (新)…2次元有限要素法(有効応力解析)による耐震評価を行う。なお、被覆コンクリート壁については、「5_3次元構造解析」により健全性評価を行う。	2023/4/7	
2461	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-36	図4.1.1-1について、マルチスプリング要素のモデル化対象として、D級岩盤はないことから削除しました。	2023/4/7	
2462	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-37	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.1.3 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)4.1.3 地盤物性のばらつき	2023/4/7	
2463	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-38	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)Rayleigh減衰を考慮することとし、2次元有限要素法(有効応力解析)では剛性比例型減衰($\alpha=0$, $\beta=0.002$)を考慮する。 (新)Rayleigh減衰を考慮することとし、剛性比例型減衰($\alpha=0$, $\beta=0.002$)を考慮する。	2023/4/7	
2464	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-39 他	地震動の位相や方位の記載について、統一するため適正化しました。	2023/4/7	
2465	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-41 他	加速度応答スペクトルの縦軸について、他補正申請図書と記載を合わせるため、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応答加速度 (新)加速度	2023/4/7	
2466	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-77 他	⑦-⑦断面について、他補正申請図書と記載を合わせるため、地震波全波を記載しました。	2023/4/7	
2467	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-90 他	解析モデル図について、他補正申請図書と記載を合わせるため、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2468	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-94	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元地震応答解析 (新)地震応答解析	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2469	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-96	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)反無限地盤 (新)半無限地盤 (旧)ダッシュポット (新)ダッシュボット	2023/4/7	
2470	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-97	図4.1.7-13の注記のうち、引用している港湾基準について、略称とせずに記載するように適正化しました。	2023/4/7	
2471	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-98	図4.1.7-14について、凡例において改良地盤④を削除するとともに、方位を記載しました。	2023/4/7	
2472	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-99	図4.1.7-15のうち取水路の径について、不要であるため記載を削除しました。	2023/4/7	
2473	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-103 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁 (新)防波壁(多重鋼管杭式擁壁)	2023/4/7	
2474	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-107	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁(多重鋼管杭式擁壁)前面又は背面に施設護岸等がない場合の検討を実施する。 (新)防波壁(多重鋼管杭式擁壁)前面に施設護岸等がある断面については施設護岸等が保守的にない場合を、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の背面に施設護岸等がある断面については保守的に施設護岸等を埋戻土(粘性土)に置換した場合の検討を実施する。	2023/4/7	
2475	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-112 他	内部摩擦角や物性値等について、記載する桁数を統一しました。	2023/4/7	
2476	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-113	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)保守的に0と設定 (新)保守的にゼロと設定	2023/4/7	
2477	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-119	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) kN/m^3 (新) kN/m^2	2023/4/7	
2478	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-121	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…設定している物性値を用いる。 (新)…設定している物性値及び「港湾基準」に基づき設定した物性値を用いる。	2023/4/7	
2479	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-121,124	改良地盤⑤の残留強度及び引張強度について記載しないこととしていたが、改良地盤⑤についてもすべり安全率評価を行うことから、その記載について削除し、改良地盤⑤の残留強度及び引張強度を追加しました。	2023/4/7	
2480	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-121 他	解析用物性値について、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に合わせて記載を適正化しました。	2023/4/7	
2481	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-123 他	他補正申請図書と記載を合わせるため、埋戻土(施設護岸背面)の解析用物性値を追加し、追加に伴い表番号を適正化しました。	2023/4/7	
2482	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-124	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2483	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-125	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震応答解析に基づいて算定した発生応力が… (新)地震応答解析に基づいて算定した発生断面力及び発生応力が… (旧)杭体 (新)鋼管杭	2023/4/7	
2484	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-125 他	照査について、曲げ照査、せん断照査、引張照査で統一するように記載を適正化しました。	2023/4/7	
2485	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-125	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)せん断力の和で除した値を時々刻々求め、… (新)せん断力の和で除した値を求め、…	2023/4/7	
2486	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-125	すべり安全率の算定に用いる解析コードについて追記しました。	2023/4/7	
2487	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-127	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の地震時の変形性評価について、法線直交方向及び法線方向ともに、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の地震荷重による最大変位量が許容限界以下であることを確認する。 (新)止水目地(シートジョイント)の地震時の変形性評価について、法線直交方向、法線方向及び深度方向いずれも、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の地震時の最大変位量が許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2488	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-127 他	以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、変位量、相対変位量の使い分けについて、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)変位 (新)変位量	2023/4/7	
2489	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-127	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)x方向(法線直交方向)の変位量 $\delta x: \delta x = \delta x(T) \times 2$ y方向(法線方向)の変位量 $\delta y: \delta y = \delta y(T) $ z方向(深度方向)の変位量 $\delta z: \delta z = \delta z(T) \times 2$ $\delta x(T)$:x方向の最大相対変位量 $\delta y(T)$:y方向の最大相対変位量 $\delta z(T)$:z方向の最大相対変位量 (新)x方向(法線直交方向)の地震時の変位量 $\delta x: \delta x = \delta x(T) \times 2$ y方向(法線方向)の地震時の変位量 $\delta y: \delta y = \delta y(T) $ z方向(深度方向)の地震時の変位量 $\delta z: \delta z = \delta z(T) \times 2$ $\delta x(T)$:x方向(法線直交方向)の地震時の最大相対変位量 $\delta y(T)$:y方向(法線方向)の地震時の最大相対変位量 $\delta z(T)$:z方向(深度方向)の地震時の最大相対変位量	2023/4/7	
2490	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-127	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…地震荷重による最大変位量とする。 (新)…地震時の荷重による最大変位量とする。	2023/4/7	
2491	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-128	他補正申請図書と記載を合わせるため、止水目地の変位量の算定方法を追記しました。	2023/4/7	
2492	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-129	基礎地盤の支持性能評価について、道路橋示方書(I 共通編・IV 下部構造編)・同解説は用いていないため、削除しました。	2023/4/7	
2493	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-129	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)杭先端部 (新)杭下端部	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2494	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-129 他	曲げモーメント、軸力、せん断力について、照査に用いる値は必ずしも最大値ではないため、maxを削除しました。併せて、その他の記号の記載について、統一するために適正化しました。	2023/4/7	
2495	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-130	岩盤1速度層のせん断強度について、保守的にD級岩盤のせん断強度を用いる旨を追記しました。	2023/4/7	
2496	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-130 他	以下のとおり記載を適正化し(下線部参照)、せん断破壊等も含めた同様の文章についても統一するため記載を適正化しました。 (旧)「鋼管杭の曲げ・軸力系破壊に対する最大照査値の地震動・時刻」 (新)「鋼管杭の曲げ・軸力系 の 破壊に対する最大照査値の地震動・時刻」	2023/4/7	
2497	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-132 他	連続して参照する図の記載方法を統一しました。	2023/4/7	
2498	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-144	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「…最大せん断ひずみ分布」記載する。 (新)「…最大せん断ひずみ分布」を記載する。	2023/4/7	
2499	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-145 他	Ss-F1及びSs-F2について、他補正申請図書と記載を合わせるため、方位の記載を削除しました。	2023/4/7	
2500	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-145 他	表の注記について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ・軸力系の破壊に対する評価のうち、… (新)解析ケース①において、曲げ・軸力系の破壊に対する評価のうち、…	2023/4/7	
2501	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-153	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(3) 鋼管杭(杭頭連結材)の引張破壊に対する照査 (新)(3) 杭頭連結材の引張照査	2023/4/7	
2502	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-153	表4.2.1-3について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼管杭の引張破壊照査値 (新)杭頭連結材の引張破壊に対する照査値	2023/4/7	
2503	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-154 他	改良地盤⑤の評価結果を記載し、章構成や章タイトルを適正化しました。それに伴い表番号を適正化しました。	2023/4/7	
2504	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-162	表4.2.2-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)降伏モーメント M_y (N/mm^2) (新)降伏モーメント M_y ($kN\cdot m$)	2023/4/7	
2505	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-163 他	図4.2.2-1(2)等の断面力図について、断面力の数値の追記等を適正化しました。	2023/4/7	
2506	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-163 他	断面力図の横軸について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(a)曲げモーメント M_x ($kN\cdot m$) (b)軸力 N_x (kN) (c)せん断力 Q_x (kN) (新)(a)曲げモーメント M ($kN\cdot m$) (b)軸力 N (kN) (c)せん断力 Q (kN)	2023/4/7	
2507	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-168	杭頭連結材について、発生応力度が許容限界以下であることを確認した旨を追記しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2508	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-169,172	以下のとおり記載を適正化(下線部参照)、同様の文章についても統一するため記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地盤の液化化対象層に発生した過剰間隙水圧比を確認するため、各施設の照査値のうち0.5を超える照査値で最大の照査値を示す解析ケースを表4.2.5-1に、地震応答解析の全時刻における過剰間隙水圧比の最大値分布図を図4.2.5-1に示す。 (新)地盤の液化化対象層に発生した過剰間隙水圧比を確認するため、 <u>鋼管杭及び基礎地盤</u> の照査値のうち0.5を超える照査値で最大の照査値を示す解析ケースを表4.2.5-1に、 <u>最大の照査値を示す解析ケース</u> における地震応答解析の過剰間隙水圧比の最大値分布図を図4.2.5-1に示す。	2023/4/7	
2509	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-169 他	表4.2.5-1及び表4.2.6-1について、他補正申請図書と記載を合わせるため、解析ケースを追記しました。	2023/4/7	
2510	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-172	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…改良地盤④による鋼管杭の変形抑制効果が小さくことから、… (新)…改良地盤④による鋼管杭の変形抑制効果は <small>小さい</small> ことから、…	2023/4/7	
2511	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-176 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生応力 (新)発生 <u>断面力</u>	2023/4/7	
2512	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-185~189	改良地盤⑤の評価結果を追加し、章構成を適正化しました。また、改良地盤④および改良地盤⑤のすべり線及び局所安全係数分布図を追加しました。	2023/4/7	
2513	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-190	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤④においてはせん断破壊及び引張強度に達する要素は局所的であること、… (新)改良地盤④においては引張強度に達する要素は局所的であること、…	2023/4/7	
2514	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-191 他	破壊履歴図における防波壁の図示について、防波壁の高さを適正化しました。	2023/4/7	
2515	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-193	表4.2.9-1の④-④断面については照査値を記載しないため、「-」を追記しました。	2023/4/7	
2516	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-207	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「4.2.1 止水目地」参照 (新)「4.2.1Q 止水目地」参照	2023/4/7	
2517	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-207	表4.2.9-2の変位量の値について、止水目地の結果に合わせて桁数を適正化しました。	2023/4/7	
2518	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-208	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)この結果から、変位量が許容限界以下であることを確認した。 (新)地震時の止水目地(シートジョイント)の変位量に対する評価を行った結果、変位量が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
2519	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-208 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)横断方向 $\delta_x(T)$ (新)法線直交方向 $\delta_x(T)$ (旧)鉛直方向 $\delta_z(T)$ (新)深度方向 $\delta_z(T)$	2023/4/7	
2520	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-209	表4.2.10-1(2)の深度方向の変位量について適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2521	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-210	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の変形性に対する評価結果 (新)止水目地(シートジョイント)の変位量に対する評価結果	2023/4/7	
2522	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-211	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の基礎地盤に生じる最大接地圧が極限支持力度以下であること… (新)防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の抗下端部に生じる最大軸応力度が極限支持力度以下であること…	2023/4/7	
2523	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-215	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)渡って (新)わたって	2023/4/7	
2524	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-215,216	他補正申請図書と記載を合わせて、施設護岸等の役割を追記し、表番号を適正化しました。	2023/4/7	
2525	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-236	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)風荷重・積雪荷重 (新)風荷重及び積雪荷重	2023/4/7	
2526	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-237	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…「(参考資料7)3次元構造解析の保守性の検討」に示す。 (新)…「(参考資料7)3次元構造解析の保守性」に示す。	2023/4/7	
2527	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-238 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)土圧 (新)静止土圧 (旧)水圧 (新)詮水圧 (旧)地震応答解析のうち常時応力解析 (新)常時応力解析	2023/4/7	
2528	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-240	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼管杭をモデル化したはりの単位体積重量に… (新)鋼管杭をモデル化した線形シェル要素の単位体積重量に… (旧)…漂流物対策工の単位体積重量を考慮する。 (新)…漂流物対策工の重量を考慮する。 (旧)…海水の密度1.03g/cm ³ を考慮する。 (新)…海水の密度1.03t/m ³ を考慮する。	2023/4/7	
2529	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-242~244	表中の相対変位について、負号を削除しました。	2023/4/7	
2530	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-245	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応答加速度の正負の方向とする。 (新)応答加速度の正負の方向とし、3次元構造解析モデルの要素の高さ位置に合わせ、全要素に入力する。	2023/4/7	
2531	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-253 他	応答加速度分布のうち④-④断面について、海側杭と陸側杭をそれぞれ記載し、図番号を適正化しました。	2023/4/7	
2532	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-259	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震応答解析モデルにおける被覆コンクリート壁下端位置の鋼管杭から抽出算定する。 (新)地震応答解析モデルにおける被覆コンクリート壁下端位置の鋼管杭から抽出する。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2533	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-262	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)風荷重及び積雪荷重は、表5.1.2-1に示すとおり公式により算定する。 (新)風荷重及び積雪荷重は、「3.3(2) 荷重」を基に設定する。	2023/4/7	
2534	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-262	「(1)構造物のモデル化」について、他補正申請図書と記載を合わせて、文章の並びを適正化するとともに、漂流物対策工のモデル化の考え方について追記しました。	2023/4/7	
2535	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-270	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)多重鋼管杭の使用材料は、・・・ (新)鋼管杭の使用材料は、・・・	2023/4/7	
2536	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-271	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3次元構造解析より得られた曲げモーメント及び軸力より算定される曲げ応力並びにせん断力より算定されるせん断応力が「3.4 許容限界」で設定した許容限界以下であることを確認する。 (新)被覆コンクリート壁の評価は、3次元構造解析より得られた曲げモーメント及び軸力より算定される曲げ圧縮応力度及び曲げ引張応力度並びにせん断力より算定されるせん断応力度が「3.4 許容限界」で設定した許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2537	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-278 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)被覆コンクリート (新)被覆コンクリート壁	2023/4/7	
2538	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-279 他	3次元構造解析のうち④-④断面について、誤りがあったため発生断面力及び照査値を適正化しました。	2023/4/7	
2539	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-283 他	3次元構造解析における断面力をM', N', Q'に、短期許容応力度を σ_{s1} に適正化しました。(断面力図含む)	2023/4/7	
2540	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.1-289 他	以下のとおり記載を適正化し(下線部参照)、同様の文章についても統一するため記載を適正化しました。 (旧)この結果から、被覆コンクリート壁の発生応力が許容限界以下であることを確認した。 (新)この結果から、コンクリート及び鉄筋の発生応力度が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
2541	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)径の異なる4本または3本の・・・ (新)径の異なる4本又は3本の・・・	2023/4/7	
2542	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-2	図2-1の平面配置図について、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に合わせて適正化しました。	2023/4/7	
2543	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-7	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)保守的に (kN/m^2) とする。 (新)保守的に $Q(\text{kN}/\text{m}^2)$ とする。	2023/4/7	
2544	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)4-4	図1.3.1-1について、モデル図の色に誤りがあったため、適正化しました。	2023/4/7	
2545	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)4-6,11	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)施設護岸がある場合 (新)施設護岸等がある場合	2023/4/7	
2546	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)4-6,11	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼管杭のせん断破壊の照査値は・・・ (新)鋼管杭のせん断破壊に対する照査値は・・・	2023/4/7	
2547	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)5-5	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧) F_{ca} (新) F_{a1}	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2548	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)5-7	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)被覆コンクリート壁 クリート壁 の鉛直慣性力の算定結果 (新)被覆コンクリート壁の鉛直慣性力の算定結果 (旧)鉛直慣性力 (新)被覆コンクリート壁の鉛直上向きの慣性力	2023/4/7	
2549	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)6-7,21	③-③断面の3重管部の解析ケース及び評価結果を適正化しました。	2023/4/7	
2550	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.目-1,2	目次のタイトルを適正化しました。	2023/4/7	
2551	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-1	「1. 概要」について、以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、漂流物対策工については別の補足説明資料にて説明することを追記しました。 (旧)…防波壁(多重鋼管杭式擁壁)が津波、余震、漂流物の衝突… (新)…防波壁(多重鋼管杭式擁壁)が地震後の繰返しの来襲を想定した津波、余震、漂流物の衝突…	2023/4/7	
2552	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-2	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)範囲 (新)位置図	2023/4/7	
2553	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-3	「2.2 構造概要」について、津波高さを入力津波高さ(EL 11.9m)に適正化しました。また、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の構造概要について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載の構成を変更しました。	2023/4/7	
2554	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)正面図 (新)鳥瞰図	2023/4/7	
2555	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-4 他	平面図について、改良地盤⑤の範囲を適正化しました。	2023/4/7	
2556	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-5	「2.3 評価方針」について、各章番号や章タイトルを適正化しました。	2023/4/7	
2557	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-5 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生応力 (新)発生応力度 (旧)津波時と余震に伴う荷重作用時 (新)津波と余震に伴う荷重作用時	2023/4/7	
2558	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-6	表2.3-1内について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2559	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-6 他	参考資料や他補正申請図書を引用する際の記載方法を統一するために適正化しました。	2023/4/7	
2560	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-7 他	表2.3-2内について、以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、改良地盤の番号を追記しました。 (旧)鉄筋コンクリート版がせん断破壊しないこと。 (新)鉄筋コンクリート版がおおむね弾性状態にとどまること。	2023/4/7	
2561	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-8	表2.3-3内について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化するとともに、評価項目として改良地盤⑤を追加しました。	2023/4/7	
2562	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-9	図2.3-1のフローについて、漂流物対策工を追加するとともに、他補正申請図書と記載を合わせるために、「許容限界の設定」を追加しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2563	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-10 他	本文中に記載された適用規格・基準類について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2564	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-11	表2.4-1内について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2565	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-12,13 他	本文中における記号及び単位について、記載を適正化しました。 また表3.1-1について、本文中に記載された記号の定義と記載を合わせるため、記載を追加もしくは適正化しました。	2023/4/7	
2566	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-14,15	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) また、表3.2.1-1も同様に適正化しました。 (旧)・・・隣接構造物の有無、間接支持される・・・ (新)・・・周辺構造物の有無及び間接支持される・・・	2023/4/7	
2567	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-14	評価対象断面を縦断面図と横断面図に分けて記載しました。	2023/4/7	
2568	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-14,15	衝突荷重の施設全体に作用する荷重について、衝突荷重の作用幅を考慮して設定している旨を追記しました。また、2号機取水路横断面以外の取水路横断面として、1号機取水路横断面を評価対象断面として選定していない理由を追記しました。	2023/4/7	
2569	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-18 他	横断面図(岩級区分図、岩相区分図)について、引き出し線の記載を以下のとおりとし、図の表現を他補正申請図書と統一するため適正化しました。また⑥-⑥断面の岩級区分について、適正化しました。 (旧)防波壁 (新)被覆コンクリート壁	2023/4/7	
2570	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-21 他	構造図について、記載の順番を正面図→断面図にするとともに、右肩に(単位:mm)を追記しました。	2023/4/7	
2571	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-28	他補正申請図書と記載を合わせるため、「3.2.2 評価対象部位」に記載していた評価対象部位と解析手法の関係を、(1)～(3)に記載するように適正化しました。	2023/4/7	
2572	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-28	施設・地盤の健全性評価について、岩盤を追記しました。	2023/4/7	
2573	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-29	遡上津波荷重の算定根拠となる参考文献を追記しました。	2023/4/7	
2574	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-33	他補正申請図書と記載を合わせるため、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)積雪荷重は、発電所に最も近い気象官署である松江地方気象台(松江市)での観測記録(1941～2018年)より、観測史上1位の月最深積雪100cm(1971年2月4日)に平均的な積雪荷重を与えるための係数0.35を考慮した値を基本とし、積雪量1cmごとに20N/m ² の積雪荷重が作用することを考慮し、各施設の積雪面積を乗じて設定する。 (新)積雪荷重として、発電所最寄り気象官署である松江地方気象台(松江市)での観測記録(1941～2018年)より、観測史上1位の月最深積雪100cm(1971年2月4日)に平均的な積雪荷重を与えるための係数0.35を考慮し35cmとする。積雪荷重については、「松江市建築基準法施行細則(平成17年3月31日松江市規則第234号)」により、積雪量1cmごとに20N/m ² の積雪荷重が作用することを考慮し、各施設の積雪面積を乗じて設定する。	2023/4/7	
2575	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-34	荷重作用図に防波壁の天端の標高を追記しました。	2023/4/7	
2576	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-35 他	数式を見やすさの観点から拡大しました。	2023/4/7	
2577	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-36 他	コンクリートの許容せん断応力度を τ_a に適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2578	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-36	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3.4.3 改良地盤及び岩盤 (新)3.4.3 改良地盤	2023/4/7	
2579	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-36 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の許容限界を・・・ (新)止水目地(シートジョイント)の許容限界を・・・	2023/4/7	
2580	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-37	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき、支持力試験により設定する。 (新)VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき設定する。	2023/4/7	
2581	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-38 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)津波時に発生する応力値は、・・・ (新)津波時に発生する応力値及び変位は、・・・	2023/4/7	
2582	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-38 他	「津波水位」や「水位」を「津波高さ」に記載を適正化しました。	2023/4/7	
2583	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-38 他	解析手法の選定フロー図において、マルチスプリング要素のモデル化対象として、D級岩盤はないことから削除しました。	2023/4/7	
2584	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-39 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)材料物性及び地盤物性のばらつき (新)地盤物性のばらつき	2023/4/7	
2585	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-39,40	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) また、「d. 解析ケースの選定」においても同様の記載にし、表4.1.1-1に解析ケース②を追記しました。 (旧)津波時解析における解析ケースの地盤物性を・・・ (新)津波時評価における応力解析の解析ケースの地盤物性を・・・	2023/4/7	
2586	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-40	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照)また、表4.1.1-1に解析ケース②を追記しました。(下線部参照) (旧)・・・すべての評価対象断面において、入力津波に対し、基本ケース・・・ (新)・・・すべての評価対象断面において、「3.3.1 荷重」の遡上津波荷重に対し、基本ケース・・・	2023/4/7	
2587	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-41 他	評価対象断面位置図を追加し、それに伴い図番号を適正化しました。	2023/4/7	
2588	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-42 他	解析モデル図について、他補正申請図書と記載を合わせるため、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2589	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-48	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「参考資料3 多重鋼管杭の許容限界の妥当性」参照 (新)「参考資料1」 多重鋼管杭の許容限界の妥当性」参照	2023/4/7	
2590	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-48 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)線形はり要素 (新)線形はり要素(ビーム要素)	2023/4/7	
2591	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-49	図4.1.1-12の注記のうち、引用している港湾基準について、略称とせずに記載するように適正化しました。	2023/4/7	
2592	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-50	図4.1.1-13について、凡例において改良地盤④を削除するとともに、方位を記載しました。	2023/4/7	
2593	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-51	図4.1.1-14のうち取水路の径について、不要であるため記載を削除しました。	2023/4/7	
2594	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-56 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁 (新)防波壁(多重鋼管杭式擁壁)	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2595	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-60	他補正申請図書と記載を合わせるため、基礎捨石等の解析用物性値を埋戻土(粘性土)で代用する旨を追記しました。	2023/4/7	
2596	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-61	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…せん断方向に対して地震時のせん断荷重を与え、… (新)…せん断方向に対してせん断荷重を与え、…	2023/4/7	
2597	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-65 他	内部摩擦角や物性値等について、記載する桁数を統一しました。	2023/4/7	
2598	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-66	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)保守的に0と設定 (新)保守的にゼロと設定	2023/4/7	
2599	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-73	他補正申請図書と記載を合わせるため、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)中詰コンクリート及びモルタル(充填材) (新)中詰コンクリート、モルタル	2023/4/7	
2600	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-74	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)h. 地盤及び改良地盤の物性値 (新)h. 地盤の物性値	2023/4/7	
2601	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-74	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…設定している物性値を用いる。 (新)…設定している物性値及び「港湾基準」に基づき設定した物性値を用いる。	2023/4/7	
2602	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-74 他	解析用物性値について、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に合わせて記載を適正化しました。	2023/4/7	
2603	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-76 他	他補正申請図書と記載を合わせるため、埋戻土(施設護岸背面)の解析用物性値を追加し、追加に伴い表番号を適正化しました。	2023/4/7	
2604	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-77	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
2605	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-78 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力解析に基づいて算定した発生応力が… (新)応力解析に基づいて算定した発生断面力及び発生応力度が… (旧)杭体 (新)鋼管杭 (旧)せん断力照査 (新)せん断照査	2023/4/7	
2606	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-78	すべり安全率の算定に用いる解析コードについて追記しました。	2023/4/7	
2607	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-82	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の津波時の変形性評価について、法線直交方向及び法線方向ともに、津波時による変位量が許容限界以下であることを確認する。 (新)止水目地(シートジョイント)の津波時の変形性評価は津波時の変位量が許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2608	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-82 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)変位 (新)変位量	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2609	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-82	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…保守的に各ブロックの位相が逆になったことを考慮し、変位量を2倍したものを算定する。 (新)…保守的に 相対変位 量を2倍したものを算定する。	2023/4/7	
2610	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-82	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)x方向(法線直交方向)の変位 $\delta x: \delta x = \delta x \times 2$ z方向(深度方向)の変位 $\delta z: \delta z = \delta z \times 2$ ここで、 δx :x方向の相対変位 δz :z方向の相対変位 (新)x方向(法線直交方向)の 津波時の変位 量 $\delta x: \delta x = \delta x \times 2$ z方向(深度方向)の 津波時の変位 量 $\delta z: \delta z = \delta z \times 2$ ここで、 $\delta x1$:x方向(法線直交方向)の 津波時の相対変位 量 $\delta z1$:z方向(深度方向)の 津波時の相対変位 量	2023/4/7	
2611	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-82	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…変位量を求め、津波時の 止水目地 の変位とする。 (新)…変位量を求め、 止水目地(シートジョイント) の津波時の 最大変位 量とする。	2023/4/7	
2612	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-82	図4.1.1-33について、断面の組合せについて表4.1.1-15で示していることから、断面番号を削除するなど適正化しました。	2023/4/7	
2613	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-83	止水目地の変位量の算定方法について、前頁の記載に合わせて適正化しました。	2023/4/7	
2614	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-83	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)杭先端部 (新)杭下端部	2023/4/7	
2615	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-83 他	曲げモーメント、軸力、せん断力について、照査に用いる値は必ずしも最大値ではないため、maxを削除しました。併せて、その他の記号の記載について、統一するために適正化しました。	2023/4/7	
2616	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-84	岩盤1速度層のせん断強度について、保守的にD級岩盤のせん断強度を用いる旨を追記しました。	2023/4/7	
2617	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-86 他	連続して参照する図の記載方法を統一しました。	2023/4/7	
2618	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-95	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…2次元静的有限要素法によりそれぞれ算定し、余震に伴う… (新)…2次元静的有限要素法によりそれぞれ算定し、 応力値 については、余震に伴う…	2023/4/7	
2619	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-95	重畳時の解析方法の妥当性を確認している旨を、参考資料2を参照して追記しました。	2023/4/7	
2620	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-95	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元動的有限要素法に用いる解析コードは、… (新)2次元動的有限要素法及び2次元静的有限要素法に用いる解析コードは、…	2023/4/7	
2621	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-97	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)Rayleigh減衰を考慮することとし、2次元有限要素法(有効応力解析)では剛性比例型減衰($\alpha=0, \beta=0.002$)を考慮する。 (新)Rayleigh減衰を考慮することとし、剛性比例型減衰($\alpha=0, \beta=0.002$)を考慮する。	2023/4/7	
2622	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-97	地震動の位相の記載について、カッコ書きとする記載に適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2623	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-99 他	加速度応答スペクトルの縦軸について、他補正申請図書と記載を合わせるため、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応答加速度 (新)加速度	2023/4/7	
2624	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-101	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)a. ④-④断面 (新)b. ④-④断面	2023/4/7	
2625	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-102	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)水平成分 (新)鉛直成分	2023/4/7	
2626	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-103	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元地震応答解析 (新)地震応答解析	2023/4/7	
2627	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-105	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)反無限地盤 (新)半無限地盤 (旧)ダッシュボット (新)ダッシュボット上	2023/4/7	
2628	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-108	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の重畳時の変形性評価について、法線直交方向及び法線方向ともに、重畳時による最大変位量が許容限界以下であることを確認する。 (新)止水目地(シートジョイント)の重畳時の変形性評価は、重畳時の変位量が許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2629	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-108	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…保守的に各ブロックの位相が逆になったことを考慮し、時刻歴最大の変位量を… (新)…保守的に最大の相対変位量を…	2023/4/7	
2630	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-108	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…保守的に地震時に於いて変位量が最大となる②-②断面に直交する縦断方向の断面である⑦-⑦断面の相対変位を考慮する。 (新)…保守的に地震時のy方向(法線方向)の相対変位量を考慮する。	2023/4/7	
2631	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-108	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)x方向(法線直交方向)の変位 $\delta x: \delta x = \delta x(T) \times 2$ y方向(法線方向)の変位 $\delta y: \delta y = \delta y(T) $ z方向(深度方向)の変位 $\delta z: \delta z = \delta z(T) \times 2$ ここで、 $\delta x(T)$:x方向の最大相対変位 $\delta y(T)$:y方向の最大相対変位 $\delta z(T)$:z方向の最大相対変位 (新)x方向(法線直交方向)の重畳時の変位量 $\delta x: \delta x = \delta x(T) \times 2$ y方向(法線方向)の重畳時の変位量 $\delta y: \delta y = \delta y(T) $ z方向(深度方向)の重畳時の変位量 $\delta z: \delta z = \delta z(T) \times 2$ ここで、 $\delta x(T)$:x方向(法線直交方向)の重畳時の最大相対変位量 $\delta y(T)$:y方向(法線方向)の地震時の最大相対変位量 $\delta z(T)$:z方向(深度方向)の重畳時の最大相対変位量	2023/4/7	
2632	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-108	図4.1.2-10について、断面の組合せについて表4.1.2-2で示していることから、断面番号を削除するなど適正化しました。	2023/4/7	
2633	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-109	他補正申請図書と記載を合わせるため、止水目地の変位量の算定方法について追記し、適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2634	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-109	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) また、せん断破壊等も含めた同様の文章についても統一するため記載を適正化しました。 (旧)「鋼管杭の曲げ・軸力系破壊に対する最大照査値の地震動・時刻」 (新)「鋼管杭の曲げ・軸力系 の 破壊に対する最大照査値の地震動・時刻」	2023/4/7	
2635	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-110	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表4.2.1-1(1) 強度度評価に用いる条件(②-②断面) (新)表4.2.1-1(1) 強度評価に用いる条件(②-②断面)	2023/4/7	
2636	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-110 他	衝突荷重の値を「3.3.1 荷重」に合わせて適正化するとともに、海水の密度の単位を t/m^3 に適正化しました。	2023/4/7	
2637	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-113	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.3 評価結果 (新)4.3 強度評価結果	2023/4/7	
2638	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-113	照査について、曲げ照査、せん断照査、引張照査で統一するように記載を適正化しました。 また文章の並びについて、他補正申請図書と記載を合わせるため、適正化しました。	2023/4/7	
2639	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-115 他	断面力図の横軸について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(a)曲げモーメント $M_x(\text{kN}\cdot\text{m})$ (b)軸力 $N_x(\text{kN})$ (c)せん断力 $Q_x(\text{kN})$ (新)(a)曲げモーメント $M(\text{kN}\cdot\text{m})$ (b)軸力 $N(\text{kN})$ (c)せん断力 $Q(\text{kN})$	2023/4/7	
2640	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-117 他	破壊履歴図における防波壁の図示について、防波壁の高さを適正化しました。またすべり線及び凡例を適正化しました。	2023/4/7	
2641	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-119 他	曲げモーメントの負号を削除しました。	2023/4/7	
2642	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-119	津波時の鋼管杭の水平支持力の検討について、参考資料3との関連を踏まえて追記しました。	2023/4/7	
2643	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-123 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照)またx及びzの方向の表現を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の・・・ (新)津波時の止水目地(シートジョイント)の・・・ (旧)止水目地の変位量 (新)止水目地(シートジョイント)の変位量に対する照査結果	2023/4/7	
2644	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-124 他	以下のとおり記載を適正化し(下線部参照)、重量時も同様に適正化しました。またx及びzの方向の表現を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の杭先端部に生じる最大軸応力度が極限支持力度以下であることを確認した。 (新)この結果から、防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の杭先端部に生じる軸応力度が極限支持力度以下であることを確認した。	2023/4/7	
2645	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-125	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)渡って (新)わたって	2023/4/7	
2646	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-125,126	他補正申請図書と記載を合わせて、施設護岸等の役割を追記し、表番号を適正化しました。	2023/4/7	
2647	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-134	図4.3.2-6について、漂流物対策工を反映しました。	2023/4/7	
2648	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-135	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)EL 2.0 (新)EL 2.0m	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2649	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-139 他	章構成について、鋼管杭の曲げ照査とせん断照査を合わせて記載するように適正化するとともに、それに併せて文章も適正化しました。	2023/4/7	
2650	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-141 他	図4.3.3-1(1)等の断面力図について、断面力の数値の位置等を適正化しました。	2023/4/7	
2651	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-143	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)2.75 (新)2.73	2023/4/7	
2652	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-145	表4.3.3-4の④-④断面については照査値を記載しないため、「-」を追記しました。	2023/4/7	
2653	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-151	止水目地の重畳時の評価について、法線方向は基準地震動Ssにおける変位量を用いる旨を注記しました。	2023/4/7	
2654	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-152	軸力の単位について、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)N/mm ² (新)kN	2023/4/7	
2655	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-154	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)風荷重・積雪荷重、衝突荷重、遡上津波荷重 (新)風荷重、積雪荷重、衝突荷重及び遡上津波荷重	2023/4/7	
2656	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-155 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)土圧 (新)静止土圧 (旧)水圧 (新)静水圧 (旧)風荷重・積雪荷重 (新)風荷重及び積雪荷重 (旧)2次元有限要素法による常時応力解析 (新)常時応力解析	2023/4/7	
2657	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-158	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼管杭をモデル化したはりの単位体積重量に… (新)鋼管杭をモデル化した線形シェル要素の単位体積重量に… (旧)…漂流物対策工の単位体積重量を考慮する。 (新)…漂流物対策工の重量を考慮する。 (旧)外水圧は… (新)静水圧は…	2023/4/7	
2658	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-158	津波時荷重について、「3.3.1 荷重」に基づく旨に適正化しました。	2023/4/7	
2659	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-159	3次元構造解析の重畳時において考慮する荷重の保守性について、参考資料7と紐づけて追記しました。	2023/4/7	
2660	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-161 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) 津波時 (新)5.2.1 津波時	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2661	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-162	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応答加速度の正負の方向とする。 (新)応答加速度の正負の方向とし、3次元構造解析モデルの要素の高さ位置に合わせ、全要素に入力する。	2023/4/7	
2662	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-166 他	応答加速度分布のうち④-④断面について、海側杭と陸側杭をそれぞれ記載し、図番号を適正化しました。	2023/4/7	
2663	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-175	「(1)構造物のモデル化」について、他補正申請図書と記載を合わせて、文章の並びを適正化するとともに、漂流物対策工のモデル化の考え方について追記しました。	2023/4/7	
2664	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-184	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)多重鋼管杭の使用材料は、・・・ (新)鋼管杭の使用材料は、・・・	2023/4/7	
2665	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-185	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3次元構造解析より得られた曲げモーメント及び軸力より算定される曲げ応力並びにせん断力より算定されるせん断応力が「3.4 許容限界」で設定した許容限界以下であることを確認する。 (新)被覆コンクリート壁の評価は、3次元構造解析より得られた曲げモーメント及び軸力より算定される曲げ圧縮応力及び曲げ引張応力並びにせん断力より算定されるせん断応力が「3.4 許容限界」で設定した許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2666	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-188	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)5.5 評価結果 (新)5.5 <u>3次元構造解析結果</u>	2023/4/7	
2667	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-192 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・照査における最大照査値 (新)・・・照査における評価対象位置と照査値	2023/4/7	
2668	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-194 他	3次元構造解析における断面力をM', N', Q' に適正化しました。(断面力図含む)	2023/4/7	
2669	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-194 他	応力度の桁数について、「(4) 評価結果一覧」に合わせて適正化しました。	2023/4/7	
2670	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-200 他	以下のとおり記載を適正化し(下線部参照)、同様の文章についても統一するため記載を適正化しました。 (旧)この結果から、被覆コンクリート壁の発生応力が許容限界以下であることを確認した。 (新)この結果から、コンクリート及び鉄筋の発生応力度が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
2671	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.2-209	軸力の負号を削除しました。	2023/4/7	
2672	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-6 他	④-④断面の4重管部(海側杭)の照査値について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)0.05 (新)0.04	2023/4/7	
2673	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・津波作用時の応答解析を実施する。 (新)・・・津波作用時の応力解析を実施する。	2023/4/7	
2674	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-2 他	ステップ解析の結果及びせん断ひずみ分布について、誤りがあったため適正化しました。 またせん断ひずみ分布及び過剰間隙水圧比分布について、施設護岸等の引き出し線を追記しました。	2023/4/7	
2675	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-3	ステップ解析の考察について、改良地盤⑤等の役割を踏まえて、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2676	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)3-3	鋼管杭海側の岩盤を通るすべり線を考慮しない理由を追記しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2677	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.2 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)3-4	主応力図の凡例を適正化しました。	2023/4/7	
2678	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.目1~3	目次のタイトル及びページ番号を適正化しました。	2023/4/7	
2679	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-1	「1. 概要」について、以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、漂流物対策工については別の補足説明資料にて説明することを追記しました。(下線部参照) (旧)当たっては (新)あたっては (旧)基礎地盤の支持性能評価では、地震応答解析により基礎地盤に… (新)基礎地盤の支持性能評価では、基礎地盤に…	2023/4/7	
2680	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-2	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)範囲 (新)位置図	2023/4/7	
2681	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-3	本文中に図2.2-8を追記しました。	2023/4/7	
2682	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-3,10	図2.2-9及び図2.2-10の図番号統一に伴い、図番号及び本文の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2683	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)入力津波高さ(EL 12.6m) (新)入力津波高さ(EL 11.9m)	2023/4/7	
2684	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-3 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁 (新)防波壁(逆T擁壁)	2023/4/7	
2685	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-3	「2.2構造概要」について、支持性能、漂流物対策工及び止水目地の記載を追記し、他補正申請図書と記載内容を合せました。	2023/4/7	
2686	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-4	図2.2-1について、漂流物対策工及び標高を追記しました。また、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)東 西 (新)陸 海	2023/4/7	
2687	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-4	図2.2-2について、漂流物対策工及び止水目地を追記しました。	2023/4/7	
2688	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-5	図2.2-3について、単位を追記しました。	2023/4/7	
2689	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-5, (参考)1-5, 1-36	図2.2-4について、漂流物対策工を追記しました。	2023/4/7	
2690	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-8, (参考)1-4	図2.2-7について、単位を追記し、また鋼管杭の表記を削除しました。	2023/4/7	
2691	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-10	図2.2-9について、止水目地の概念図と配置位置図を一体化、直交方向の定義を追記しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2692	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-11 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生応力 (新)発生応力度 (旧)変形量 (新)変位量	2023/4/7	
2693	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-11	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)許容限界を下回る (新)許容限界以下である	2023/4/7	
2694	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-12	表2.3-1について、逆T擁壁の役割を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地を支持する (新)止水目地及び漂流物対策工を支持する	2023/4/7	
2695	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-12~14	表2.3-1、表2.3-2、表2.3-3について、施設の部位に、「漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)及び漂流物対策工(鋼材)」を追記しました。	2023/4/7	
2696	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-12,13	表2.3-1及び表2.3-2について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤 (新)改良地盤①~③	2023/4/7	
2697	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-12,229	表2.3-1について、埋戻土、施設護岸、基礎捨石、被覆石及び捨石の地震時の役割を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)(解析モデルに取り込み、防波壁への相互作用を考慮する) (新)(解析モデルに反映し、防波壁(逆T擁壁)への相互作用を考慮する)	2023/4/7	
2698	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-12	表2.3-1の埋戻土の津波時の役割を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁 (新)防波壁(逆T擁壁)	2023/4/7	
2699	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-13	表2.3-2について、止水目地の耐津波性を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁から (新)逆T擁壁間から	2023/4/7	
2700	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-13	表2.3-2について、グラウンドアンカの記載を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)設計アンカー力 (新)許容アンカー力	2023/4/7	
2701	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-14	表2.3-3について、逆T擁壁の止水性の記載を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ、軸力、せん断力、アンカーによる支圧力、隣接する躯体同士の支圧力が許容限界以下 (新)曲げ応力、せん断力及びグラウンドアンカによる支圧力が許容限界以下	2023/4/7	
2702	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-15	図2.3-1について、耐震評価フローにどの章で説明する内容か追記しました。また、漂流物対策工を追加しました。	2023/4/7	
2703	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-16,17 他	「2.4 適用規格・基準等」について、(社)及び「建築基準法・同施行令」を追記しました。 また、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)港湾の施設の技術上の基準・同解析(社)日本港湾協会、H19年版) (新)港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局、2007年版)	2023/4/7	
2704	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-17	表2.4-1について、基礎地盤及び鋼管杭の記載を削除しました。 また、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)発生アンカー力が、テンダンの許容引張力、許容拘束力及び許容引抜き以下であることを確認。 (新)発生アンカー力が、許容アンカー力以下であることを確認	2023/4/7	
2705	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-18	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「1.8 浸水防護施設の設計における評価対象断面の選定について」 (新)「1.8 浸水防護施設の設計における評価対象断面の選定」	2023/4/7	
2706	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-18	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)隣接構造物の有無、間接支持される機器・配管系 (新)圍込構造物の有無及び間接支持される機器・配管系	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2707	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-18	変形性評価において、⑦-⑦断面を選定する理由を追記しました。	2023/4/7	
2708	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-19,68	図3.1-1について、地盤改良①～③の凡例色を適正化し、また注記を追記しました。	2023/4/7	
2709	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-20～22	図3.1-3～図3.1-8について、②-②断面、③-③断面、⑥-⑥断面を追加しました。また、横断面図に漂流物対策工を追加しました。	2023/4/7	
2710	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-23	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元有限要素法盤析 (新)2次元有限要素法	2023/4/7	
2711	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-23	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)線形はり要素 (新)線形はり要素(ビーム要素)	2023/4/7	
2712	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-23	図3.2.1-1について、マルチスプリング要素のモデル化対象として、D級岩盤はないことから削除しました。また、海底堆積物・崖錐堆積物を追加しました。	2023/4/7	
2713	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-24	文章中において、漂流物対策工について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)漂流物対策工は、逆T擁壁の堅壁に設置した鉄筋コンクリート造の構造物であり、堅壁の剛性と同等であることから、重量のみを考慮する。 (新)漂流物対策工は、逆T擁壁に固定して設置することから、漂流物対策工設置位置に漂流物対策工の重量を考慮する。	2023/4/7	
2714	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-24	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3.2.3 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)3.2.3 地盤物性のばらつき	2023/4/7	
2715	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-25	減衰定数について、他補正申請図書と記載内容を合せました。	2023/4/7	
2716	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-26	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)全て (新)すべて	2023/4/7	
2717	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-26 他	施設護岸、基礎捨石等(以下「施設護岸等」という。)と定義し、それ以降は記載を簡略化しました。	2023/4/7	
2718	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-26 他	表3.2.5-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)++ (新)〔++〕	2023/4/7	
2719	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-27	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)積雪及び風の荷重を考慮する。 (新)積雪荷重及び風荷重を考慮する。	2023/4/7	
2720	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-27,28	「3.2.2 荷重」及び「3.3.3 荷重の組合せ」について、固定荷重(G)にグラウンドアンカの初期緊張力を追加しました。追加に伴い、固定荷重(Ga)を削除し、項の番号を適正化しました。	2023/4/7	
2721	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-27 他	引用文献に「」を付けました。	2023/4/7	
2722	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-28	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時荷重 (新)地震時荷重(基準地震動S _s)	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2723	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-29	図3.4-1について、標高の記載位置を適正化しました。	2023/4/7	
2724	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-30 他	加速度時刻歴波形について、時刻を小数点2桁まで表示していたのを整数表記に修正しました。	2023/4/7	
2725	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-32 他	図3.4.1-3において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)水平成分: S_s-F1_EW 方向 (新)水平成分: S_s-F1 (旧)水平成分: S_s-F2_EW 方向 (新)水平成分: S_s-F2	2023/4/7	
2726	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-38 他	図3.4.1-9において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)水平成分: S_s-N2_NS 方向 (新)水平成分: $S_s-N2(NS)$ (旧)水平成分: S_s-N2_EW 方向 (新)水平成分: $S_s-N2(EW)$	2023/4/7	
2727	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-68~92	他補正申請図書と記載を合わせるため、評価対象断面位置図を記載しました。追加に伴い、図番号を適正化しました。	2023/4/7	
2728	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-69~71	地質断面図に漂流物対策工を追加しました。	2023/4/7	
2729	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-73	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)JEAG4601-1987 (新)「原子力発電所耐震設計技術指針JEAG4601-1987(社)日本電気協会」	2023/4/7	
2730	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-73	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元地震応答解析 (新)地震応答解析	2023/4/7	
2731	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-74	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)當時の常時応力 (新)常時応力	2023/4/7	
2732	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-75	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)反無限地盤 (新)半無限地盤 (旧)ダッシュポット (新)ダッシュポット	2023/4/7	
2733	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-76	本文において、「コンクリート標準示方書(2002)」と定義し、それ以降は記載を簡略化しました。	2023/4/7	
2734	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-77	図3.5.1-15の左図において、軸心位置を追記しました。	2023/4/7	
2735	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-81	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)流出した場合の耐震評価を行う。 (新)これらが無い場合の耐震評価を行う。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2736	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	PP.	他補正申請図書と記載を合わせるため、「ジョイント要素(水平方向)の物性値設定に用いる静止摩擦係数」の順番を入れ替えました。追加に伴い、図書号を適正化しました。	2023/4/7	
2737	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-92	表3.5.1-3において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)kN/m ³ (新)kN/m ² (旧)目地部であるため、せん断剛性を保守的にゼロに設定。 (新)せん断剛性を保守的にゼロに設定	2023/4/7	
2738	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-93	「「5.3 ⑤-⑤断面位置でのグラウンドアンカ仕様を反映した影響検討」において」を追記しました。	2023/4/7	
2739	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-93	表3.5.2-1において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)引張力 (新)引張力	2023/4/7	
2740	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-94, (参考)1-41	表3.5.2-3において、⑦-⑦断面の注記を追加しました。	2023/4/7	
2741	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-98	改良地盤①～③の品質確認試験結果を踏まえた影響検討について、逆T擁壁の照査値に与える影響が軽微な理由を追記しました。	2023/4/7	
2742	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-99～101, 260	解析用物性値の表について、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に合わせて記載を適正化しました。	2023/4/7	
2743	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-101	他補正申請図書と記載を合わせるため、埋戻土(施設護岸背面)の解析用物性値を追加し、追加に伴い表番号を修正しました。	2023/4/7	
2744	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-101	表3.5.3-5において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤①・② (新)改良地盤①、②	2023/4/7	
2745	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-102	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
2746	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-102	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)構造上の特徴 (新)構造的特徴や周辺状況の特徴	2023/4/7	
2747	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-104	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤の許容限界は、「耐津波設計に係る工認審査ガイド」を準用し、表3.7.3-1に示すすべり安全率を設定する。 (新)改良地盤の許容限界は、「耐津波設計に係る工認審査ガイド(平成25年6月19日、原管地発第1306196号)」を準拠し、すべり安全率とする。表3.7.3-1に改良地盤の許容限界を示す。	2023/4/7	
2748	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-104	表3-7について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)止水目地(ゴムジョイント) (旧)許容限界 ゴムジョイント:449、シートジョイント:1960 (新)許容限界 449	2023/4/7	
2749	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-104 他	表3.7.5-11について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力 (新)極限支持力度	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2750	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-105,106	他補正申請図書と記載を合わせるため、曲げ照査とせん断照査の項を分けました。それに伴い項の番号を適正化しました。 また、照査について、曲げ照査、せん断照査、引張照査で統一するように記載を適正化しました。	2023/4/7	
2751	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-109	「(3)逆T擁壁の底版の傾斜の照査」を追加しました。	2023/4/7	
2752	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-110	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)すべり面 (新)すべり線上 (旧)せん断力の和で除した値を時々刻々求め、 (新)せん断力の和で除した値を求め、	2023/4/7	
2753	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-110	すべり安全率の算定に用いる解析コード及びすべり安全率算定フローを追記しました。 ばらつきを考慮した評価を実施しない旨を削除しました。	2023/4/7	
2754	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-111~113	改良地盤の想定すべり線を追加しました。	2023/4/7	
2755	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-114	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の地震時の評価について、 <u>法線直角方向及び法線方向</u> ともに、地震荷重による最大変位が許容限界以下であることを確認する。 (新)止水目地の地震時の変形性評価は、 <u>地震時の最大変位量が許容限界以下であることを確認する。</u>	2023/4/7	
2756	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-114	以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、変位量、相対変位量の使い分けについて、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)変位 (新)変位量	2023/4/7	
2757	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-114	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) $\delta x(T)$:x方向の最大変位 $\delta y(T)$:y方向の最大変位 $\delta z(T)$:z方向の最大変位 (新) $\delta x(T)$:x方向(法線直交方向)の最大相対変位量 $\delta y(T)$:y方向(法線方向)の最大相対変位量 $\delta z(T)$:z方向(深度方向)の最大相対変位量	2023/4/7	
2758	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-114	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・地震荷重による最大変位とする。 (新)・・・ <u>地震時の荷重による最大変位量とする。</u>	2023/4/7	
2759	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-115	他補正申請図書と記載を合わせるため、止水目地の変位量の算定方法を追記しました。	2023/4/7	
2760	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-116	表4.1-1について、解析ケースを追記しました。	2023/4/7	
2761	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-116,150,159,230	表4.1-1の基礎地盤の評価において、「全地震動において」を追記しました。	2023/4/7	
2762	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-116 他	照査結果について、照査値の有効桁を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2763	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-117 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁の曲げ・軸力系の破壊に対する照査 (新)逆T擁壁の曲げ照査 (旧)逆T擁壁のコンクリートの曲げ圧縮照査における実施ケースと照査値 (新)コンクリートの曲げ・軸力系の破壊に対する照査における実施ケースと照査値 (旧)逆T擁壁のコンクリートの曲げ圧縮照査 (新)コンクリートの曲げ圧縮応力度に対する照査値	2023/4/7	
2764	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-118 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁の鉄筋の曲げ引張照査実施ケースと照査値 (新)コンクリートの曲げ・軸力系の破壊に対する照査における実施ケースと照査値 (旧)逆T擁壁の鉄筋の曲げ引張照査 (新)鉄筋の曲げ引張応力度に対する照査値	2023/4/7	
2765	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-118 他	表4.1.1-2について、「解析ケース①において、」を追記しました。	2023/4/7	
2766	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-123 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁のせん断破壊に対する照査 (新)逆T擁壁のせん断照査 (旧)逆T擁壁のせん断破壊に対する照査における実施ケースと照査値 (新)コンクリートのせん断破壊に対する照査における実施ケースと照査値 (旧)逆T擁壁のせん断力照査 (新)逆T擁壁のせん断応力度に対する照査値	2023/4/7	
2767	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-126	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁のグラウンドアンカによる支圧に対する照査 (新)逆T擁壁のグラウンドアンカによる支圧照査 (旧)グラウンドアンカの支圧 (新)グラウンドアンカの支圧応力度	2023/4/7	
2768	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-132 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤のすべりに対する照査 (新)改良地盤のすべり安全率による評価 (旧)改良地盤のすべりに対する照査における実施ケースと照査値 (新)改良地盤のすべり安全率による評価の実施ケースとすべり安全率	2023/4/7	
2769	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-141	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)断面力分布(逆T擁壁の曲げ・軸力系に対する照査) (新)逆T擁壁の曲げ照査	2023/4/7	
2770	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-142	表4.1.2-1～表4.1.2-3について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げモーメント (新)曲げモーメントM (旧)軸力 (新)軸力N	2023/4/7	
2771	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-142 他	照査結果について、記載する発生断面力を絶対値に適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2772	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-143~145	図4.1.2-1~図4.1.2-3について、断面力図を適正化しました。	2023/4/7	
2773	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-146	題目、表4.1.3-1及び表4.1.3-3について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)断面力分布(逆T擁壁のせん断破壊に対する照査) (新)逆T擁壁のせん断照査 (旧)せん断力 (新)せん断力 Q	2023/4/7	
2774	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-150,159	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)各施設の照査値 (新)各施設(逆T擁壁、グラウンドアンカ及び基礎地盤)の照査値	2023/4/7	
2775	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-168他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ・軸力照査 (新)曲げ照査 (旧)曲げ圧縮 (新)曲げ圧縮応力度	2023/4/7	
2776	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-177	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)グラウンドアンカによる支圧応力度に対する照査 (新)グラウンドアンカによる支圧照査 (旧)逆T擁壁の主部材の発生応力度 (新)逆T擁壁のグラウンドアンカによる支圧応力度	2023/4/7	
2777	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-184~200	以下のとおり記載を適正化するに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) グラウンドアンカの発生アンカー力に対する照査 (新)4.3.1 グラウンドアンカの発生アンカー力に対する照査	2023/4/7	
2778	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-184 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)テンドンの許容拘束力 T_{ab} (新)許容アンカー力 T_a (旧)照査値 T/Tab (新)照査値 T/Te	2023/4/7	
2779	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-20,212	以下のとおり記載を適正化するに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) 評価結果 (新)4.4.1 評価結果 (旧)(1)及び(2)より (新)「4.4.1 評価結果」及び「4.4.2 局所破壊が津波防護機能へ及ぼす影響について」より	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2780	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-213~218	表4.5-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) また、変位量はmm表記に変更しました。 (旧)止水目地 (新)止水目地(ゴムジョイント) (旧)横断方向 (新)法線直交方向 (旧)鉛直方向 (新)深度方向 (旧)止水目地の変形性評価に対する (新)止水目地の変位量に対する	2023/4/7	
2781	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-217	表4.5-4について、地震時変位量の有効桁を適正化しました。	2023/4/7	
2782	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-218	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)S _s -D(-十) (新)S _s -D(-二) (旧)1960(シートジョイント) (新)449	2023/4/7	
2783	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-219~224	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力 (新)極限支持力度 (旧)P (新)E	2023/4/7	
2784	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-225	他補正申請図書と記載内容を合わせるために、表4.6-7~表4.6-9を削除しました。	2023/4/7	
2785	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-225~227	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)支持地盤 (新)基礎地盤	2023/4/7	
2786	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-228~246	以下のとおり記載を適正化するのに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)4(1) 概要 (新)4.7.1 概要	2023/4/7	
2787	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-228	図4.7.1-1の波返重力擁壁と多重鋼管杭式擁壁の延長を修正しました。また、本文について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)違って (新)わたって	2023/4/7	
2788	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-232 他	表4.7.3-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「4. 評価結果」 (新)「4. 耐震評価結果」	2023/4/7	
2789	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-247	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鋼管杭をモデル化した場合の影響検討を実施する。 (新)鋼管杭を残置することによる逆T擁壁への悪影響の有無を確認するため、杭頭載荷実験等を踏まえて鋼管杭をモデル化した影響検討を実施し、基準地震動S _s に対して、防波壁(逆T擁壁)の浸水防護機能が喪失しないことを確認する。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2790	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-248 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「(参考資料2)2. 杭頭載荷実験」に示す実験結果及び「(参考資料2)3. 3次元静的FEM解析による実験の再現解析」に示す解析結果 (新)「(参考資料2)鋼管杭の影響検討について」に示す実験結果及び解析結果 (旧)2次元FEM解析 (新)2次元有限要素法の (旧)浸水防護機能 (新)津波防護機能	2023/4/7	
2791	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-251, (参考)2-18,2-21	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)示方書(2018)p.51より (新)「コンクリート標準示方書(2002)」より	2023/4/7	
2792	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-252	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「コンクリート標準示方書[構造的能照査編](土木学会, 2002年制定)」 (新)「コンクリート標準示方書(2002)」 (旧)「杭基礎設計便覧(日本道路協会, 2007年制定)」 (新)「杭基礎設計便覧(日本道路協会, 2007年制定)」(以下「杭基礎設計便覧」という。)	2023/4/7	
2793	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-255,256	表5.1.2-1について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)応力度 (新)発生応力度 (旧)許容応力度 (新)短期許容応力度	2023/4/7	
2794	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-259~264	以下のとおり記載を適正化するのに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)5.2(1) 概要 (新)5.2.1 概要	2023/4/7	
2795	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-265~272	以下のとおり記載を適正化するのに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)5.3(1) 概要 (新)5.3.1 概要	2023/4/7	
2796	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-265	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)耐津波評価 (新)耐震評価	2023/4/7	
2797	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.3-272	図4-7及び図4-9について、解析ケースを以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカー仕様を用いたと想定した (新)アンカー仕様を反映した	2023/4/7	
2798	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-1	下記の文章を削除しました。 「グラウンドアンカを反映した耐震評価及び耐津波評価は、今後、「補足-027-08 浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料」のうち、「防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」にて説明する。」	2023/4/7	
2799	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-3	表4-16について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(2000, 2012, 地盤工学会)」(以下「設計・施工基準」) (新)「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(2000, 2012, (社)地盤工学会)」(以下「設計・施工基準」という。)	2023/4/7	
2800	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-46	解析コードとして、「FLIP」を使用していることを追記しました。	2023/4/7	
2801	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)道路土工擁壁工指針及び道路橋示方書 (新)「道路土工擁壁工指針(社)日本道路協会, 1999年3月」及び「道路橋示方書・同解説(IV 下部構造編)(社)日本道路協会, 2017年12月)」	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2802	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-26	以下の記載を追記しました。 「なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。」	2023/4/7	
2803	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-35～43	以下のとおり記載を適正化するのに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) 逆T擁壁への影響について (新)5.1.1 逆T擁壁への影響について	2023/4/7	
2804	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)3-1 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)添付書類「VI-2-1-3地盤の支持性能に係る基本方針」 (新)VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」	2023/4/7	
2805	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)3-2	図2.2-1の改良地盤①～③の平面配置図について、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」の図に差し替えました。また、図2.2-2の改良地盤①～③の配置図について、岩級図に変更しました。	2023/4/7	
2806	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.目-1,2	目次のタイトル及びページ番号を適正化しました。	2023/4/7	
2807	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-1	「1. 概要」について、以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、漂流物対策工については別の補足説明資料にて説明することを追記しました。 (旧)防波壁(逆T擁壁)が津波荷重 (新)防波壁(逆T擁壁)が地震後の繰返しの来襲を想定した津波	2023/4/7	
2808	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-2	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)範囲 (新)位置図	2023/4/7	
2809	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-3	本文中に図2.2-8を追記しました。	2023/4/7	
2810	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-3,10	図2.2-9及び図2.2-10の図番号統一に伴い、図番号及び本文の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2811	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)入力津波高さ(EL 12.6m) (新)入力津波高さ(EL 11.9m)	2023/4/7	
2812	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-3 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁 (新)防波壁(逆T擁壁)	2023/4/7	
2813	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-3	「2.2構造概要」について、支持性能、漂流物対策工及び止水目地の記載を追記し、他補正申請図書と記載内容を合せました。	2023/4/7	
2814	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-4	図2.2-1について、漂流物対策工及び標高を追記しました。また、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)東 西 (新)陸 海	2023/4/7	
2815	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-4	図2.2-2について、漂流物対策工及び止水目地を追記しました。	2023/4/7	
2816	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-5	図2.2-3について、単位を追記しました。	2023/4/7	
2817	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-5	図2.2-4について、漂流物対策工を追記しました。	2023/4/7	
2818	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-8	図2.2-7について、単位を追記し、また鋼管杭の表記を削除しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2819	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-10	図2.2-9について、止水目地の概念図と配置位置図を一体化、直交方向の定義を追記しました。	2023/4/7	
2820	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-11	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「3. 強度評価方法」 (新)「3. 強度評価」 (旧)「5. 評価結果」 (新)「5. 強度評価結果」	2023/4/7	
2821	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-11	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)津波の作用方向や伝達過程を考慮し、評価対象部位を設定する。強度評価に用いる荷重及び荷重の組合せは、津波に伴う荷重作用時(以下「津波時」という。)について行う。 (新)津波に伴う荷重作用時(以下「津波時」という。)の作用方向や伝達過程を考慮した評価対象部位を設定し、・・・	2023/4/7	
2822	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-11	重畳時の検討を実施しない旨を追記しました。	2023/4/7	
2823	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-12	表2.3-1について、逆T擁壁の役割を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地を支持する (新)止水目地及び漂流物対策工を支持する	2023/4/7	
2824	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-12~15	表2.3-1、表2.3-2、表2.3-3について、施設の部位に、「漂流物対策工(鋼材)」を追記しました。	2023/4/7	
2825	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-12,14	表2.3-1及び表2.3-2について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤 (新)改良地盤①~③	2023/4/7	
2826	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-12,110	表2.3-1について、埋戻土、施設護岸、基礎捨石、被覆石及び捨石の地震時の役割を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)(解析モデルに取り込み、防波壁への相互作用を考慮する) (新)(解析モデルに反映し、防波壁(逆T擁壁)への相互作用を考慮する)	2023/4/7	
2827	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-12	表2.3-1の埋戻土の津波時の役割を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁 (新)防波壁(逆T擁壁)	2023/4/7	
2828	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-12	表2.3-2について、止水目地の耐津波性を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁から (新)逆T擁壁間から	2023/4/7	
2829	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-13	表2.3-2について、グラウンドアンカの記載を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)設計アンカー力 (新)許容アンカー力	2023/4/7	
2830	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-13	表2.3-2について、グラウンドアンカの記載を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)鉄筋コンクリート版がせん断破壊しないこと。 (新)鉄筋コンクリート版がおおむね弾性状態にとどまること。	2023/4/7	
2831	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-15	表2.3-3について、逆T擁壁の止水性の記載を以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ、軸力、せん断力、アンカーによる支圧力、隣接する躯体同士の間支圧力)が許容限界以下 (新)曲げ応力、せん断応力及びグラウンドアンカによる支圧力)が許容限界以下	2023/4/7	
2832	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-16	図2.3-1について、強度評価フローにどの章で説明する内容か追記しました。また、漂流物対策工を追加しました。	2023/4/7	
2833	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-17,18 他	「2.4 適用規格・基準等」について、(社)及び「建築基準法・同施行令」を追記しました。 また、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)港湾の施設の技術上の基準・同解説((社)日本港湾協会, H19年版) (新)港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局, 2007年版)	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2834	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-18	表2.4-1について、基礎地盤及び鋼管杭の記載を削除しました。 また、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)発生アンカー力が、テンドンの許容引張力、許容拘束力及び許容引抜力以下であることを確認。 (新)発生アンカー力が、許容アンカー力以下であることを確認	2023/4/7	
2835	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-19,27,78~80	「3.1 記号の定義」及び「3.3.1 荷重」について、固定荷重(G)にグラウンドアンカの初期緊張力を追加するのに伴い、固定荷重(Ga)を削除しました。	2023/4/7	
2836	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-19,78~80	表3.1-1において、以下のとおり記載を適正化し、Taとδを追加しました。(下線部参照) (旧)積載荷重 (新)積載荷重(機器荷重、漂流物対策工荷重) (旧)コンクリートの許容曲げ圧縮応力度 (新)コンクリートの短期許容曲げ圧縮応力度 他 (旧)止水目地のx方向の変位 (新)x方向(法線直交方向)の変位量 他 (旧)逆T擁壁天端におけるx方向の変位 (新)x方向(法線直交方向)の最大相対変位量 他	2023/4/7	
2837	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-20 他	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁 (新)防波壁(逆T擁壁)	2023/4/7	
2838	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-20	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)構造的特徴、周辺地盤状況、地下水位及び入力津波 (新)構造的特徴、周辺地盤状況、地下水位、周辺構造物の有無、間接支持される機器・配管系の有無	2023/4/7	
2839	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-20~26	他補正申請図書と記載を合わせるため、評価対象断面位置図を記載しました。追加に伴い、図番号を適正化しました。	2023/4/7	
2840	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-23~26	図3.2.1-4~図3.2.1-9について、②-②断面、③-③断面、⑥-⑥断面を追加しました。 また、横断面図に漂流物対策工を追加しました。	2023/4/7	
2841	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-27	「日本海東縁部に想定される地震による津波(津波水位EL 12.6m)」を遡上津波荷重として考慮する旨を追記しました。また、朝倉式による遡上津波荷重の考慮に関する記載を適正化しました。	2023/4/7	
2842	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-29	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)延長16m (新)ブロック延長16.00m 他	2023/4/7	
2843	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-30	風荷重及び積雪荷重の記載を耐震の補足説明資料と合わせました。	2023/4/7	
2844	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-31, 112	図中において、標高を記載しました。	2023/4/7	
2845	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-32	本文において、「コンクリート標準示方書(2002)」と定義しました。	2023/4/7	
2846	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-33	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤の許容限界は、「耐津波設計に係る工認審査ガイド」を準用し、表3.4.3-1に示すすべり安全率を設定する。 (新)改良地盤の許容限界は、「耐津波設計に係る工認審査ガイド(平成25年6月19日、原管地発第1306196号)」を準拠し、すべり安全率とする。表3.4.3-1に改良地盤の許容限界を示す。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2847	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-33	表3.4.4-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)止水目地(ゴムジョイント) (旧)変形量 (新)変位量 (旧)許容限界 ゴムジョイント:449, シートジョイント:1960 (新)許容限界 449	2023/4/7	
2848	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-33	表3.4.5-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力 (新)極限支持力度	2023/4/7	
2849	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-34	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応答値 (新)応力値及び変位 (旧)津波水位EL 12.6mを作用させる (新)津波水位EL 12.6mの位置に作用させる	2023/4/7	
2850	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-34	図3.5.1-1について、マルチスプリング要素のモデル化対象として、D級岩盤はないことから削除しました。 また、海底堆積物・崖錐堆積物を追加しました。	2023/4/7	
2851	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-35,36	他補正申請図書と記載を合わせるため、「(2)施設」を追加しました。それに伴い、項の番号を適正化しました。	2023/4/7	
2852	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-35	耐津波評価の照査値が十分な裕度を有している旨を追記しました。	2023/4/7	
2853	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-36	文章中において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)耐津波解析では、全ての評価対象断面において、 (新)強度評価においては、すべての評価対象断面において、	2023/4/7	
2854	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-36	施設護岸、基礎捨石等(以下「施設護岸等」という。)と定義付けました。	2023/4/7	
2855	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-37~67	他補正申請図書と記載を合わせるため、評価対象断面位置図を追加し、解析モデル及び地質断面図の順番を入れ替えました。それに伴い、図番号を適正化しました。	2023/4/7	
2856	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-42	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(b) 津波時 (新)(b) 応力解析時	2023/4/7	
2857	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-43 他	引用文献に「」を付けました。	2023/4/7	
2858	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-44	図3.5.2-11の左図において、軸心位置を追記しました。	2023/4/7	
2859	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-48	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)流出した場合の耐津波評価を行う。 (新)これがない場合の耐津波評価を行う。	2023/4/7	
2860	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-53	他補正申請図書と記載を合わせるため、「ジョイント要素(水平方向)の物性値設定に用いる静止摩擦係数」の順番を入れ替えました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2861	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-59	表3.5.2-3において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) kN/m^3 (新) kN/m^2	2023/4/7	
2862	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-60	「6.2 ⑤-⑤断面位置でのグラウンドアンカ仕様を反映した影響検討」において」を追記しました。	2023/4/7	
2863	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-60	表3.5.2-1において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 引張リ力 (新) 引張力	2023/4/7	
2864	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-64~66	解析用物性値の表について、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に合わせて記載を適正化しました。	2023/4/7	
2865	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-66	他補正申請図書と記載を合わせるため、埋戻土(施設護岸背面)の解析用物性値を追加し、追加に伴い表番号を修正しました。	2023/4/7	
2866	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-66	表3.5.2-11において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 改良地盤①・② (新) 改良地盤①、②	2023/4/7	
2867	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-67	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 地下水位 (新) 設計地下水位	2023/4/7	
2868	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-68	他補正申請図書と記載を合わせるため、曲げ照査とせん断照査の項を分けました。それに伴い項の番号を適正化しました。 また、照査について、曲げ照査、せん断照査、引張照査で統一するように記載を適正化しました。	2023/4/7	
2869	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-72	本文において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照)また、すべり安全率の算定に用いる解析コードを追記しました。 (旧) すべり面 (新) すべり線上	2023/4/7	
2870	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-76	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧) 止水目地の津波時の評価について、津波時による変位が許容限界以下であることを確認する。 (新) 止水目地の津波時の変形性評価は、津波時の変位量が許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2871	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-76	以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、変位量、相対変位量の使い分けについて、記載を適正化しました。 (旧) 変位 (新) 変位量	2023/4/7	
2872	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-76	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) $\delta x1$: 逆T擁壁天端におけるx方向の変位 $\delta z1$: 逆T擁壁天端におけるz方向の変位 (新) $\delta x1$: x方向(法線直交方向)の最大相対変位量 $\delta z1$: z方向(深度方向)の最大相対変位量 (旧) 変位量 (新) 最大変位量	2023/4/7	
2873	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-78~80	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) …海水の密度 ton/m^3 (新) …海水の密度 t/m^3	2023/4/7	
2874	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-80 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 逆T擁壁の曲げ圧縮照査における最大照査値 (新) コンクリートの曲げ・軸力系の破壊に対する照査における最大照査値	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2875	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-80,81	表5.1.1-1~表5.1.1-6について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げモーメント (新)曲げモーメント M (旧)軸力 (新)軸力 N	2023/4/7	
2876	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-80 他	照査結果について、照査値の有効桁を適正化しました。また、記載する発生断面力を絶対値に適正化しました。	2023/4/7	
2877	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-81 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁の曲げ引張照査における最大照査値 (新)鉄筋の曲げ・軸力系の破壊に対する照査における最大照査値	2023/4/7	
2878	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-82 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁のせん断力照査における最大照査値 (新)コンクリートのせん断破壊に対する照査における最大照査値	2023/4/7	
2879	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-83~85	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁のせん断力照査における最大照査値 (新)コンクリートのせん断破壊に対する照査における最大照査値	2023/4/7	
2880	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-82 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁のせん断力照査における最大照査値 (新)コンクリートのせん断破壊に対する照査における最大照査値	2023/4/7	
2881	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-82 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁のせん断力照査における最大照査値 (新)コンクリートのせん断破壊に対する照査における最大照査値	2023/4/7	
2882	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-82 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)逆T擁壁のせん断力照査における最大照査値 (新)コンクリートのせん断破壊に対する照査における最大照査値	2023/4/7	
2883	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-82	表5.1.1-7~表5.1.1-9について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)せん断力 (新)せん断力 Q	2023/4/7	
2884	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-83~85	図5.1.1-1~図5.1.1-3について、断面力図を適正化しました。	2023/4/7	
2885	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-86	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)グラウンドアンカによる支圧 (新)グラウンドアンカによる支圧応力度	2023/4/7	
2886	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-87~98	以下のとおり記載を適正化するに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1)グラウンドアンカの発生アンカー力に対する照査 (新)5.2.1 グラウンドアンカの発生アンカー力に対する照査	2023/4/7	
2887	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-87	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)テンダンの許容拘束力 T_{ab} (新)許容アンカー力 T_a (旧)照査値 T/Tab (新)照査値 T/Ta	2023/4/7	
2888	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-99,138	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)鉛直相対変位量 (新)底板両端部の鉛直座標の差分	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2889	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-100~103	以下のとおり記載を適正化するに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) 評価結果 (新)5.3.1 評価結果 (旧)(1)及び(2)より (新)「5.3.1 評価結果」及び「5.3.2 局所破壊が津波防護機能へ及ぼす影響について」より	2023/4/7	
2890	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-104,118	表4.5-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) また、変位量はmm表記に変更しました。 (旧)止水目地 (新)止水目地(ゴムジョイント) (旧)横断方向 (新)法線直交方向 (旧)鉛直方向 (新)深度方向 (旧)止水目地設置箇所の津波時変位量 (新)止水目地(ゴムジョイント)の変位量に対する照査結果 (旧)シートジョイント:1960 (新)449	2023/4/7	
2891	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-104	津波時変位量の有効桁を適正化しました。	2023/4/7	
2892	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-105	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)P (新)R	2023/4/7	
2893	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-106~108	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)支持地盤 (新)基礎地盤	2023/4/7	
2894	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-109~118	以下のとおり記載を適正化するに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)5.6(1) 概要 (新)5.6.1 概要	2023/4/7	
2895	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-109	図5.6.1-1の波返重力擁壁と多重鋼管杭式擁壁の延長を修正しました。また、本文について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)渡って (新)わたって	2023/4/7	
2896	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-111 他	表4.7.3-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「5. 評価結果」 (新)「5. 強度評価結果」	2023/4/7	
2897	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-112	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)敷地高以深については、・・・ (新)敷地高以深については、「防波堤の耐津波設計ガイドライン(国土交通省港湾局、平成27年12月)一部改訂」に基づき、・・・	2023/4/7	
2898	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-119 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)浸水防護機能 (新)津波防護機能	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2899	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-120 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「(参考資料2)2. 杭頭載荷実験」に示す実験結果及び「(参考資料2)3. 3次元静的FEM解析による実験の再現解析」に示す解析結果 (新)「2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」の「(参考資料2)鋼管杭の影響検討について」に示す実験結果及び解析結果 (旧)2次元FEM解析 (新)2次元有限要素法の	2023/4/7	
2900	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-123	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)示方書(2018) p.51より (新)「コンクリート標準示方書(2002)」より	2023/4/7	
2901	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-124	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「コンクリート標準示方書[構造性能照査編](土木学会, 2002年制定)」 (新)「コンクリート標準示方書(2002)」 (旧)「杭基礎設計便覧(日本道路協会, 2007年制定)」 (新)「杭基礎設計便覧(日本道路協会, 2007年制定)」(以下「杭基礎設計便覧」という。)	2023/4/7	
2902	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-128	表5.1.2-1について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)応力度 (新)発生応力度 (旧)許容応力度 (新)短期許容応力度	2023/4/7	
2903	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.4 防波壁(逆T擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.4-132	以下のとおり記載を適正化するのに伴い、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)6.2(1) 概要 (新)6.2(1) 概要	2023/4/7	
2904	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.目-1~3	目次のタイトルを適正化しました。	2023/4/7	
2905	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たっては (新)あたっては (旧)施設・地盤の健全性評価, 施設の変形性評価 (新)施設・地盤の健全性評価及び施設の変形性評価	2023/4/7	
2906	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-2	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁(波返重力擁壁)の範囲 (新)防波壁(波返重力擁壁)の位置図	2023/4/7	
2907	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)津波高さ(EL 12.6m) (新)入力津波高さ(EL 11.9m)	2023/4/7	
2908	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-3	「2.2 構造概要」について、防波壁(波返重力擁壁)の構造概要の他補正申請図書と記載を合わせるため、記載の構成を変更及び漂流物対策工について追記等、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2909	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-4	図2.2-1の図タイトルを以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁(波返重力擁壁)の構造概要図(正面図) (新)防波壁(波返重力擁壁)の構造概要図(鳥瞰図)	2023/4/7	
2910	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-5	図2.2-2について、止水目地を追加しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2911	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-5	図2.2-3について、拡大図の範囲を追記しました。	2023/4/7	
2912	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-7 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地の変形量 (新)止水目地の変位量 (旧)許容限界を下回ることを確認する。 (新)許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	
2913	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-8,9	表2-1について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重力擁壁間の変形 (新)重力擁壁間の変位 (旧)重力擁壁を支持するとともに、遮水性を保持する。 (新)重力擁壁及び漂流物対策工を支持する。 (旧)重力擁壁を支持するとともに、遮水性を保持する。 (新)重力擁壁を支持する。 (旧)防波壁の解析モデルに (新)解析モデルに (旧)解析モデルに取り込み (新)解析モデルに反映し (旧)防波壁 (新)防波壁(波返重力擁壁) (旧)津波荷重に対して地盤反力として寄与する。 (新)防波壁(波返重力擁壁)より陸側については、津波荷重に対して地盤反力として寄与する。	2023/4/7	
2914	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-11	表2-1について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)鉄筋コンクリート版がせん断破壊しないこと。 (新)鉄筋コンクリート版がおおむね弾性状態にとどまること。 (旧)改良地盤 (新)改良地盤⑥	2023/4/7	
2915	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-12,13	表2-3について以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生する応力度(曲げ・軸力及びせん断力)が (新)発生する応力(曲げ応力及びせん断応力)が (旧)応力度 (新)応力 (旧)変形 (新)変位	2023/4/7	
2916	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-14	図2.3-1について、漂流物対策工及び止水目地の追加、章構成の明確化等の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2917	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-15 他	本文中に記載された適用規格・基準類について、記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2918	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-18 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)隣接構造物 (新)周辺構造物 (旧)止水目地の変形量 (新)止水目地の変位量	2023/4/7	
2919	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-18 他	参考資料について、タイトルを追記しました。	2023/4/7	
2920	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-21	図3-2について、評価対象断面位置を赤字に変更しました。	2023/4/7	
2921	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-22~24	図タイトルを以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)横断面図 (新)防波壁(波返重力擁壁)の横断面図	2023/4/7	
2922	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-22 他	図3.1-3~8について、凡例等を適正化しました。	2023/4/7	
2923	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-24 他	図3.1-7、図3.1-8及び図4.1.7-9について、凡例のコンクリート構造物を削除し、図3.1-7及び図4.1.7-9についてはサイトバンク建物が投影であることを記載しました。	2023/4/7	
2924	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-25 他	3.1-9について標高を追記し、図タイトルを適正化しました。	2023/4/7	
2925	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-36	図3.1-10(5)について、配筋図を適正化しました。	2023/4/7	
2926	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-39 他	章番号について適正化しました。	2023/4/7	
2927	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-40	許容応力度の記号について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) τ_{sa} (新) τ_{a1}	2023/4/7	
2928	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-43	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力度及び強度とする。 (新)短期許容応力度及び強度とする。	2023/4/7	
2929	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-43	表3.4.2-3について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) (σ_{1k}) 材料強度 (新)材料強度	2023/4/7	
2930	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-45	基礎地盤の許容限界について、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき設定することから、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2931	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-46 他	4.1他の章タイトルについて、他補正申請図書と記載を合わせ、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2932	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-47	図4.1.1-1について、手法設定の考え方の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2933	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-48	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ケーソンは、構造部材を平面ひずみ要素でモデル化し (新)ケーソンは、平面ひずみ要素でモデル化し	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2934	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-48 他	H形鋼について、記載を追加しました。	2023/4/7	
2935	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-50	図4.1.4-1についてタイトルを適正化しました。	2023/4/7	
2936	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-55 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)全ての (新)すべての	2023/4/7	
2937	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-55 他	表4.1.5-1の地震動の位相について、「()」を追加しました。	2023/4/7	
2938	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-105 他	⑦-⑦断面の入力地震動について、 S_s-F1 及び S_s-F2 以外の入力地震動についても追加しました。	2023/4/7	
2939	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-117	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明」 (新)「2.1.9 防波壁の設計・管理に関する補足説明」	2023/4/7	
2940	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-123	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元地震応答解析モデル (新)地震応答解析モデル	2023/4/7	
2941	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-123 他	有効応力解析のみの箇所について、有効応力解析である旨追記しました。	2023/4/7	
2942	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-128	地盤のモデル化について、有効応力解析と全応力解析について、記載を追加しました。	2023/4/7	
2943	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-133	表4.1.7-2において、内部摩擦角の表示桁を適正化しました。また、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)保守的に0と設定 (新)保守的にゼロに設定	2023/4/7	
2944	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-139	表4.1.7-3のせん断剛性について、適正化しました。	2023/4/7	
2945	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-140	表4.1.7-4の仕様について、コンクリートの強度が設計基準強度であること記載しました。	2023/4/7	
2946	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-142	表4.1.7-8の強度特性を削除しました。	2023/4/7	
2947	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-143	4.1.7-9について、表を分割し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2948	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-144	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
2949	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-146 他	4.1.8 評価方法について、防波壁(波返重力擁壁)の構造概要の他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2950	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-146 他	すべり安全率算定に用いる解析コードを追記し、併せてすべり安全率算定のフロー及び想定すべり線について追加しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2951	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-146	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)もとに (新)基に	2023/4/7	
2952	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-153	4.2 地震応答解析結果について、他補正申請図書と記載を合わせるため、章構成及び記載について適正化しました。	2023/4/7	
2953	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-241 他	5. 3次元構造解析について、他補正申請図書と記載を合わせるため、章構成及び記載について適正化しました。	2023/4/7	
2954	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-244	表5.1.3-1について、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)地震応答解析 (新)2次元有限要素法	2023/4/7	
2955	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-245	図5.1.3-2について、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)変動荷重 (新)土圧、水圧、風荷重・積雪荷重 (旧)耐震安全性評価 (新)地震時の健全性評価	2023/4/7	
2956	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-246	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)漂流物対策工の単位体積重量を考慮する (新)漂流物対策工の重量を考慮する (旧)地震応答解析における常時解析 (新)常時応力解析 (旧)g/cm ³ (新)t/m ³	2023/4/7	
2957	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-251	5.1.4 解析モデルについて、漂流物対策工について追記しました。	2023/4/7	
2958	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-257	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)部材厚方向の要素分割 (新)隔壁の部材厚方向の要素分割	2023/4/7	
2959	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-262	表5.1.4-7及び8について、重力擁壁について削除しました。	2023/4/7	
2960	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-270	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)物性 (新)物性値	2023/4/7	
2961	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-273他	表5.2.1-1について、ケーソンを含まない⑤-⑤断面について削除しました。	2023/4/7	
2962	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.1.5-550	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)S波速度の平均が895m/sが確認されていることから (新)S波速度の平均は895m/sであることから	2023/4/7	
2963	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)3-4	図3-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)場所打ちコンクリート (新)場所打ち部(MMR)	2023/4/7	
2964	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)3-19	図4-2について、重力擁壁の図を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2965	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)5-2	図3-1について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)許容限界を上回る要素 (新)許容限界を超える要素	2023/4/7	
2966	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)5-6	表6-1について、許容限界を超える範囲が局所的であることを注記として追記しました。	2023/4/7	
2967	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)6-3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重量擁壁 (新)重力擁壁	2023/4/7	
2968	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)6-3	表2-1について、地震時と津波時の記載を適正化しました。	2023/4/7	
2969	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)8-1	重力擁壁と岩盤の一体性の概念図について、H形鋼の仕様を追記しました。	2023/4/7	
2970	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)8-3	表3-1について、鉄筋に発生する曲げモーメントを適正化しました。	2023/4/7	
2971	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)8-12	引抜試験で載荷する荷重について、地震時及び津波時の作用荷重を超える荷重とし、降伏荷重相当まで載荷する旨を追記しました。	2023/4/7	
2972	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)8-15 他	設計で用いている鉄筋の許容限界に対して、試験結果が安全側である旨を追記しました。	2023/4/7	
2973	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)8-16 他	図4-9及び図4-11について、試験終了部分を適正化しました。	2023/4/7	
2974	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.目-1,2	目次のタイトル及びページ番号を適正化しました。	2023/4/7	
2975	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-1	「1. 概要」について、以下のとおり記載を適正化する(下線部参照)とともに、漂流物対策工については別の補足説明資料にて説明することを追記しました。	2023/4/7	
2976	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-1	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)津波、余震、漂流物の衝突、風及び積雪を考慮した荷重に対し (新)地震後の繰返しの来襲を想定した津波、余震、漂流物の衝突、風及び積雪を考慮した荷重に対し	2023/4/7	
2977	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-2	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁(波返重力擁壁)の範囲 (新)防波壁(波返重力擁壁)の位置図	2023/4/7	
2978	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-3 他	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)津波高さ(EL 12.6m) (新)入力津波高さ(EL 11.9m)	2023/4/7	
2979	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-3	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)岩盤又は改良地盤に支持 (新)岩盤若しくは改良地盤に支持	2023/4/7	
2980	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-3	構造概要のうち、漂流物対策工及び止水目地の記載について、他補正申請図書と記載を合わせ適正化しました。	2023/4/7	
2981	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-4	図2.2-1のタイトルを適正化しました。(下線部参照) (旧)構造概要図 (新)構造概要図(鳥瞰図)	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2982	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-5	図2.2-2に止水目地を追加しました。	2023/4/7	
2983	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-6	図2.2-3について、拡大範囲を追加しました。	2023/4/7	
2984	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-7 他	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)変形量 (新)変位量	2023/4/7	
2985	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-7	「2.3 評価方針」について、各章番号や章タイトルに合わせて適正化しました。	2023/4/7	
2986	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-8～13	表2.3-1～3について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2987	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-14	図2.3-1について、章構成が明確となるよう適正化しました。	2023/4/7	
2988	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-15 他	本文中に記載された適用規格・基準類について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2989	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-18 他	記号の定義について、追加及び記載を適正化しました。	2023/4/7	
2990	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-20 他	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)強度評価 (新)耐津波評価 (旧)隣接構造物 (新)周辺構造物 (旧)津波水位 (新)津波高さ	2023/4/7	
2991	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-20	参考資料について、タイトルを追記等の記載を下記のとおり適正化しました。(下線分参照) (旧)「2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」の「参考資料3」参照 (新)「2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」の「 <u>参考資料3)ケーソン中詰材改良体の解析物性値について</u> 」参照	2023/4/7	
2992	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-20	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁(波返重力擁壁)の施設延長約7～17mの範囲においては390～450kN/m (新)防波壁(波返重力擁壁)のブロック延長約7～10mの範囲においては <u>430</u> ～450kN/m	2023/4/7	
2993	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-23	図3.2.1-2について、評価対象断面を赤字で明確化し、凡例を適正化しました。	2023/4/7	
2994	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-24～26	図3.2.1-3～8について、図タイトルを以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)横断面図 (新)防波壁(波返重力擁壁)の横断面図	2023/4/7	
2995	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-24～26	図3.2.1-3～8について、漂流物対策工を追記し、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
2996	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-25	図3.2.1-5について、3号機放水接合槽の形状を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
2997	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-26	図3.2.1-7及び8の凡例を適正化しました。	2023/4/7	
2998	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-26	図3.2.1-7及び図4.1.1-9について、サイトバンカ建物が投影位置であることを追加しました。	2023/4/7	
2999	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-27 他	図3.2.1-9について、標高を追加し、図タイトルを適正化しました。	2023/4/7	
3000	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-40	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元有限要素法 (新)2次元静的有限要素法及び2次元動的有限要素法	2023/4/7	
3001	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-43	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震力 (新)地震力及び動水圧	2023/4/7	
3002	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-45	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)波返重力擁壁に作用する (新)防波壁(波返重力擁壁)に作用する	2023/4/7	
3003	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-45	風荷重について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)浸水防護施設が設置される状況に応じて、建築基準法及び建設省告示第1454号に基づき、ガスト影響係数等を適切に設定して算出する。 (新)浸水防護施設が設置される状況に応じて、「建築基準法」に「 <u>同施行令</u> 」に基づき、ガスト影響係数等を適切に設定して算出する。	2023/4/7	
3004	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-48	防波壁(波返重力擁壁)の荷重作用図について、漂流物対策工を追記し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3005	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-54他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)止水目地(<u>シートジョイント</u>)	2023/4/7	
3006	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-54	基礎地盤の許容限界について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3007	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-55 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)津波時に発生する応力値 (新)津波時に発生する応力値及び変位	2023/4/7	
3008	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-55	図4.1.1-11について、双曲線モデルに修正GHEモデルを追加しました。	2023/4/7	
3009	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-56	H形鋼のモデル化について、追記しました。	2023/4/7	
3010	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-57	解析ケースについて、他補正申請図書と記載を合わせ適正化しました。	2023/4/7	
3011	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-58	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)解析モデル範囲において、3号機放水接合槽は (新)解析モデル範囲において、 <u>防波壁に隣接している3号機放水接合槽</u> は (旧)「2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明」 (新)「2.1.9 防波壁の設計・管理に関する補足説明」	2023/4/7	
3012	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-59 他	図4.1.1-2, 4, 6, 8, 10についてタイトルを適正化しました。(下線部参照) (旧)地震応答解析モデル (新)防波壁(波返重力擁壁)の解析モデル	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3013	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-62	図4.1.1-9について、サイトバンカ建物が投影であることを明示しました。	2023/4/7	
3014	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-64	下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元解析モデルは (新)解析モデルは	2023/4/7	
3015	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-65	下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応答解析 (新)応力解析	2023/4/7	
3016	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-65	下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)津波時における境界条件の概念図 (新)津波時の2次元有限要素法における境界条件の概念図	2023/4/7	
3017	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-65	下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」の「参考資料6」で一体性を確認 (新)「2.1.5 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」の「(参考資料6)ケーソン及び重力擁壁の一体性について」で一体性を確認	2023/4/7	
3018	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-66 他	下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震応答解析モデル (新)2次元有限要素法の解析モデル	2023/4/7	
3019	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-69	地盤のモデル化について、全応力解析についても記載し、有効応力解析と差別化しました。	2023/4/7	
3020	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-74	表4.1.1-4について、有効桁等の適正化をしました。	2023/4/7	
3021	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-81	表4.1.1-6について、設計基準強度であること明確化しました。	2023/4/7	
3022	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-82 他	地盤の解析用物性値について、動せん断弾性係数、内部摩擦角及び液状化パラメータ等を適正化しました。	2023/4/7	
3023	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-86	下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地下水位については (新)設計地下水位については	2023/4/7	
3024	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-87	図4.1.1-23について、断面の例であることを記載しました。	2023/4/7	
3025	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-88	MMR及び改良地盤のすべり安全率算定に用いる解析コードについて追記しました。	2023/4/7	
3026	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-92 他	止水目地の評価方法について、他補正申請図書と記載を合わせ適正化しました。	2023/4/7	
3027	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-93	基礎地盤の評価方法について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎地盤に生じる接地圧 (新)MMR、改良地盤⑥及び防波壁直下の岩盤に生じる接地圧	2023/4/7	
3028	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-95	表4.1.2-1の地震動の位相について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3029	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-96	応力解析の解析ケースの選定について、記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3030	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-108109	重畳時の評価方法について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3031	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-110~113	評価条件について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3032	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-114 他	評価結果について、他補正申請図書と記載を合わせ適正化しました。	2023/4/7	
3033	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-117 他	重力擁壁のせん断破壊に対する照査について、算出方法変更に伴い、せん断応力度及び照査値を修正しました。	2023/4/7	
3034	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-146 他	3次元構造解析について、他補正申請図書と記載を合わせ章立てを適正化しました。これに伴い各節での記載を適正化しました。	2023/4/7	
3035	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.6 防波壁(波返重力擁壁)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.1.6-160 他	漂流物対策工について、追記しました。	2023/4/7	
3036	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-1 他	逆T擁壁部の止水目地について、ゴムジョイントで統一することとし、図書中の記載を修正しました。	2023/4/7	
3037	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-2	図1.1-1(1)の止水目地設置箇所について、逆T擁壁部の止水目地をゴムジョイントで統一することとし、設置範囲を見直しました。	2023/4/7	
3038	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-2他	止水目地をEL 15.0mまで設置する方針に見直したことから、図書中の記載を修正しました。	2023/4/7	
3039	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-15, 21	止水目地(ゴムジョイント)の設置箇所の相対変位量について、逆T擁壁部の止水目地をゴムジョイントに統一することに伴って変更しました。	2023/4/7	
3040	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-27	図2.2-1にシートジョイントの引張試験概要図を示す旨を追記しました。	2023/4/7	
3041	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-28	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)引張応力算定に用いる設計用水圧設計用水圧 (新)引張応力算定に用いる設計用水圧	2023/4/7	
3042	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-28 他	以下のとおり記載の統一化のために適正化しました。(下線部参照) (旧)シートジョイント (新)止水目地(シートジョイント)	2023/4/7	
3043	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-28 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)谷本式により止水目地(ゴムジョイント)の設置高さを考慮し (新)谷本式により止水目地(シートジョイント)の設置高さを考慮し	2023/4/7	
3044	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-33	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)シートジョイントに発生する引張応力を算定した引張応力以上の引張強度 (新)シートジョイントに発生する引張応力以上の引張強度	2023/4/7	
3045	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-35 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「2.2.1 止水目地(シートジョイント)の引張試験」 (新)「2.2.2 止水目地(シートジョイント)の引張試験」	2023/4/7	
3046	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-37 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)以下の通りである。 (新)以下のとおりである。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3047	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-41	参考資料を引用する箇所について、参考資料のタイトルまで記載しました。	2023/4/7	
3048	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.2.1.7-43	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「2.1.2 ゴムジョイントの耐侯性試験」 (新)「2.1.4 止水目地(ゴムジョイント)の耐侯性試験」	2023/4/7	
3049	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.(参考)1-3	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)相対変形量 (新)相対変位量	2023/4/7	
3050	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.(参考)1-3~5	最大変位量の記号の記載について適正化しました。	2023/4/7	
3051	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.(参考)1-6.8~10	表中の変位量の数値について、修正しました。	2023/4/7	
3052	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.(参考)2-1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「各種合成構造設計指針」 (新)「各種合成構造設計指針・同解説((社)日本建築学会, 2010年)」	2023/4/7	
3053	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.7 防波壁の止水目地に関する補足説明)	P.(参考)2-2	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカールト (新)アンカーボルト	2023/4/7	
3054	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-17,18	防波壁に設置する漂流物対策工における性能目標を、おおむね弾性状態にとどめる方針としたことを踏まえ、記載を修正しました。	2023/4/7	
3055	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-17	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁の解析モデルに重量として考慮し、 (新)解析モデルに重量として考慮し、	2023/4/7	
3056	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-18	表2.3-2の鋼材について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)漂流物衝突荷重をグラウンドアンカに伝達させないために、鋼材が破断しないこと。 (新)グラウンドアンカに漂流物を直接衝突させないために、鋼材がおおむね弾性状態にとどまること。	2023/4/7	
3057	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-18	表2.3-3の鋼材について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生する応力(曲げ・軸力及びせん断力) (新)発生する応力(曲げ応力及びせん断応力)	2023/4/7	
3058	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-35 他	参考資料を引用する箇所について、参考資料のタイトルまで記載しました。	2023/4/7	
3059	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-65	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)せん断曲げ応力度 (新)せん断応力度	2023/4/7	
3060	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-65	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)曲げ応力度 (新)せん断応力度	2023/4/7	
3061	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-69	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)引張力 (新)引張力	2023/4/7	
3062	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.8 漂流物対策工に関する補足説明)	P.2.1.8-91	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)耐震評価結果 (新)強度評価結果	2023/4/7	
3063	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明)	P.2.1.9-2	図1.1-1の止水目地の設置イメージ図において、上端の高さをEL 12.6mからEL 15.0mに変更しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3064	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明)	P.2.1.9-2,6	「2.1.1 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」他に伴い、表1.1-2及び表1.1-4を修正しました。	2023/4/7	
3065	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明)	P.2.1.9-9	図1.2-1の止水目地の設置イメージ図において、上端の高さをEL 12.6mからEL 15.0mに変更しました。	2023/4/7	
3066	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明)	P.2.1.9-10,12	「2.1.3 防波壁(逆T擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」他に伴い、表1.2-2及び表1.1-4を修正しました。	2023/4/7	
3067	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明)	P.2.1.9-15	図1.3-1の止水目地の設置イメージ図において、上端の高さをEL 12.6mからEL 15.0mに変更しました。	2023/4/7	
3068	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明)	P.2.1.9-16,19	「2.1.3 防波壁(波返重力擁壁)の耐震性についての計算書に関する補足説明」他に伴い、表1.3-2及び表1.3-4を修正しました。	2023/4/7	
3069	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.1.9 防波壁の設計・施工に関する補足説明)	P.2.1.9-38,40	図4-7及び図4-8(1)の凡例について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水目地 (新)目地	2023/4/7	
3070	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-1 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって	2023/4/7	
3071	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-3	図2.2-1について、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3072	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-6 他	防波扉の名称について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)防波扉 (新)防波扉(1号機北側)及び防波扉(2号機北側)	2023/4/7	
3073	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-7 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
3074	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-7 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力評価の確認結果を「5. 評価条件」にて示す。 (新)応力評価の確認結果を「6. 評価結果」にて示す。	2023/4/7	
3075	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-8 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3076	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-9 他	表番号の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3077	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-9 他	表2.6-1について、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3078	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-9 他	震度の単位について, 記載を適正化しました。 (旧)G (新)-	2023/4/7	
3079	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-9 他	耐震評価に用いる記号について, 記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)- (新)1本あたりに (旧)KN/本 (新)KN	2023/4/7	
3080	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-14	図4.1-1について, 図中の凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3081	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-15 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「4.4 設計用地震力」で設定した設計震度を用いて次式により算出する。 (新)「4.4 設計用地震力」で設定する設計震度を用いて次式により算出する。	2023/4/7	
3082	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-15 他	数式で使用する記号の説明について, 記載を適正化しました。	2023/4/7	
3083	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-15	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時 S_s (新)地震時	2023/4/7	
3084	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-16	表4.3-2の表タイトルについて, 以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表4-3 鋼材の許容応力度 (新)表4-3 鋼材の許容限界	2023/4/7	
3085	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-18	表4.4-1について, 表の構成を変更しました。	2023/4/7	
3086	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-18	図4.4-1について, 図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3087	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-19 他	鉛直震度及び水平震度について, 単位の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3088	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-24 他	アンカーボルトに生じる荷重の算定について, 以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカーボルトに生じる応力は, ヒンジ側で荷重を負担する (新)アンカーボルトに生じる荷重は, ヒンジ側のアンカーボルトで負担する (旧)せん断又は引張り (新)せん断又は引張	2023/4/7	
3089	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-25 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)許容限界を下回ることを確認する。 (新)許容限界以下であることを確認する。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3090	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-25 他	ヒンジ板, ヒンジピン及びヒンジボルトの断面検定について、記載を拡充しました。	2023/4/7	
3091	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-26 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)組合せ曲げ応力度 (新)組合せ応力度	2023/4/7	
3092	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-30	表5-1について、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3093	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-31	表6-1について、単位の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3094	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.1 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.1-31	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生応力度又は荷重が許容限界以下を下回る。 (新)発生応力度又は荷重が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
3095	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-3	図2.2-1について、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3096	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-7 他	図書中の記載について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
3097	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-8 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3098	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-9 他	表番号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3099	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-9,10	表2-3について、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3100	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-9 他	耐震評価に用いる記号の定義について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) <u>1本あたり</u> (新) <u>1本あたり</u> (旧) kN/本 (新) kN	2023/4/7	
3101	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-12	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用津波水位 (新)設計津波水位	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3102	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-15	表3-4のタイトルについて、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表3-4 鋼材の許容応力度 (新)表3-4 鋼材の許容限界	2023/4/7	
3103	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-17 他	数式で使用する記号の説明において、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3104	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-25	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)アンカーボルトの短期許容荷重 (新)アンカーボルトの短期許容応力度	2023/4/7	
3105	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-27	「4. 評価結果」について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発生応力度又は荷重は許容限界以下であることから、防波扉(1号機北側)及び防波扉(2号機北側)が構造健全性を有することを確認した。 (新)発生応力度又は荷重は許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
3106	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.2 防波壁通路防波扉(1号機北側, 2号機北側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.2-27	表4-1について、表中に単位を追記するとともに、表タイトルについて以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防波扉(1号機北側)及び防波扉(2号機北側)の強度評価結果 (新)防波扉(1号機北側)及び防波扉(2号機北側)の断面検定結果	2023/4/7	
3107	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-1他	図書中の記載について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって	2023/4/7	
3108	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-3	防波扉の天端高さの説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3109	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-5	図2.2-1(2)について、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3110	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-8 他	図中に単位を追記しました。	2023/4/7	
3111	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-16 他	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
3112	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-19	表2.3-3について、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3113	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-19 他	MMRの評価項目として、支圧強度を追記しました。	2023/4/7	
3114	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-21 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3115	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-21 他	表番号の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3116	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-29	表4.1-1について、「防波扉(鋼管杭)」の部材を追加しました。	2023/4/7	
3117	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-31~33	表4-2について、部材の名称を統一し、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3118	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-33 他	漂流物対策工の部材名について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3119	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-37	図4.2-3の凡例について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3120	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-38	図4.2-4について、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3121	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-48	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.3.3 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)4.3.3 地盤物性のばらつき	2023/4/7	
3122	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-49 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)全ての (新)すべての	2023/4/7	
3123	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-50	「4.4.2 荷重」について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3124	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-51	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時(S_s) (新)地震時	2023/4/7	
3125	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-53~64	図4.5-2~図4.5-13について、図中の記載及び地震応答のケースの名称について適正化しました。	2023/4/7	
3126	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-65	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2次元地震応答解析モデル (新)地震応答解析モデル	2023/4/7	
3127	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-68	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)反無限地盤 (新)半無限地盤 (旧)ダッシュポット (新)ダッシュポット	2023/4/7	
3128	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-78 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) kN/m^3 (新) kN/m^2	2023/4/7	
3129	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-81 他	防波扉基礎スラブと、漂流物対策工基礎スラブを区別するため、名称を適正化しました。	2023/4/7	
3130	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-84	地下水位の設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地下水位, 設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
3131	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-87 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧) F_c24 (新) $f'_{ck}=24N/mm^2$	2023/4/7	
3132	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-88 他	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
3133	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-91 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧) F_c40 (新) $f'_{ck}=40N/mm^2$	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3134	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-93 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)引張強度は $0.23f_{ck}$ により算定する。 (新)引張強度は $0.23f_{ck}^{2/3}$ により算定する。	2023/4/7	
3135	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-94	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設定した許容限界以下となることを確認する (新)設定した許容限界以下であることを確認する	2023/4/7	
3136	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-106 他	防波壁(鋼管杭)の記号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3137	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-107	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)杭先端 (新)杭下端	2023/4/7	
3138	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-126	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力の算定を実施する。 (新)応力算定を実施する。	2023/4/7	
3139	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-127	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)図心軸回り (新)基礎中心軸回り	2023/4/7	
3140	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-134 他	照査値について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3141	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-134 他	照査結果の表について、照査値を絶対値表記とし、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3142	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-140 他	曲げ照査及びせん断照査について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3143	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-158 他	断面力図のキープランについて、標高を追記しました。	2023/4/7	
3144	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-169	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎地盤に生じる最大接地圧が極限支持力度を下回ることを確認した。 (新)基礎地盤に生じる最大接地圧が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
3145	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.3 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.3-172	図6.3-5(1)について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力度 $18.0\text{N}/\text{mm}^2$ (新)支圧強度 $18.0\text{N}/\text{mm}^2$	2023/4/7	
3146	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-3	防波扉の天端高さの説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3147	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-5	図2.2-1(2)について、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3148	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-8 他	図中に単位を追記しました。	2023/4/7	
3149	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-16 他	図書中の記載について、以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
3150	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-19	表2.3-3Iについて、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3151	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-19 他	MMRの評価項目として、支圧強度を追記しました。	2023/4/7	
3152	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-21 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3153	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-23 他	表番号の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3154	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-24	表3.1-1について、「防波扉(鋼管杭)」を追加しました。	2023/4/7	
3155	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-26 他	表タイトルの記載を適正化しました。	2023/4/7	
3156	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-32	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(2) 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)(2) 地盤物性のばらつき	2023/4/7	
3157	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-33	「3.4.1 荷重」について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3158	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-34 他	強度計算に考慮する衝突荷重について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3159	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-53 他	防波扉基礎スラブと、漂流物対策基礎スラブを区別するため、名称を適正化しました。	2023/4/7	
3160	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-56	地下水位の設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地地下水位、設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
3161	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-58他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)Fc24 (新) $f'_{ck}=24\text{N/mm}^2$	2023/4/7	
3162	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-59 他	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
3163	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-61 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)Fc40 (新) $f'_{ck}=40\text{N/mm}^2$	2023/4/7	
3164	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-72 他	防波扉(鋼管杭)の照査に用いる数式中の記号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3165	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-73 他	数式について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3166	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-83 他	曲げ照査及びせん断照査について、他図書との記載の統一化のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3167	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-84	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)図心軸回り (新)基礎中心軸回り	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3168	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-89 他	照査値について、浸水防護施設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3169	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-89 他	照査結果の表について、照査値を絶対値表記とし、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3170	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-94 他	断面力図のキープランについて、標高を追記しました。	2023/4/7	
3171	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-102	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎地盤に生じる最大接地圧が極限支持力度を下回ることを確認した。 (新)基礎地盤に生じる最大接地圧が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
3172	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.4 防波壁通路防波扉(荷揚場南)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.4-103	図6.3-5(1)について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力度 18.0N/mm ² (新)支圧強度 18.0N/mm ²	2023/4/7	
3173	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-1 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって	2023/4/7	
3174	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-3	防波扉の天端高さの説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3175	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-5~18	図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3176	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-19 他	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)応力度	2023/4/7	
3177	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-20	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)解析モデルに取り込み、防波扉への相互作用を考慮する (新)解析モデルに反映し、防波扉への相互作用を考慮する	2023/4/7	
3178	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-21 他	グラウンドアンカの許容限界について、「許容アンカー力」と定義し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3179	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-22	表2.3-31について、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3180	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-22 他	MMRの評価項目として、支圧強度を追記しました。	2023/4/7	
3181	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-24 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3182	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-29 他	表番号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3183	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-32	図3.2-3の凡例について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3184	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-34 他	漂流物対策工について、部材の名称を統一するため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3185	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-39,40	図4.2-2及び図4.2-3の凡例について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3186	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-42	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.3.3 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)4.3.3 地盤物性のばらつき	2023/4/7	
3187	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-44	「4.4 荷重及び荷重の組合せ」について、浸水防護施設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3188	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-44 他	「Ga:グラウンドアンカの初期緊張力」について、「G:固定荷重」に含むこととして、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3189	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-45	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)地震時(Ss) (新)地震時	2023/4/7	
3190	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-47~58	図4.5-2~図4.5-13 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトルについて、図中の記載及び地震応答のケースの名称を適正化しました。	2023/4/7	
3191	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-74 他	防波扉基礎スラブと、漂流物対策工基礎スラブを区別するため、名称を適正化しました。	2023/4/7	
3192	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-78	地下水位の設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地地下水位、設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
3193	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-80,81	表4.8.1-11について、表中の記号の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3194	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-80 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)Fc24 (新)f'ck=24N/mm2	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3195	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-82 他	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
3196	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-85 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) f_{ck} (新) $f'_{ck}=40N/mm^2$	2023/4/7	
3197	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-87 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 引張強度は $0.23f'_{ck}$ により算定する。 (新) 引張強度は $0.23f'_{ck}^{2/3}$ により算定する。	2023/4/7	
3198	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-88	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 設定した許容限界以下となることを確認する (新) 設定した許容限界以下であることを確認する	2023/4/7	
3199	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-102 他	曲げ照査及びせん断照査について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3200	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-129 他	照査値について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3201	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-140 他	照査結果の表について、照査値を絶対値表記とし、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3202	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-138 他	断面力図のキープランについて、標高を追記しました。	2023/4/7	
3203	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-177	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 基礎地盤に生じる最大接地圧が極限支持力度を下回ることを確認した。 (新) 基礎地盤に生じる最大接地圧が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
3204	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.5 防波壁通路防波扉(3号機東側)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.2.5-181	図6.3-5(1)について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 極限支持力度 18.0N/mm ² (新) 支圧強度 18.0N/mm ²	2023/4/7	
3205	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-3	防波扉の天端高さの説明について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3206	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-5~18	図中に単位を追記しました。	2023/4/7	
3207	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-19 他	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 応力 (新) 応力度	2023/4/7	
3208	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-20	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧) 解析モデルに取り込み、防波扉への相互作用を考慮する (新) 解析モデルに反映し、防波扉への相互作用を考慮する	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3209	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-21	グラウンドアンカの許容限界について、「許容アンカー力」と定義し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3210	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-22	表2.3-3について、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3211	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-22 他	MMRの評価項目として、支圧強度を追記しました。	2023/4/7	
3212	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-24 他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3213	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-26 他	表番号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3214	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-34	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(2) 材料物性及び地盤物性のばらつき (新)(2) 地盤物性のばらつき	2023/4/7	
3215	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-35	「3.4.1 荷重」について、他補正申請図書と記載を合わせるため、記載を変更しました。	2023/4/7	
3216	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-35 他	「Ga :グラウンドアンカの初期緊張力」について、「G:固定荷重」に含むこととして、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3217	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-36 他	強度計算に考慮する衝突荷重について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3218	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-41	図3-3の図タイトルについて、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)荷重作用図 (新)強度評価に用いる荷重の作用図	2023/4/7	
3219	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-55 他	防波扉基礎スラブと漂流物対策工基礎スラブを分別するため、名称を適正化しました。	2023/4/7	
3220	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-55 他	単位体積重量の単位について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)kN/m ² (新)kN/m ³	2023/4/7	
3221	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-59	地下水位の設定について、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地地下水位、設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
3222	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-61	表3.7.1-1について、表中の記号の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3223	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-61 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)F _c 24 (新)f' _{ck} =24N/mm ²	2023/4/7	
3224	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-62 他	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
3225	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-64 他	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)F _c 40 (新)f' _{ck} =40N/mm ²	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3226	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-74 他	曲げ照査及びせん断照査について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3227	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-89 他	照査値について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3228	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-90 他	断面力図のキープランについて、標高を追記しました。	2023/4/7	
3229	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-91 他	照査結果の表について、照査値を絶対値表記とし、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3230	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-104	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎地盤に生じる最大接地圧が極限支持力度を下回ることを確認した。 (新)基礎地盤に生じる最大接地圧が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
3231	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.2.2.6-105	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)極限支持力度 (新)支圧強度	2023/4/7	
3232	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-5他	適用規格・基準等について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3233	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-2	図2-1について、図中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3234	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P(参考)2-4 他	図中に単位を追記しました。	2023/4/7	
3235	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-10	以下のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)k :設計震度(G) (新)k :設計震度(二)	2023/4/7	
3236	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-14	短期許容応力度の設定について、説明を拡充しました。	2023/4/7	
3237	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-15	表4-5について、表中の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3238	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-16 他	照査値について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3239	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-16 他	照査結果の表について、照査値を絶対値表記とし、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3240	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)3-7	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)杭頭部の照査において、許容限界を上回らないことを確認した。 (新)杭頭部の照査において、発生応力度が許容限界以下であることを確認した。	2023/4/7	
3241	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)4-1 他	「支承部」について、名称と統一し、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3242	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)6-13	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)漂流物対策工と防波壁における相対変位による影響は十分小さいと評価した。 (新)漂流物対策工と防波壁における相対変位による影響がないことを確認した。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3243	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)7-6 他	表番号について、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3244	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)7-9	「3.2.1 耐震評価上考慮する状態」について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3245	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)7-9	「3.2.2 荷重」について、浸水防護移設に関する図書との記載の統一のため、記載を適正化しました。	2023/4/7	
3246	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)7-12	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)Fc24 (新)f' ck=24N/mm2	2023/4/7	
3247	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.2.6 防波壁通路防波扉(3号機東側)の強度計算書に関する補足説明)	P.(参考)8-9	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)Fc24 (新)f' ck=24N/mm2	2023/4/7	
3248	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5 漂流防止装置に関する補足説明)	目次	漂流防止装置に関する補足説明について、章番号を2.6から2.5に変更しました。	2023/4/7	
3249	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-1 他	資料の分かり易さの観点から、章構成及び章名称を変更しました。これに伴い図表番号を変更しました。	2023/4/7	
3250	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-1 他	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって (旧)漂流防止装置 (新)漂流防止装置(係船柱) (旧)全て (新)すべて (旧)および (新)及び (旧)係船柱底板下面のコンクリート (新)コンクリート(係船柱底板) (旧)係船柱底板前面のコンクリート (新)コンクリート(係船柱前面) (旧)アンカー板上面のコンクリート (新)コンクリート(アンカー板上面) (旧)アンカー板上面のコンクリート (新)コンクリート(アンカーボルト側面)	2023/4/7	
3251	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-3.4	「2.2 構造概要」について、漂流防止装置(荷揚護岸)を構成する部材が明確となるように記載を拡充しました。また、本文の記載の拡充に伴い、図2.2-1及び図2.2-2を修正しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3252	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-7~9	「2.3 評価方針」について、資料の分かり易さの観点から、各部位の役割、性能目標及び評価項目として表2-1~表2-3を追記するとともに、本文を適正化しました。	2023/4/7	
3253	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-9	2.4 適用規格基準等について以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)コンクリート標準示方書[構造性能照査編]((社)土木学会, 2002年) (新)コンクリート標準示方書[構造性能照査編]((社)土木学会, 2002年制定)	2023/4/7	
3254	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-12,13	表2.5-1について、記号、単位及び定義を本文中の記載と統一化するため記載を修正しました。	2023/4/7	
3255	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-14	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)漂流防止装置(係船柱)に生じる基準地震動 S_{ss} による慣性力に伴う荷重は、係船柱、アンカーボルト及びアンカー板を介して基礎に伝達される~ (新)漂流防止装置(係船柱)に作用する基準地震動 S_{ss} による荷重は、係船柱、アンカーボルト及びアンカー板を介して周囲のコンクリートに伝達される また、漂流防止装置(係船柱)の周囲のコンクリートに対する評価も実施する旨を追記しました。	2023/4/7	
3256	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-15	荷重の組合せについて、風荷重及び積雪荷重を考慮しない理由について記載を適正化しました。	2023/4/7	
3257	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-16,17	「3.3.2 許容限界」について、VI-2-1-9「機能維持の基本方針」に基づき設定する旨を追記しました。 また、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)係船柱の許容応力度は、「鋼構造設計規準-許容応力度設計法-((社)日本建築学会, 2005年改訂)」及び「JIS G 5101 炭素鋼鋳鋼品」を踏まえて表3-4の値とする。 (新)係船柱の許容限界は、「鋼構造設計規準-許容応力度設計法-((社)日本建築学会, 2005年改訂)」及び「JIS G 5101 炭素鋼鋳鋼品」を踏まえて表3-4のとおり設定する。 (旧)許容応力度 (新)許容限界 (旧)~に示す値とする (新)~とおり設定する (旧)漂流防止装置(係船柱)の基礎の許容応力度 (新)コンクリートの許容限界	2023/4/7	
3258	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-18	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)設計用地震力 (新)設計震度	2023/4/7	
3259	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-19,20	図3.5-1について、断面位置を明確化しました。 また、図3.4-1について、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3260	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-23	係船柱に生じる曲げ応力度について、 P_H 及びDの説明を追記しました。 転倒モーメントの算出に用いるアーム長を安全側に設定する旨を追記しました。 資料の分かり易さの観点から図3-4の記載を拡充しました。 また、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)当該漂流防止装置を構成する係船柱、アンカーボルト及びアンカー板に発生する応力より算定する応力度が、許容限界以下であることを確認する。 (新)漂流防止装置(係船柱)を構成する各部位に生じる応力度が、許容限界以下であることを確認する。 (旧)係船柱に生じる応力は、係船柱を片持ち梁として次式により算出し、係船柱の許容限界以下であることを確認する。 なお、保守的に転倒モーメントを算出するため、慣性力の作用点は直胴部の上端とする。 (新)係船柱に生じる曲げ応力度は、係船柱を片持ち梁として次式により算出し、係船柱の許容限界以下であることを確認する。なお、慣性力の作用点は直胴部の上端とする。 係船柱のモデル図を図3-4に示す。	2023/4/7	
3261	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-24~35	コンクリート(係船柱底板)の支圧応力度、コンクリート(係船柱前面)の支圧応力度、アンカーボルトの引張応力度、アンカー板の曲げ応力度、コンクリート(アンカー板上面)の支圧応力度及びコンクリート(アンカーボルト側面)のせん断応力度の評価方法について、他図書と記載を合わせる観点で記載を適正化しました。	2023/4/7	
3262	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-36	表4-1について、記号、単位及び定義を本文中の記載と統一化するため記載を修正しました。	2023/4/7	
3263	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.1 漂流防止装置(係船柱)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.1-37	表5-1について、評価対象部位を本文中の記載と統一しました。また、照査値を少数点第2(少数点第3位繰り上げ)に見直しました。 また、以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)各部位の断面検定を行った結果、発生応力度又は荷重は許容限界以下であることから、漂流防止装置が構造健全性を有することを確認した。 (新)各部位の発生応力度は許容限界以下であることから、漂流防止装置(係船柱)は構造健全性を有することを確認した。 (旧)発生値(応力度) (新)発生応力度	2023/4/7	
3264	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-1他	資料の分かり易さの観点から、章構成及び章名称を変更しました。これに伴い図表番号を変更しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3265	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-1 他	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)当たって (新)あたって (旧)漂流防止装置 (新)漂流防止装置(係船柱) (旧)全て (新)すべて (旧)および (新)及び (旧)係船柱底板下面のコンクリート (新)コンクリート(係船柱底板) (旧)係船柱底板前面のコンクリート (新)コンクリート(係船柱前面) (旧)アンカー板上面のコンクリート (新)コンクリート(アンカー板上面) (旧)アンカー板上面のコンクリート (新)コンクリート(アンカーボルト側面)	2023/4/7	
3266	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-1	「1 概要」について、海域割断層に想定される地震による津波の流圧力により作用する係留力に対して評価を実施する旨を追記しました。	2023/4/7	
3267	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-3~6	「2.2 構造概要」について、漂流防止装置(係船柱)を構成する部材が明確となるように記載を拡充しました。また、本文の記載の拡充に伴い、図2.2-2を修正しました。	2023/4/7	
3268	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-7~10	「2.3 評価方針」について、資料の分かり易さの観点から、各部位の役割、性能目標及び評価項目として表2.3-1~表2.3-3を追記しました。また、図2.3-4について、許容限界の設定を追加しました。	2023/4/7	
3269	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-11	また、以下の基準等を追記しました。 ・機械工学便覧 改訂第6版((社)日本機械学会編, 1977年)	2023/4/7	
3270	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-12,13	表2.5-11について、記号、単位及び定義を本文中の記載と統一化するため記載を適正化しました。	2023/4/7	
3271	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-14	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)漂流防止装置(係船柱)に生じる係留力に伴う荷重は、係船柱、アンカーボルト及びアンカー板を介して基礎に伝達される (新)漂流防止装置(係船柱)に作用する係留力による荷重は、係船柱、アンカーボルト及びアンカー板を介して周囲のコンクリートに伝達される また、漂流防止装置(係船柱)の周囲のコンクリートに対する評価も実施する旨を追記しました。	2023/4/7	
3272	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-15,16	係留力の算定方法が明確となるように、記載を拡充しました。 また、荷重の組合せについて、余震荷重を考慮しない理由について記載を拡充しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3273	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-17,18	<p>「3.3.2 許容限界」について、VI-3-別添3-1「津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針」に基づき設定する旨を追記しました。</p> <p>また、以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)係船柱の許容応力度は、「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—(社)日本建築学会、2005年改訂」及び「JIS G 5101 炭素鋼鋳鋼品」を踏まえて表3-3の値とする。 (新)係船柱の許容限界は、「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—(社)日本建築学会、2005年改訂」及び「JIS G 5101 炭素鋼鋳鋼品」を踏まえて表3-3のとおり設定する。</p> <p>(旧)許容応力度 (新)許容限界</p> <p>(旧)～に示す値とする (新)～とおり設定する</p> <p>(旧)漂流防止装置(係船柱)の基礎の許容応力度 (新)コンクリートの許容限界</p>	2023/4/7	
3274	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-17,19	<p>係船柱に生じる曲げ応力度の算定に用いる、P_{μ}及びDの説明を追記しました。また、資料の分かり易さの観点から図3-4の記載を拡充しました。</p> <p>また、以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)当該漂流防止装置を構成する係船柱、アンカーボルト及びアンカー板に発生する応力より算定する応力度が、許容限界以下であることを確認する。 (新)漂流防止装置(係船柱)を構成する各部材に生じる応力度が、許容限界以下であることを確認する。</p> <p>(旧)係船柱に生じる応力は、係船柱を片持ち梁として次式により算出し、係船柱の許容限界以下であることを確認する。なお、保守的に転倒モーメントを算出するため、慣性力の作用点は直胴部の上端とする。 (新)係船柱に生じる曲げ応力度は、係船柱を片持ち梁として次式により算出し、係船柱の許容限界以下であることを確認する。なお、慣性力の作用点は係船柱直胴部の上端とする。 係船柱のモデル図を図3-4に示す。</p>	2023/4/7	
3275	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-20~31	<p>コンクリート(係船柱底板)の支圧応力度、コンクリート(係船柱前面)の支圧応力度、アンカーボルトの引張応力度、アンカー板の曲げ応力度、コンクリート(アンカー板上面)の支圧応力度及びコンクリート(アンカーボルト側面)のせん断応力度の評価方法について、適用する基準を明確化しました。また、資料の分かり易さの観点から記載内容を修正しました。</p>	2023/4/7	
3276	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-32	<p>表4-1について、記号、単位及び定義を本文中の記載と統一化するため記載を適正化しました。</p>	2023/4/7	
3277	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.2 漂流防止装置の強度計算書に関する補足説明)	P.2.5.2-33	<p>表5-1について、評価対象部位を本文中の記載と統一しました。また、照査値を少数点第2(少数点第3位繰り上げ)に見直しました。</p> <p>また、以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)各部材の断面検定を行った結果、発生応力度又は荷重は許容限界以下であることから、漂流防止装置が構造健全性を有することを確認した。 (新)各部材の発生応力度は許容限界以下であることから、漂流防止装置(係船柱)は構造健全性を有することを確認した。</p> <p>(旧)発生値(応力度) (新)発生応力度</p>	2023/4/7	
3278	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-1 他	<p>資料の分かり易さの観点から、章構成及び章名称を変更しました。これに伴い図表番号を変更しました。</p>	2023/4/7	
3279	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-1	<p>「1. 概要」について、記載を適正化しました。</p>	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3280	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-1 他	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)変形性能評価 (新)変形性能評価 (旧)当たって (新)あたって (旧)基礎(荷揚護岸) (新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸) (旧)係船柱 (新)漂流防止装置(係船柱) (旧)2次元動的有限要素法 (新)2次元有限要素法 (旧)全て (新)すべて (旧)および (新)及び (旧)設計地下水水位 (新)設計地下水水位	2023/4/7	
3281	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-3	「2.2 構造概要」について、漂流防止装置(荷揚護岸)を構成する部材が明確となるように記載を拡充しました。また、本文の記載の拡充に伴い、図2.2-1を修正しました。	2023/4/7	
3282	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-5,6	表2.3-2として、各部位の性能目標を追記しました。 また、表2.3-1及び表2.3-3について、役割及び評価項目が明確となるように記載を拡充しました。 更に図2.3-1について、変形性能評価の対象が明確となるように記載を修正しました。	2023/4/7	
3283	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-7	2.4 適用規格基準等について以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)港湾の施設の技術上の基準・同解説(日本港湾協会, 平成19年7月) (新)港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局, 2007年版) また、以下の基準等を追記しました。 ・港湾構造物設計事例集(沿岸技術研究センター, 平成19年3月) ・コンクリート標準示方書[構造性能照査編](土木学会, 2002年制定)	2023/4/7	
3284	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-8	「3.1 評価対象断面」について、⑥-⑥断面を評価対象断面とする理由に関する記載を拡充しました。 また、図3.1-1について、図面の着色を変更しました。	2023/4/7	
3285	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-9	図3.1-3について、岩相図から岩級図に図面を変更しました。	2023/4/7	
3286	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-10,11	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)構造部材については、 <u>線形</u> はり要素及び <u>平面</u> ひずみ要素 (新)構造部材については、 <u>線形</u> の平面ひずみ要素 (旧)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)は、 <u>平面</u> ひずみ要素として～ (新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)は、 <u>線形</u> の平面ひずみ要素として～	2023/4/7	
3287	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-12	表3.2.4-1について、地震動の位相を記載方法を適正化しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3288	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-14	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)地震時荷重 (新)地震荷重(基準地震動Ss)	2023/4/7	
3289	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-15	「3.4 入力地震動」について、入力地震動の設定方針を追記しました。 また、図3.4-1について、標高の記載位置を適正化しました。	2023/4/7	
3290	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-28,29	資料の分かり易さの観点から、評価対象位置図及び地質断面図を追加しました。 また、図3.5.1-2について、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3291	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-30	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)「JEAG4601-1987」 (新)「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987((社)日本電気協会)」 (旧)2次元地震応答解析 (新)地震応答解析	2023/4/7	
3292	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-32	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)反無限地盤 (新)半無限地盤 (旧)ダッシュボット (新)ダッシュボット上 (旧)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)はコンクリート造であり、平面ひずみ要素でモデル化する。漂流防止装置(係船柱)は、基礎(荷揚護岸)～ (新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸)は線形の平面ひずみ要素でモデル化する。漂流防止装置(係船柱)は、漂流防止装置基礎(荷揚護岸)～	2023/4/7	
3293	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-35～38	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)港湾基準 (新)「港湾基準」 (旧)港湾構造物設計事例集 (新)「港湾構造物設計事例集」	2023/4/7	
3294	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-41～44	表3.5.3-1～表3.5.3-3について、資注記の記載方法を適正化しました。 また、表3.5.3-4及び表3.5.3-5を追記しました。	2023/4/7	
3295	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-46	資料の分かり易さの観点から許容限界の記載を拡充しました。	2023/4/7	
3296	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.3 漂流防止装置基礎(荷揚護岸)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.3-47	残留変形量による評価方法について記載内容を拡充しました。	2023/4/7	
3297	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-1 他	資料の分かり易さの観点から、章構成及び章名称を変更しました。これに伴い図表番号を変更しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3298	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-1 他	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)変形性能評価 (新)変形性能評価 (旧)当たって (新)あたって (旧)基礎(多重鋼管杭) (新)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭) (旧)係船柱 (新)漂流防止装置(係船柱) (旧)2次元動的有限要素法 (新)2次元有限要素法 (旧)全て (新)すべて (旧)設計用地下水位 (新)設計地下水位	2023/4/7	
3299	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-1	「1. 概要」について、漂流防止装置(係船柱)と漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の関係性が明確となるように、以下のとおり記載内容を適正化しました(下線部参照)。 (旧)構造強度及び機能維持の設計方針に基づき、漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)が～ (旧)構造強度及び機能維持の設計方針に基づき、漂流防止装置(係船柱)を設置する漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)が～	2023/4/7	
3300	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-3,4	文章中の記載と図中の記載を統一する観点から、図2.2-1～3を修正しました。 また、図の修正に伴い「2.2 構造概要」の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3301	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-5	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震評価としては (新)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震評価は (旧)留まる (新)とどまる	2023/4/7	
3302	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-5～7	表2.3-2として、各部位の性能目標を追記しました。 また、表2.3-1及び表2.3-2について、役割及び評価項目が明確となるように記載を拡充しました。 更に図2.3-4について、「許容限界の設定」を追記する等の修正をしました。	2023/4/7	
3303	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-8 他	2.4 適用規格基準等について以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)港湾の施設の技術上の基準・同解説(日本港湾協会, 平成19年7月) (新)港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局, 2007年版) また、以下の基準等を追記しました。 ・港湾構造物設計事例集(沿岸技術研究センター, 平成19年3月) ・コンクリート標準示方書[構造性能照査編]((社)土木学会, 2002年制定)	2023/4/7	
3304	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-9～10	「3.1 評価対象断面」について、①-①断面を選定した理由が明確となるように記載を適正化しました。 また、図3.1-2及び図3.1-3について、岩相図から岩級図に図面を変更しました。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3305	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-11,12	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)線形はり要素及び平面ひずみ要素 (新)線形はり要素(ビーム要素) (旧)漂流防止装置(荷揚護岸)は線形はり要素として～ (新)漂流防止装置(多重鋼管杭)は線形はり要素(ビーム要素)として～	2023/4/7	
3306	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-11	図3.2-1について、地盤モデルの手法設定の考え方について、記載を拡充しました。	2023/4/7	
3307	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-12	埋戻土の物性値のばらつきを考慮する理由について記載を拡充しました。	2023/4/7	
3308	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-13	表3.2.4-1について、地震動の位相を記載方法を適正化しました。	2023/4/7	
3309	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-14	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)。積雪荷重については、積雪量1cmごとに20N/m ² の積雪荷重が作用する (新)。積雪荷重については、「 <u>松江市建築基準法施行細則(平成17年3月31日松江市規則第234号)</u> 」により、積雪量1cmごとに20N/m ² の積雪荷重が作用する	2023/4/7	
3310	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-15	以下のとおり記載を統一化しました。(下線部参照) (旧)地震時荷重 (新)地震荷重(基準地震動Ss)	2023/4/7	
3311	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-16	「3.4 入力地震動」について、入力地震動の設定方針を追記しました。 また、図3.4-1について、標高の記載位置を適正化しました。	2023/4/7	
3312	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-29,30	資料の分かり易さの観点から、評価対象位置図及び地質断面図を追加しました。 また、図3.5.1-2について、凡例の記載を適正化しました。	2023/4/7	
3313	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-31	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)「JEAG4601-1987」 (新)「 <u>原子力発電所耐震設計技術指針_JEAG4601-1987(社)日本電気協会</u> 」 (旧)2次元地震応答解析 (新)地震応答解析	2023/4/7	
3314	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-33	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)反無限地盤 (新)半無限地盤 (旧)ダッシュポッド (新)ダッシュボルト (旧)漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)は線形はり要素(ビーム要素)でモデル化する。係船柱は漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)上端に付加重量として考慮する。 (新)鋼管杭は線形はり要素(ビーム要素)でモデル化する。漂流防止装置(係船柱)は漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)上端に付加重量として考慮する。	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3315	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-35~38	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)港湾基準 (新)「港湾基準」 (旧)港湾構造物設計事例集 (新)「港湾構造物設計事例集」	2023/4/7	
3316	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-40	資料の分かり易さの観点から図3.5.1-13を追加しました。	2023/4/7	
3317	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-42	ジョイント要素のばね定数の考えた方について記載を追記しました。	2023/4/7	
3318	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.444	表3.5.2-1及び表3.5.2-2について、資料の分かり易さの観点から記載を修正しました。 表3.5.2-1については、設計上腐食代を考慮する旨を追記しました。表3.5.2-2については、コンクリート標準示方書【構造性能照査編】(社)土木学会、2002年制定)に基づき鋼管杭の物性値を設定する旨を追記しました。	2023/4/7	
3319	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-45~48	表3.5.3-1~3について、注記の記載方法を適正化しました。 また、表3.5.3-4及び表3.5.3-5を追記しました。	2023/4/7	
3320	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-49	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照)。 (旧)評価対象部位は、構造上の特徴を踏まえ設定する。 (新)評価対象部位は、 <u>漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)</u> の構造上の特徴を踏まえ設定する。 (旧)基礎地盤の支持性能評価に係る評価対象部位は、多重鋼管杭を支持する多重鋼管杭直下の基礎地盤とする。 (新)基礎地盤の支持性能評価に係る評価対象部位は、 <u>漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)</u> を支持する多重基礎地盤(岩盤)とする。	2023/4/7	
3321	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-50	「3.7.1 許容限界」について、降伏モーメントの算出方法が明確となるように記載を拡充しました。	2023/4/7	
3322	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-51	「3.7.2 基礎地盤」について、支持力試験により許容限界を設定する旨を追記するとともに、接地圧を評価する旨を追記しました。	2023/4/7	
3323	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.5.4-52	「3.8 評価方法」について、評価対象である、鋼管杭及び基礎地盤について、具体的な評価方法が明確となるように記載を拡充しました。	2023/4/7	
3324	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.2.6.4-53~58	記載を本文中で統一化するとともに記載内容を拡充しました。	2023/4/7	
3325	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-1	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)許容限界の設定にあたっては～ (新) <u>漂流防止装置基礎(荷揚護岸)</u> の許容限界の設定～ (旧)発電所 (新)島根原子力発電所	2023/4/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
3326	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-3	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)変形量 (新)残留変形量	2023/4/7	
3327	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)1-8	本文中の記載に合わせて適正化しました。	2023/4/7	
3328	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-1	以下のとおり記載を適正化しました(下線部参照) (旧)漂流防止装置基礎 (新)漂流防止装置基礎(荷揚護岸, 多重鋼管杭)	2023/4/7	
3329	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-2~9	本文中の記載と図表の記載を統一するため記載を適正化しました。	2023/4/7	
3330	NS2-補-027-08改37	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料(2.5.4 漂流防止装置基礎(多重鋼管杭)の耐震性についての計算書に関する補足説明)	P.(参考)2-2~9	図1-1を修正しました。 また, 本文中の記載と図表のタイトルを統一化するため記載を適正化しました。	2023/4/7	